

札幌新まちづくり計画に関する提言（案）

平成 1 6 年 4 月

札幌新まちづくり計画市民会議

はじめに

札幌市では、これまで概ね20年間を計画期間とする「長期総合計画」と、その実施計画である「5年計画」により、効果的・効率的なまちづくりが進められてきました。しかしながら、現在、長引く景気低迷を背景とした財政状況の悪化や、少子高齢化の急速な進展など新たな行政課題への対応、市民自治の推進や地方分権への本格的な取り組みなどが求められています。そこで、この度、施政方針「さっぼろ元気ビジョン」に基づき新たなまちづくり計画が策定されることとなりました。

「札幌新まちづくり計画市民会議」は、施政方針に掲げる「市民自治が息づくまちづくり」の考えのもとに、新しい市民参画の取り組みとして設置されたものであります。市民会議は、まちづくり活動を実践している公募委員10名とまちづくりの各分野における専門家14名の合計24名の委員から構成されています。まちづくり計画の策定に当たり、このように公募委員と専門家が一緒になって、まさしく地方分権や市民自治がキーワードとなる新しい時代のまちづくりに向けて、知恵やアイデアを出し合い、共に悩み共に考えていく場が設けられたことは、これまでにない画期的な試みであります。

市民会議は、市民の視点から今後重点的に取り組むべき施策などについて検討、議論を行い、まちづくりの共通の認識をかたちづくっていく場であり、いわゆる諮問答申型の審議会とは性格を異にするものであります。したがって、市民会議での検討に際しては、市から提示された素案を参考としながらも、あまり型にとらわれずに、委員が日頃感じている問題意識を中心に議論を行ってまいりました。会議の開催回数は、この5か月の間に全体会議、分科会を合わせ22回にも上りました。限られた期間でありますので、まちづくりのあらゆる分野について議論を尽くすことは難しいものの、少なくとも私たちの関心の強い事項についてはかなり精力的な議論ができたのではないかと考えております。

提言をまとめるに際しては、市民会議としてのまとめだけでなく、委員個人の意見も資料として示すこととしました。市民参加でのまちづくりにおいては、その過程においてさまざまな意見が提示され、それをどのように合意し、政策としてまとめていくかということが求められます。今回の市民会議での議論においても、アイデアに満ち溢れたさまざまな個別具体的な意見が出されておりますので、提言に

当たっては、そこに至った議論のプロセスをはっきりと記録として残しておくべきと考え、このような構成とした次第です。

札幌新まちづくり計画ビジョン編の策定に向けて、私たちの考える重点的に取り組むべき施策などについて、ここに提言いたします。この度の計画が新しい時代のまちづくりに向けた大きな一歩となりますようお願いいたします。

平成16年4月

札幌新まちづくり計画市民会議

座長 内田 和男

札幌新まちづくり計画市民会議提言

目次

はじめに

重点的に取り組むべき施策	7
- 総論 -	
1 これからのまちづくりの大切な視点	7
2 取り組みの方向・課題	7
3 当面の重点的な取り組み	8
4 取り組みの進め方	9
5 その他	10
- 各論 -	
1 経済・雇用分科会	11
(1) 今後の経済・雇用環境のあり方	
(2) 取り組みの課題	
(3) 重点的な取り組み	
(4) 取り組みに必要な視点	
(5) その他	
2 共生・地域づくり分科会	13
(1) 今後の地域づくりのあり方	
(2) 取り組みの課題	
(3) 重点的な取り組み	
(4) 取り組みに必要な視点	
(5) その他	
3 環境・都市機能分科会	16
(1) これからのまちづくりの大切な視点	
(2) 取り組みの方向と課題	
(3) 当面の重点的な取り組み	
(4) 具体的施策・取り組みの提案	
(5) 実践手法・仕組みの提案	

(6) その他	
4 文化・人づくり分科会	20
(1) これからのまちづくりの大切な視点	
(2) 取り組みの方向・課題	
(3) 当面の重点的な取り組み	
(4) 具体的施策・取り組みの提案	
(5) その他	

資料編

1 総論の骨子	28
2 分科会報告	30
(1) 経済・雇用分科会	30
(2) 共生・地域づくり分科会	50
(3) 環境・都市機能分科会	58
(4) 文化・人づくり分科会	70
3 札幌新まちづくり計画市民会議設置要綱	76
4 審議経過	78
5 委員名簿	80

札幌新まちづくり計画に関する提言

本 編

重点的に取り組むべき施策

総論

1 これからのまちづくりの大切な視点

これからの新しい時代におけるまちづくりを進めるうえで、私たちが特に大切であると考え5つの視点を次のとおり提示する。

市民自治の推進

市民がまちづくりの主体として、まちを愛しその役割を積極的に担い、公共的な活動に取り組む。

札幌ブランドの創出・継承

まちの自然・風土・歴史・文化に根ざした北方都市札幌ならではの魅力をまもり・創り・育てる。

持続発展が可能な都市の実現

ゆたかな自然と共生し環境に配慮した持続可能な都市を創出する。

安心・安全なまちづくり

誰もが安心・安全に暮らし、生きいきと活動できる共生のまちを実現する。

市民活力の向上

市民がつくる身近な文化・産業・活動を活性化する。

2 取り組みの方向・課題

各分科会から提示された、これからのまちづくりの取り組みの方向・課題は、次のとおりである。

(1) 経済・雇用分科会

- ・ 将来を見据えた産業振興のビジョン・戦略
- ・ 札幌の新たなまちづくりの取り組みの積極的発信
- ・ 小さな企業や起業家を支援する仕組みづくり
- ・ 困ったとき、失敗したときの支援体制

(2) 共生・地域づくり分科会

- ・ 地域住民が相互につながりを広げ、深めるための取り組みの促進
- ・ 地域の中で子育てと子どもの育ちを支える仕組みづくり
- ・ 高齢者、障がい者が地域とのかかわりを保ちながら安心して暮らせる環境づくり
- ・ 生涯を通じた市民の健康づくりの支援

(3) 環境・都市機能分科会

- ・水や緑に親しみ，身近な自然の保全・育成を推進
- ・歩いて暮らせる快適で魅力ある都市景観のまちづくり
- ・協働による雪対策など，北国の都市課題への対応
- ・環境負荷の少ない資源循環型のまちづくり
- ・持続可能なコンパクトシティ^{注1}を目指したまちづくり
- ・誰もが活動できる，まちのユニバーサルデザイン^{注2}の推進
- ・空洞化・高齢化が進む地域コミュニティの再生

(4) 文化・人づくり分科会

- ・市民が自ら作り上げる小さな表現活動や多様な文化活動の育成
- ・札幌の特長を活かした身近で楽しむ・自然を楽しむ・冬を楽しむスポーツ文化の育成
- ・新しい時代の価値観やさまざまな可能性を有する人材の育成
- ・学校，家庭，地域，企業，NPOなどの協働による子どもたちの教育

3 当面の重点的な取り組み

各分科会から提示された，これからのまちづくりの取り組みの方向・課題を踏まえ，今後3年間を見据えた場合に，当面は特に次の6つの取り組みを重点的に進めるべきと考える。

札幌独自の魅力を発信する取り組み

世界にアピールする都心のまちづくり，あるいは，芸術・スポーツ・生活文化，季節感のある自然，都市景観や特色ある産業など，札幌独自の魅力を発信する取り組みを推進する。

市民・NPO・民間の活動を活発にする取り組み

多種多様な小さな企業の活性化や起業への支援，産業振興策の実施主体の役割の点検や見直し，市民自らが作り上げる小さな表現活動・文化活動を支援し活性化する仕組みづくりなど，市民・NPO・民間の活動を活発にする取り組みを推進する。

注1 コンパクトシティ 市街地の外延的拡大の抑制を基調とし，既存の都市基盤を有効に活用しながら都市の魅力と活力を向上させるとともに，地域において様々な機能が，居住機能を中心にまとまりをもって構成されるようなまち。

注2 ユニバーサルデザイン 障がい者と健常者との区別なく，できる限り多くの人々が利用しやすくデザインされた，ものづくりやまちづくり。

環境への負荷を低減し，自然を保全・育成する取り組み

エネルギーの有効利用，人と環境を重視した交通体系づくりや廃棄物の発生の抑制，市民が身近な自然と親しみ自然を保全・育成する活動の普及と実践など，環境への負荷を低減し自然を保全・育成する取り組みを推進する。

地域住民のふれあいや交流を大切にし，活動を活発にする取り組み

地域住民の交流・活動の拠点となる居場所づくり，活動を支える人づくりやネットワークづくり，地域でのスポーツクラブの形成や健康づくりを支援する仕組みづくりなど，地域住民のふれあいや交流を大切にし活動を活発にする取り組みを推進する。

子ども・高齢者・障がい者・女性などを地域の中で支える取り組み

身近な情報提供・相談機能の強化，生活に即した居住環境や地域ケアの仕組みづくり，ニーズの高まる分野での産業・雇用創出や就労支援，労働相談支援の体制整備など，子ども・高齢者・障がい者・女性などを地域の中で支える取り組みを推進する。

さまざまな主体が協働し，子どもの教育を実践する取り組み

表現活動や文化体験を通して子どもの可能性を伸ばし社会性を育てる教育の実践，あるいは地域社会の様々な分野からの学校運営への参画を可能にし共に子どもの教育を担う仕組みづくりなど，さまざまな主体が協働し子どもの教育を実践する取り組みを推進する。

4 取り組みの進め方

重点的な取り組みを進めるに当たっては，特に以下の5つの点に留意すべきものとする。

規制と緩和

美しく風格ある都市景観のためのガイドラインづくりなど必要なルールづくりを進める一方で，公共空間や学校，小学校跡施設等の公共施設を市民の多様な活動の場として活用しその管理運営を市民が担う仕組みづくりを行うなど必要な規制緩和も進める。

協働での実施

さまざまな主体が連携・協働して公共的活動に取り組む仕組みづくりや地域のまちづくりセンターを住民主体で運営する仕組みづくりなど，協働での実施を広げる。

情報の共有化

多様なメディア，イベント，ノウハウを活用した広報活動の強化，まちづくりの施策や取り組みを評価し情報を共有する仕組みづくりなどにより，情報の共有化を進める。

人権と個性の尊重

先住民族や社会的に弱い立場にある人々の尊厳を大切にする価値観の育成，男女共同参画社会実現のための工夫など，人権と個性を尊重する。

人材の育成

さまざまな人たちが地域のまちづくりに参加・活躍する仕組みづくりや子どもたちの参加型のまちづくり教育の充実など，まちづくりを担う人材を育成する。

5 その他

- (1) 上記 1～4 及び各論に記載した重点的な取り組みなどについては，札幌新まちづくり計画ビジョン編に反映させるなど，積極的に検討されるよう要望する。
- (2) その他各委員からはさまざまな個別具体的な意見が出されており，資料編では，これらの意見をそのまま掲載した。魅力あるまちづくりを進めていくうえでの参考とされたい。
- (3) 市から提示された素案については，適切な現状・課題認識のもとに，市民ニーズに適合した施策が提示されており，おおむね妥当なものであると考えるが，以下の点についてはさらに検討されたい。なお，特定分野に係る事項については，各論に記載した。
 - ・素案の各所に「共生」の視点をよりきめ細かに取り入れるべき。
 - ・市民の主体的なまちづくり活動を，個別施策ごとに支援するのではなく各分野にわたって総合的に支援するという視点が必要である。
 - ・計画全体に通じる「望ましい街の姿」がイメージできるようなストーリー性を充実すべき。
 - ・各主体の主な役割については，より記述の具体性を増すなど，各主体が役割を実感できるような工夫をすべき。

1 経済・雇用分科会

(1) 今後の経済・雇用環境のあり方

今後の経済・雇用環境のあり方として、次のとおり提示する。

市民のアクティビティの向上

市民のアクティビティを高め、市民ニーズに合った、また、札幌の魅力が高めるような経済活動を図る。

チャレンジとセーフティネットへの対応

チャレンジとセーフティネット、ともに対応できる環境づくりを図る。

(2) 取り組みの課題

今後の経済・雇用環境のあり方を踏まえ、取り組みの課題として、次のとおり提示する。

- ・ 将来を見据えた産業振興のビジョン・戦略
- ・ 札幌の新たなまちづくりの取り組みの積極的発信
- ・ 小さな企業や起業家を支援する仕組みづくり
- ・ 困ったとき、失敗したときの支援体制

(3) 重点的な取り組み

取り組みの課題を踏まえて、当面は、次に掲げる3つの柱の実現に向けた取り組みを重点的に進められたい。

札幌独自の魅力づくり・情報発信の強化

芸術・文化、季節感ある山なみなどの札幌独自の魅力を札幌ブランドとして発信するなど、札幌独自の魅力づくり・情報発信の強化を進める。

- ・ 札幌独自の芸術・文化・祭りなどを積極的に活用、発信する。
- ・ 大通公園、街なみ、季節感ある山なみなどの美しい魅力的な景観づくりを行うとともに使い方を工夫する。
- ・ 地域に目を向けた取り組みにより札幌ブランドを育成する。
- ・ 札幌の魅力をノウハウや生活スタイルも含めて札幌ブランドとして確立・発信する。

小さな企業・起業への実効性の高い支援

多種多様な中小企業、零細企業の資金需要などを考慮し、小さな企業・起業への実効性の高い支援を行う。

- ・中小企業，零細企業は，多種多様であり，ひとくくりではなく，きめ細やかな支援が必要である。
- ・元気基金は，長期短期の資金需要に対し，リスク負担を十分に考慮した柔軟な制度設計で行うことが望まれる。
- ・中小企業支援センター等産業振興策を実施する市や財団などの主体の役割を点検，見直し，相談支援機能の実効性の向上に努める。
- ・企業経営者の情報と自己啓発トレーニングを可能にする仕組みを構築する。

市民や地域のニーズに合った産業・雇用施策

特色ある産業や多様な雇用機会の創出，就労支援機能の強化など，市民や地域のニーズに合った産業・雇用施策を進める。

- ・ニーズが高まる健康・福祉・医療分野の産業を育成する。
- ・芸術・文化・祭りなどの積極的な情報発信を通し産業，雇用の創出を図る。
- ・人材集約型の地域ビジネスの中で多様な雇用機会の創出を図る。
- ・特に女性，高齢者，障がい者，母子家庭などへの就労支援機能を強化する。
- ・市・道・国との連携のもと労働，職場環境に関する相談支援機能を強化するとともに体制を整備する。

(4) 取り組みに必要な視点

重点的な取り組みを進めるに当たって必要な視点を，次のとおり提示する。

- ・民間も行政も，コミュニケーションを密接に図るとともに，発想の次元を変えていく。
- ・「リスク負担」についての情報を共有する。
- ・新たな人材の投入などにより，民間も行政も，人づくり・組織活性化を図っていく。
- ・北海道と札幌市の連携した取り組みで相乗効果を図っていく。
- ・行政の専門家ネットワーク情報を活用する。また，行政サービスなどの質の向上を取り組みに活かしていく。
- ・産業振興策を実施する市や財団などの主体の役割を点検し，明確にする。
- ・施策の成果をしっかりと評価して産業振興策に積極的に取り組む。
- ・国際化を意識するとともに，男性女性共に生きいきと暮らせるまちにしていく。

(5) その他

市の素案に対する意見を以下のとおり提示する。

《望ましい街の姿》

- ・「望ましい街の姿」の中には，基本目標中の「安心して働ける」に対応する記

述や「男女共同参画」「国際都市」の観点からの記述を追加すべきである。

また、これら以外にも、各委員からは、市の素案などに関してさまざまな意見が出されており、資料編では、これら委員意見を原文のまま掲載している。札幌市が、これら委員意見も参考として魅力あるまちづくりを進めていくことを要望する。

2 共生・地域づくり分科会

(1) 今後の地域づくりのあり方

今後の地域づくりのあり方として、次のとおり提示する。

共生の地域づくり

共生の視点に立った地域づくりをきめ細やかに進める。

市民の主体的な地域づくり

市民自らが地域のことを考え、守り、育てる意識や行動を広げる。

協働の仕組みづくりの実践

市民と行政の協働の仕組みづくりを地域レベルで実践する。

(2) 取り組みの課題

今後の地域づくりのあり方を踏まえ、取り組みの課題として、次のとおり提示する。

- ・地域住民が相互につながりを広げ、深めるための取り組みの促進
- ・地域の中で子育てと子どもの育ちを支える仕組みづくり
- ・高齢者、障がい者が地域とのかかわりを保ちながら安心して暮らせる環境づくり
- ・生涯を通じた市民の健康づくりの支援

(3) 重点的な取り組み

取り組みの課題を踏まえて、当面は、次に掲げる4つの柱の実現に向けた取り組みを重点的に進められたい。

住民の交流・活動の拠点づくり

地域住民がふれあいや交流を深め、活動を広げていくための拠点となる居場所づくりに取り組むとともに、障がい者等が地域の中でさまざまな活動に参加できる場づくりを進める。

- ・地域住民の活動・交流の拠点となる居場所（たまり場）づくりを進める。

- ・障がい者等が地域で住民とふれあい，さまざまな活動に参加できる場づくりを進める。

身近な情報提供・相談機能の充実

地域住民のニーズに即したサービスや社会資源に関する情報提供，困ったときの相談機能の充実を図る。

- ・子育て家庭と子育て情報を身近なところで結ぶ仕組みづくりを進める。
- ・障がい者等への情報提供・相談支援機能の強化を進める。
- ・地域住民の健康づくりを支える情報提供・相談の充実を図る。

さまざまな活動や主体をつなぐ仕組みづくり

さまざまな地域活動や市民活動の活発化を図るため，活動を支える人材やネットワークの強化を進める。

- ・地域活動や市民活動をコーディネートする人材の確保・養成を進める。
- ・地域活動や市民活動を支援する専門家や行政機関のネットワークの強化を進める。

連携と総合化によるケア機能の強化

高齢者，障がい者，子どもなどが地域の中で安心して暮らせるよう，ニーズに応じた居住環境づくりや総合的なケアサービスの仕組みの検討を進める。

- ・地域における保育機能の質の充実を図る。
- ・高齢者・障がい者の多様な生活ニーズやケアニーズに応じた良質な住宅づくりを進める。
- ・高齢者・障がい者・乳幼児などを対象とした，総合的な地域ケアの仕組みを検討する。
- ・子どもたちの，健康や性に関する意識を高める取り組みの強化を進める。

(4) 取り組みに必要な視点

重点的な取り組みを進めるに当たって必要な視点を，次のとおり提示する。

- ・市民による先進的な活動を支え，広げていく。
- ・取り組みの進め方の検討・評価を市民が中心となって進めていく。
- ・地域住民が自ら公共施設の管理運営に取り組んでいく。
- ・地域のさまざまな資源（人材，企業，NPO，施設など）を公共的活動に結びつけていく。
- ・市民活動団体，コミュニティ組織が自ら情報を発信し，活動への参加や支援を

広げていく。

- ・ITの活用により情報ネットワーク機能を高めていく。
- ・さまざまな市民活動団体とコミュニティ組織との連携・協力を強めていく。
- ・教育における，家庭・地域・学校・専門家の連携を高めていく。

(5) その他

市の素案に対する意見を次のとおり提示する。

《重点戦略課題：魅力あふれる地域づくりの推進》

- ・地域づくりの「主体」として「大学」も記述に加えるべきである。

《重点戦略課題：少子化対策の推進》

- ・現状と課題に「子育ての経済的負担に関する視点」を加えた方がよい。
- ・障がいのある子どもがいる家庭やひとり親家庭なども含め，あらゆる家庭の子育てを支援するというメッセージが伝わるよう記述を工夫すべきである。
- ・子育てにかかわる情報の広報や周知についての記述を盛り込むべきである。
- ・障害のある子どもがいる親の就労支援の観点から，「障がいのある子どもの保育所への受入れや学童保育の充実など」を施策の記述に盛り込むべきである。
- ・「母性・父性」という性別による固定的な役割分担の意識につながるような表現は再考すべきである。

《重点戦略課題：地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進》

- ・心のバリアフリーの推進に関する施策の記述を充実すべきである。

《成果指標に関する意見》

- ・指標項目「子育てをしやすいまちだと思ふ人の割合」に関しては，子どもの障がいの有無による意識の違いにも着目する必要がある。
- ・「障がいのある人が地域で暮らせると感じる割合」を指標項目として設定できないか検討すべきである。

また，このほか，共生・地域づくり分科会として，重点戦略課題ごとに着目すべき現状・課題やその対応策として考えられる事柄などを例示も含め意見としてまとめた（資料編P56）。

札幌市が，こうした意見も参考として，地域の中で誰もが生きいきと暮らせるまちづくりを進めていくことを要望する。

3 環境・都市機能分科会

(1) これからのまちづくりの大切な視点

環境・都市機能分野におけるまちづくりの大切な視点として、次の6つを提示する。

水と緑と生き物が多様でゆたかな環境が保全・育成された，安らぎある都市環境づくりを進める。

多雪寒冷の気候風土と歴史・文化を踏まえた北の生活文化を，まもり・創り・育てるまちづくりを進める。

誰もが安心・安全に暮らしを営み，いつでもどこでも活動できる，快適なまちづくりを進める。

市民一人ひとりが，環境に配慮した持続可能な都市の創出に向けて参加し，実践するまちづくりを進める。

個性的で国際競争力のある都市観光を創造できる，魅力あふれる美しいまちづくりを進める。

市民が地域のまちづくりを担っていくための，人づくり，場づくり，仕組みづくりを進める。

(2) 取り組みの方向と課題

まちづくりの大切な視点を踏まえた，今後のまちづくりにおける方向や課題について次のとおり提示する。

- ・水や緑に親しみ，身近な自然の保全・育成を推進
- ・歩いて暮らせる快適で魅力ある都市景観のまちづくり
- ・協働による雪対策など，北国の都市課題への対応
- ・環境負荷の少ない資源循環型のまちづくり
- ・持続可能なコンパクトシティを目指したまちづくり
- ・誰もが活動できる，まちのユニバーサルデザインの推進
- ・空洞化・高齢化が進む地域コミュニティの再生

(3) 当面の重点的な取り組み

取り組みの方向・課題を踏まえて，当面は，次に掲げる3つの柱の実現に向けた取り組みを重点的に進められたい。

札幌の魅力をアピールする都心のまちづくり

駅前通の再整備などシンボリックな取り組みを通じて，魅力あるにぎわいを創出しながら，安心・安全で美しい景観を実現し，北方圏の拠点都市札幌にふさわしい都心のまちづくりを進める。

- ・美しく風格ある都市景観のまちづくりを具体的に進めるためのビジョンと景観ガイドラインを作成する。
- ・駅前通の地上空間と地下歩行空間を、歩いて楽しく快適な札幌のシンボルストリートに再生する。
- ・都心の公共空間や公共施設に魅力あるにぎわいを創出して国際的な集客交流の場として活用する。
- ・高齢者が安心・安全に暮らせて、歩いて活動できる、都心の居住環境づくりを進める。
- ・都心にゆたかな緑や水辺を再生・育成する取り組みを進める。

環境への負荷が少ないまちづくり

持続可能な都市を実現するために、二酸化炭素の削減や廃棄物の削減に向けた取り組みや、市民への環境教育を推進するなど、環境への負荷が少ないまちづくりを進める。

- ・エネルギーの有効利用や TDM（交通需要マネジメント）^{注3} などによる二酸化炭素の排出削減を進める。
- ・ごみの発生抑制、リサイクル促進などにより廃棄物を削減する。
- ・歩行者・自転車・公共交通を優先した快適に移動できる交通体系やシステムを構築する。
- ・市民が身近な地域の自然や生態系に親しみ・学ぶ機会を充実するとともに、保全活動を支援する。
- ・環境に配慮した、パートナーシップによる雪対策を推進する。

住民が主体となった地域のまちづくり

地域コミュニティを再生し、魅力ある地域づくりを進めるために、都市の骨格を形成する地域の中心となる拠点の育成・整備を図るとともに、住民が地域に愛着をもてるような活動、交流、人材の育成を支援する。

- ・地域の住民、NPOなどが集まり交流できるたまり場づくりを進める。
- ・連絡所や学校施設を住民のまちづくり活動拠点として活用する。
- ・市民が公共空間と積極的にかかわり、まちづくり・まち育て活動を学び、実践する場づくりを進める。
- ・都市の魅力と活力を高める高次都市機能拠点^{注4}や地域の暮らしを支える広域

^{注3} TDM 道路利用者の時間の変更、経路の変更、手段の変更、自動車の効率的利用、発生源の調整など、交通の「需要」を調整して、都市内の道路混雑の緩和を行うこと。

^{注4} 高次都市機能拠点 国際的・広域的な影響を持って札幌の魅力と活力の向上を先導する機能で、都心を補完するものや、都心への立地が必ずしもなじまないものが特徴的に集積する拠点（札幌ドーム

交流拠点^{注5}などを育成・整備する。

・幅広い世代が地域で住み続けられるための居住環境づくりを進める。

(4) 具体的施策・取り組みの提案

当面の重点的な取り組みを具体化するため、次の施策等を実施することを提案する。

- ・サンクンガーデン^{注6}のある開放的な地下空間づくりを進める。
- ・人々が交流できる多様な広場を地下空間に配置する。
- ・駅前通の緑を再生し育成するとともに、大通公園の緑を充実する。
- ・広告・看板類の整理と、サイン・案内板類の総合的な計画づくりや無電柱化を推進する。
- ・歴史的に価値のある建物を再生し有効活用を図る。
- ・自転車が利用しやすい交通環境の充実とマナー教育を推進する。
- ・ライフサイクルに応じた住み替えを支援する仕組みをつくる。
- ・排ガス対策を考慮したコジェネレーションシステム^{注7}を推進する。
- ・都心の小学校跡施設をNPO等の活動拠点に活用する。
- ・学校や地域で子どもたちの参加型のまちづくり教育を充実する。
- ・市民の理解と参加を広げるためのまちづくり読本を制作し配布する。

(5) 実践手法・仕組みの提案

重点的な取り組みを効果的かつ効率的に推進していくうえでの手法や仕組みを次のとおり提示する。

- ・道路や公園の多面的な活用に関する規制を緩和する。
- ・TMO^{注8}による都心の公共空間の管理と活用を進める。
- ・フィルムコミッション^{注9}の展開を推進する。
- ・NPOの自主管理による公共施設の柔軟な活用を進める。

周辺、札幌テクノパーク、大谷地流通業務団地、東札幌、苗穂、北海道大学周辺、芸術の森周辺、定山溪。

^{注5} 広域交流拠点 市内だけではなく、隣接都市も後背圏に持ち、多くの人々の日常生活を支える機能が集積する拠点（厚別副都心、麻生・新琴似、手稲）。

^{注6} サンクンガーデン 地下空間に自然光や景色を取り込めるように、一般の道路や地盤面より低い位置につくられた広場。

^{注7} コジェネレーションシステム 石油や天然ガスを燃焼させて発電するとともに、排熱を給湯や冷暖房に利用することによって熱効率の向上を図るシステムのこと。

^{注8} TMO タウンマネジメント機関の略称。商店街等のさまざまな主体が参加するまちの運営を横断的・総合的に調整し、プロデュースする組織。

^{注9} フィルムコミッション 映画、テレビドラマ、CMなどのロケーション撮影を誘致したり、実際のロケをスムーズに進めるための非営利な公的機関。

- ・ NPO が公共施設を管理運営するモデル事業を実施する。
- ・ まちづくりセンターを NPO や住民主体で自主運営する仕組みをつくる。
- ・ 多様なメディアや民間の知恵を活用した広報活動を推進する。
- ・ 市民参加を広げるためにイベントを活用する。
- ・ 地域通貨を活用したコミュニティ活動の実験的取り組みを進める。

(6) その他

市の素案に対する意見を次のとおり提示する。

《望ましい街の姿》

- ・ 誰でも安心・安全に暮らせるという視点を盛り込むべき。
- ・ 美しい都市景観についての視点を盛り込むべき。
- ・ 地球環境問題については、市民一人ひとりが自発的に取り組み、生活文化まで浸透するように記述を充実すべき。

《重点戦略課題：水とみどりのうるおいとやすらぎのある街の実現》

- ・ 水とみどりを生かした美しい都市景観にしていく視点を盛り込むべき。
- ・ 自然環境には生き物も含まれていることが判るように記述を充実すべき。
- ・ ゆたかな自然環境と美しいまちに市民が愛着心をもって住み続けられるような視点で記述を充実すべき。
- ・ 市民が、自然と親しみ学習したり、自然と接するマナーを学んでいくことが重要。

《重点戦略課題：地球環境問題への対応と循環型社会の構築》

- ・ 地球環境問題については、市民一人ひとりが自発的に取り組み、生活文化まで浸透するように記述を充実すべき。(再)

《重点戦略課題：ゆたかな冬の暮らしの実現》

- ・ 冬でも安心・安全に暮らす視点を盛り込むべき。
- ・ 「冬」や「雪」だけではなく、1年を通じて快適で楽しめる北の暮らしが、文化として定着するような視点が必要。
- ・ 多雪・寒冷な気候特性においても、省エネルギーに配慮することが重要。

《重点戦略課題：歩いて暮らせるゆたかで快適な街の創造》

- ・ 歩いて楽しめる魅力的な美しい都市景観の形成に関する視点を盛り込むべき。
- ・ 誰でも安心・安全に暮らせるという視点を盛り込むべき。(再)
- ・ 自転車の走行環境や自転車利用のマナー教育の充実が重要。

《成果指標》

- ・成果指標の選定に当たっては、協働で取り組む市民にわかりやすく、かつ、達成することによってまちが良くなるという視点が必要。
- ・現在、改定作業が進められている環境基本計画で検討している指標との整合性にも配慮すべき。特に地球温暖化対策、環境低負荷型の交通対策や、環境保全に寄与する企業活動などの分野において指標の充実を図るべき。
- ・その他、自然環境や雪対策、都市景観に関する指標についても充実を図るべき。

4 文化・人づくり分科会

(1) これからのまちづくりの大切な視点

文化・人づくり分野におけるまちづくりの大切な視点として、次の4つを提示する。

自然や人の尊厳を大切にする価値観の育成

自然との共生や男女共同参画の理念、社会的に弱い立場にある人々や先住民の尊厳を大切にする価値観を育てる。

札幌ならではの文化、スポーツの発信

札幌ならではの特色ある文化やスポーツを育て、世界に向けて積極的に発信し交流する。

市民レベルの表現・文化、スポーツ活動の育成

市民が主体となった小さな表現活動、多様な文化活動や身近なスポーツ活動を育成する。

さまざまな主体による子育て、学校教育の支援

地域、企業、NPOなどが連携して、家庭の子育てや学校教育を支援する。

(2) 取り組みの方向・課題

これからのまちづくりの大切な視点を踏まえ、今後の取り組みの方向や課題について次のとおり提示する。

- ・市民が自ら作り上げる小さな表現活動や多様な文化活動の育成
- ・札幌の特長を活かした身近で楽しむ・自然を楽しむ・冬を楽しむスポーツ文化の育成
- ・新しい時代の価値観やさまざまな可能性を有する人材の育成
- ・学校、家庭、地域、企業、NPOなどの協働による子どもたちの教育

(3) 当面の重点的な取り組み

取り組みの方向・課題を踏まえて、当面は、次に掲げる取り組みを重点的に進められたい。

市民の表現活動を広げる場づくり

札幌ならではの特色ある文化を育てまちを活性化するため、海外のアーティストとの交流や札幌文化のアピールを積極的に展開するとともに、市民が主体の表現活動・文化活動を支援する。

- ・国際的なアーティストと市民との交流を深めるプログラムを展開する。
- ・都心の公共空間や施設を活用し、札幌の文化をアピールする取り組みを展開する。
- ・市民の表現活動・文化活動を支援する仕組みづくりを推進する。

身近でスポーツを楽しめる環境づくり

札幌の特長を活かした札幌ならではのスポーツが身近で楽しめるように、地域住民主体のスポーツクラブを育てるとともに、冬のスポーツ活動の活性化とスポーツを通じた環境教育を推進する。

- ・地域住民が主体となった地域スポーツクラブを育成する。
- ・市民の冬のスポーツ活動を活性化するための取り組みを展開する。
- ・自然と親しむスポーツ活動を通じた環境教育を推進する。

これからの社会を担う人材づくり

これからの札幌を担うさまざまな可能性を有する人材を育てるため、自然との共生や人権を尊重する価値観をはぐくむとともに、芸術・文化体験やまちづくりへの参加を促進する。

- ・先住民族の歴史・文化を学び、自然と共生する価値観をはぐくむ取り組みを推進する。
- ・先住民族や子どもなどの社会的弱者の人権を尊重する価値観をはぐくむ取り組みを推進する。
- ・多様な芸術・文化体験を通して子どもや若者の可能性を伸ばす取り組みを推進する。
- ・さまざまな人たちが地域のまちづくりに参加・活躍する仕組みづくりを推進する。

さまざまな主体の協働による教育の実践

子育てや学校教育を地域のさまざまな主体が支えていく社会を目指し、地域

参画の学校運営や企業の積極的な対応を促進するとともに、子どもの社会性をはぐくむ取り組みを地域の中で実践する。

- ・ P T A , 地域 , 企業が学校運営に参画し , 子どもの生きる力をはぐくむ教育を推進する。
- ・ 家庭の子育てや教育を支援する企業や地域の取り組みを促進する。
- ・ 表現活動を通して子どもたちの社会性を育てる教育プログラムを実践する。

(4) 具体的施策・取り組みの提案

当面の重点的な取り組みを具体化するため、次に掲げる施策等を実施することを提案する。

市民の表現活動を広げる場づくり

- ・ アーティスト・イン・レジデンス事業^{注10}を推進する。
- ・ 大通公園を活用した国際的な大道芸イベントを展開する。
- ・ 歴史文化遺産を活用したフィルムコミッションを展開する。
- ・ 都心の廃校を活用した市民の表現活動の拠点づくりを進める。
- ・ 公共施設における N P O 等の有料催事の規制を緩和する。

身近でスポーツを楽しめる環境づくり

- ・ 地域スポーツクラブの自立を支援する仕組みづくりを進める。
- ・ プロスポーツと市民スポーツをつなぐ取り組みを進める。
- ・ 大通公園や大倉山を活用した冬のイベントを展開する。
- ・ 家族ぐるみで冬の遊びを楽しむ地域イベントを実施する。
- ・ 学校体育における自然とふれあうスポーツを実践する。

これからの社会を担う人材づくり

- ・ 学校教育で先住民族の歴史・文化の総合学習を実施する。
- ・ 市立大学で先住民族文化を学ぶプログラムを推進する。
- ・ 子どもから大人までさまざまな場面での人権教育を実施する。
- ・ 学校教育で芸術・文化の体験学習や特別授業を実施する。
- ・ 若者たちの表現活動を支援する仕組みづくりを進める。
- ・ 公共サービスを地域のボランティアが担う仕組みづくりを進める。
- ・ 地域活動に関する横断的情報ネットワークづくりを進める。

注10 アーティスト・イン・レジデンス事業 海外の芸術家を一定期間地域に招いて、実際に現地で創作活動を行ってもらう制度。

さまざまな主体の協働による教育の実践

- ・地域の住民の参画による開かれた学校運営を実践する。
- ・高齢者の知恵と経験を子どもの教育に活かす仕組みづくりを進める。
- ・家庭を大切にするファミリー・フレンドリー企業^{注11}に向けた取り組みを推進する。
- ・不登校の子どもたちが社会と接する活動の拠点づくりを進める。
- ・小中学生を対象としたドラマワークショップ^{注12}を開催する。

(5) その他

市の素案に対する意見を次のとおり提示する。

《基本目標：ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ》

- ・ビジョンの中に「生きる哲学」という言葉を盛り込みたい。

《重点戦略課題：芸術・文化の薫る街の実現》

- ・芸術・文化には質の高いものと市民レベルの小さな表現活動があり、それをはっきり分かるよう区別して記述したほうがよい。
- ・芸術・文化には「多様性」が大切だということを強調すべきである。
- ・鑑賞することと表現（活動）することを区別して記述したほうがよい。
- ・伝統文化とは区別して、「先住民族文化」あるいは「アイヌ（民族）文化」と表記すべきである。

《重点戦略課題：スポーツの魅力あふれる街の実現》

- ・現状と課題に「競技中心から身近で気軽に楽しめるものへ」とあるが、もう少し具体的な言葉で記述したほうがよい。
- ・スポーツにおける札幌ブランドを高める取り組みとして「プロスポーツの育成」を掲げているが、冬のスポーツについても考える必要がある。

《重点戦略課題：自立した市民に育てる教育の推進》

- ・「企業」や「職場」が、家庭の子育てや子どもの教育に大きなかかわりを持つため、ビジョンの中に文言で盛り込むべきである。
- ・子どもと地域の高齢者との交流の有益性・必要性について盛り込むべきである。

注11 ファミリー・フレンドリー企業 仕事と育児・介護とが両立できるさまざまな制度を持ち、多様でかつ柔軟な働き方を労働者が選択できるような取り組みを積極的に行っている企業。

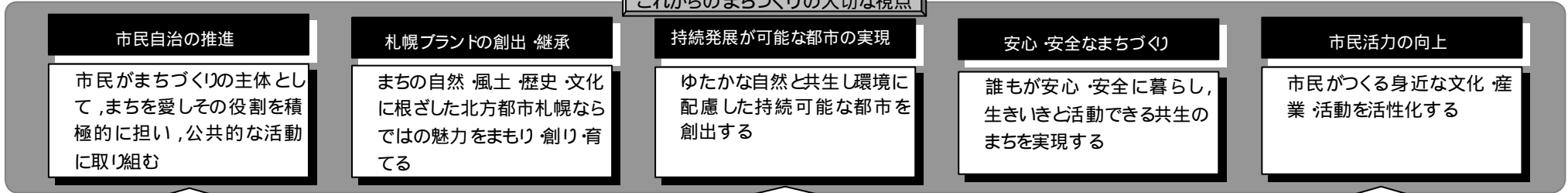
注12 ドラマワークショップ ドラマとは、普段の自分とは違うものを演ずる体験やプロセスの中で自己表現力やコミュニケーション能力を高める欧米の教育プログラムのこと。

- ・各主体の主な役割では、「学校」が推進の中心的役割を担うため、主体の一つとして「行政」から分離すべきである。
- ・各主体の主な役割で「子どもを社会全体で育てるという意識による連携」とあるが、「社会全体」ではなく「地域」で育てるとしたほうがより適切である。
- ・不登校などに対する取り組みの推進主体は、学校、家庭、地域の3つであるため、そのような記述を盛り込むべきである。

資料編

1 総論の骨子

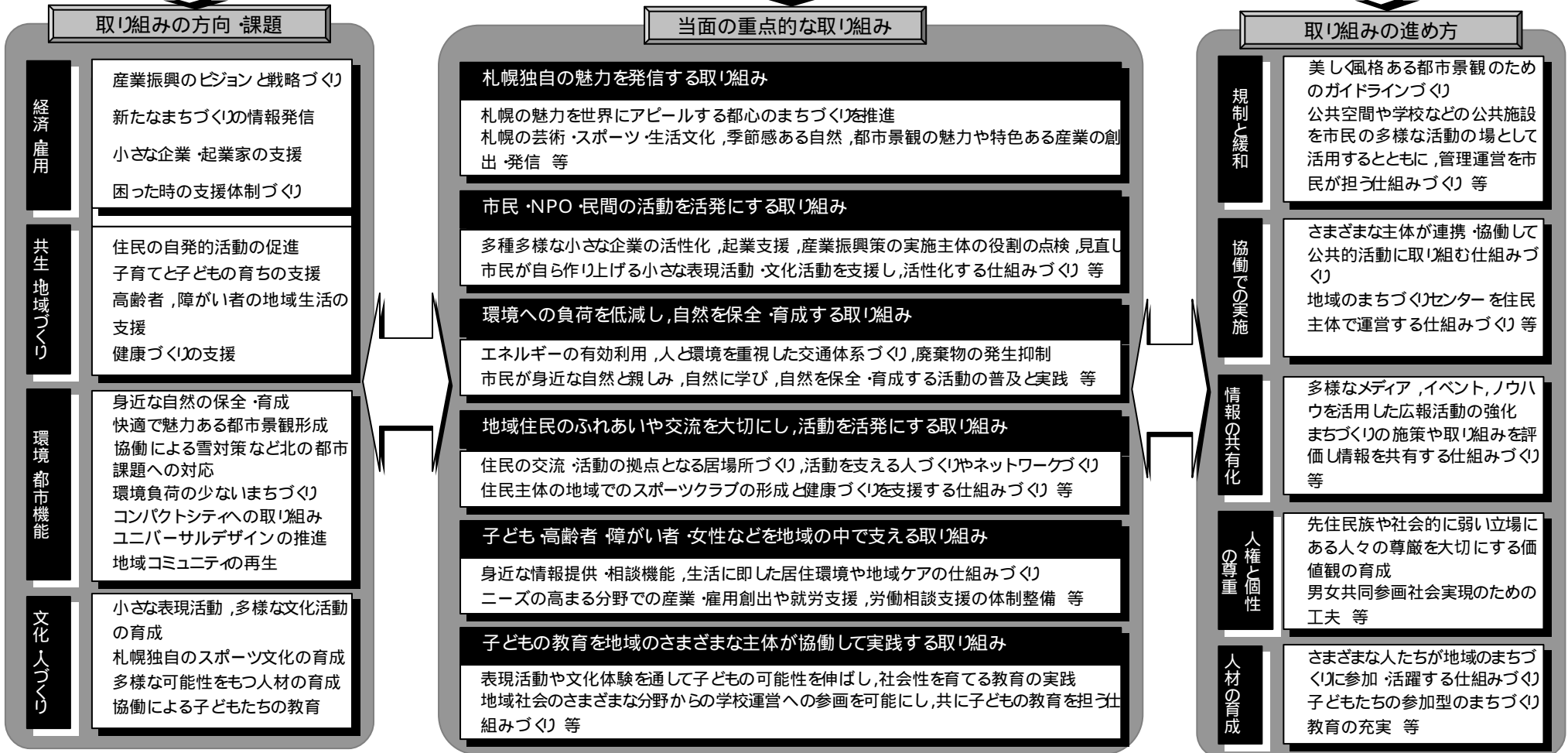
これからのまちづくりの大切な視点



取り組みの方向・課題

当面の重点的な取り組み

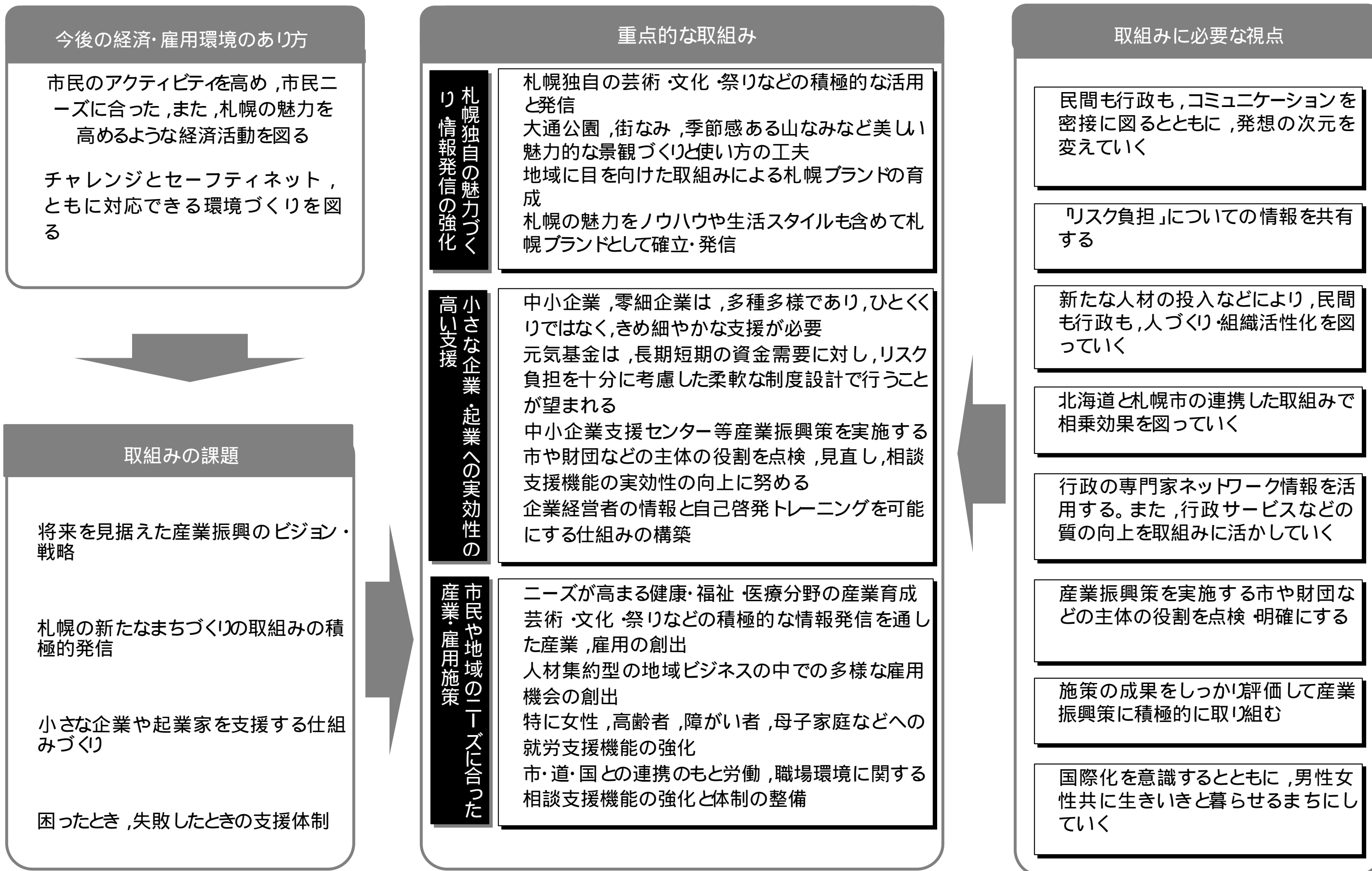
取り組みの進め方



2 分科会報告

經濟・雇用分科会

経済・雇用分科会の議論のまとめ



今後の経済・雇用環境のあり方

市民のアクティビティを高め,市民ニーズに合った,また,札幌の魅力を高めるような経済活動を図る

チャレンジとセーフティネット,ともに対応できる環境づくりを図る

取組みの課題

将来を見据えた産業振興のビジョン・戦略

札幌の新たなまちづくりの取組みの積極的発信

小さな企業や起業家を支援する仕組みづくり

困ったとき,失敗したときの支援体制

重点的な取組み

札幌独自の魅力づくり
情報発信の強化

札幌独自の芸術・文化・祭りなどの積極的な活用と発信
大通公園,街なみ,季節感ある山なみなど美しい魅力的な景観づくりと使い方の工夫
地域に目を向けた取組みによる札幌ブランドの育成
札幌の魅力をノウハウや生活スタイルも含めて札幌ブランドとして確立・発信

小さな企業・起業への
実効性の高い支援

中小企業,零細企業は,多種多様であり,ひとくくりではなく,きめ細やかな支援が必要
元気基金は,長期短期の資金需要に対し,リスク負担を十分に考慮した柔軟な制度設計で行うことが望まれる
中小企業支援センター等産業振興策を実施する市や財団などの主体の役割を点検,見直し,相談支援機能の実効性の向上に努める
企業経営者の情報と自己啓発トレーニングを可能にする仕組みの構築

市民や地域のニーズに
合った産業・雇用施策

ニーズが高まる健康・福祉・医療分野の産業育成
芸術・文化・祭りなどの積極的な情報発信を通じた産業,雇用の創出
人材集約型の地域ビジネスの中での多様な雇用機会の創出
特に女性,高齢者,障がい者,母子家庭などへの就労支援機能の強化
市・道・国との連携のもと労働,職場環境に関する相談支援機能の強化と体制の整備

取組みに必要な視点

民間も行政も,コミュニケーションを密接に図るとともに,発想の次元を変えていく

「リスク負担」についての情報を共有する

新たな人材の投入などにより,民間も行政も,人づくり・組織活性化を図っていく

北海道と札幌市の連携した取組みで相乗効果を図っていく

行政の専門家ネットワーク情報を活用する。また,行政サービスなどの質の向上を取組みに活かしていく

産業振興策を実施する市や財団などの主体の役割を点検・明確にする

施策の成果をしっかりと評価して産業振興策に積極的に取り組む

国際化を意識するとともに,男性女性共に生きいきと暮らせるまちにしていく

経済・雇用分科会の議論整理表

重点戦略課題	重点的な取組み	分科会の議論, 市の素案に対する意見, における具体的な委員意見
中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援	<p>小さな企業・起業への実効性の高い支援</p> <p>中小企業, 零細企業は, 多種多様であり, ひとくくりではなく, きめ細やかな支援が必要</p> <p>元気基金は, 長期短期の資金需要に対し, リスク負担を十分に考慮した柔軟な制度設計で行うことが望まれる</p> <p>中小企業支援センター等産業振興策を実施する市や財団などの主体の役割を点検, 見直し, 相談支援機能の実効性の向上に努める</p> <p>企業経営者の情報と自己啓発トレーニングを可能にする仕組みの構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業対策というより零細企業対策をたてる必要があるのでは (内田会長) ・ 札幌商工会議所会員の一部は, 零細企業 (荒委員) ・ 中小企業全体ではなく業種別の整理をしていくことが大事 (高田委員) ・ 元気基金は, 今までと同じやり方をするならば, 例えば, 札幌に本拠を置く新規の法人の法人市民税を5年間無料にするなどに振り向けるべき (田村委員) ・ 長期資金を拡充することで資金需要の対応力を高めるべき (田村委員) ・ 補助金や融資は, 廃業してしまうこともあるというのを頭に入れておくべき (高田委員) ・ 元気基金の活用は, 中小企業センター, 信用保証協会, 融資銀行, 三者の認識が一致しなければ, 企業の活性化はない。故に, 焦点を違えないことが大切 (高田委員) ・ 元気基金は, 新しい仕組みでやっていく観点でやってほしい (内田会長) ・ 「リスク負担」についての情報, 見通しを市はきちんと提供すること (内田会長) ・ 中小企業支援センターの機能を民間委託し, 夜間も受付ける体制にする等の見直しをすべき (田村委員) ・ 時代の変化に対応できる若くて機動力のある知識を有する人材の活用によるパートナー機能の充実 (田村委員) ・ 財団は, 違う人材を入れて活性化させるなど, 市民側・企業側の視点を取り入れる組織体とする工夫を (内田会長 高田委員) ・ 家庭事情に踏みこんで相談できるような, かつ先の戦略を持つ相談員が必要 (高田委員) 等
安心して働ける環境づくり	<p>市民や地域のニーズに合った産業・雇用施策</p> <p>人材集約型の地域ビジネスの中での多様な雇用機会の創出</p> <p>芸術・文化・祭りなどの積極的な情報発信を通じた産業, 雇用の創出</p> <p>特に女性, 高齢者, 障がい者, 母子家庭などへの就労支援機能の強化</p> <p>市・道・国との連携のもと労働, 職場環境に関する相談支援機能の強化と体制の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材集約型の在宅介護などの分野で雇用創出の工夫は考えられないか。ただし, 安定した良質な雇用でなければならない (工藤委員) 若者の職業意識の形成, 啓発の実効性を高めるため事業アイデアを公募し運営を委託, 実績を評価できるようにする (田村委員) ・ 男女共同参画における女性の自立, 特に母子家庭の就労は難しく, 一層, 企業の理解と支援体制が必要である (高田委員) ・ 人権における障がい者の自立と支援, そして高齢者の経験, 能力をいかした積極的な就労支援が大切である (高田委員) ・ 就労支援は, 働く意欲, 自信をかきたて, 相談者の未来像が描かれるような生活プラス職業相談の戦略がなければ, 今日的就労にはつながらない。そのような指導員の養成, 支援機能の強化が必要。キャリアコンサルタントの活用も大である (高田委員) ・ 女性の働く場の改善を積極的に言っているのでは (内田会長) ・ 福祉の関係でも社会参加する仕組み, 市民の心を育てるやり方の工夫を (内田会長) ・ 雇用, 起業におけるトラブル時の対応を施策の一環とするべき (工藤委員) ・ 雇用関係について国とは別の立場で市はどうするのか考えてほしい (工藤委員) ・ 雇用トラブルを回避し, 失業者を増やさないための労使双方への支援 (工藤委員) ・ 公契約における公正な労働基準確保条例の制定 (工藤委員) ・ 市はコーディネーターとしての役割を果たす形で, 市民と連携しては (工藤委員) 等

重点戦略課題	重点的な取組み	分科会の議論」, 市の素案に対する意見」における具体的な委員意見
<p>協働による観光振興とコンベンション事業の推進</p>	<p>札幌独自の魅力づくり・情報発信の強化 札幌独自の芸術・文化・祭りなどの積極的な活用と発信 大通公園, 街なみ, 季節感ある山なみなど美しい魅力的な景観づくりと使い方の工夫 地域に目を向けた取組みによる札幌ブランドの育成 札幌の魅力をノウハウや生活スタイルも含めて札幌ブランドとして確立・発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大道芸に対する支援など, 観光の目玉づくりを (高田委員) ・ 観光案内についての動線を今一度再点検 (高田委員) ・ 観光客の中にもお年よりの方はおり, 駅やテレビ等周辺など人が集まる場所の利用し易いバリアフリー 施設整備は大切 (荒委員) ・ 小さな町に負けないように, 役所と企業のコミュニケーションを積極的に (荒委員) ・ 世界に発信する経済・文化・情報のメッカ国際都市札幌として, 大通公園が大道芸人の集積等により, 表現活動のステージになることを期待する (高田委員) ・ 大通公園のイチョウ, 紅葉は, 海外の観光客も感動しており, もっと工夫していくとすばらしい場所になる (荒委員) ・ 大通公園周辺については宣伝車などについて一定の利用規制をしては (荒委員) ・ (大通公園などは) 利用規制をするのではなく, 時間がかかっても自発的な形で, 望ましい使い方がされていく方がよいのでは (内田会長) ・ 宝石に等しい歴史感のある赤レンガ北海道庁舎周辺の活用を北海道と市で連携して進めて欲しい (高田委員) ・ ボランティアで藻岩山など山なみが紅葉で一杯になるくらいの風景をつくっては, 生態系を守りながら (高田委員) ・ すずきのは知名度が高い犯罪のないまちづくりをめざすべき (高田委員) ・ フィルムコミッション事業を市民とともに推進し, 映像資料, 建物の保存を進め 映像ミュージアム」等をつくり, 芸術・文化の観光資源とする (田村委員) ・ 訪れた人が住みたくなるようなまちづくりを進めるため (案内機能や外国語標記の充実, 啓発活動や医療支援の充実) のまちづくり活動に対する支援 (田村委員) ・ 地域の芸術・文化などの情報を大切にすべき。札幌で評判の高い情報はよそでも評判になり, 札幌ブランドとしての情報になっていくことが考えられる。新しいことをやるだけではなくて, 今ある芽をネットワークにうまくのせるなどして, 辛抱強く育てていくことも必要では (内田会長) ・ 集客のためには, 「行ってみたい」と思わせる情報を発信することが重要。「札幌に来たら何かある」というものが必要であり, そこを具体的に考えていく時期に来ている。民間も市も発想の次元を変えなければならない。 (内田会長) ・ 札幌の「売り」を明確にし, 意識的に打ち出す必要がある (平本副会長) ・ 顧客 (市民, 観光客など) サービスの向上は信頼の獲得につながるものであり, ITの活用により工夫が可能ではないか (平本副会長) 等

重点戦略課題	重点的な取組み	分科会の議論」, 市の素案に対する意見」における具体的な委員意見
札幌の知恵を活かした新たな産業の創出	<p>市民や地域のニーズに合った産業施策 ニーズが高まる健康・福祉・医療分野の産業育 芸術・文化・祭りなどの積極的な情報発信を通じた 産業、雇用の創出</p> <p>札幌独自の魅力づくり・情報発信の強化 地域に目を向けた取組みによる札幌ブランドの育 成 札幌の魅力をノウハウや生活スタイルも含めて札 幌ブランドとして確立・発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・福祉・健康面の分野は、今後ニーズが増えるので、この分野での産業育成、誘致が必要 (内田会長) ・ 農業と薬学の研究との連携で新しい都市型農業のあり方の検討 (高田委員) ・ 情報発信、科学する農業についての学習と実践。農業、遺伝子問題、札幌ブランド(付加価値) 農芸科学、薬学など産学官共同を密にする (高田委員) ・ 福祉とITを結ぶなど、行政のニーズを企業にふって、それにより新しい技術や雇用が生まれることがあってもいい (内田会長) ・ 近隣地域と連携した食品分野の新産業創出 (田村委員) ・ ファッション、食品など分野別のコンテストなどで、一つ一つの業種を丹念に活性化させ、中からいいものが出てきて、札幌ブランドとなっていくのでは (高田委員) ・ 製品としてではなく、暮らしやすい住環境、医療面でのサポートなど、イメージとして札幌ブランドをとらえ、高め、浸透させ、アピールしてはどうか (平本副会長)等
アジアの産業ネットワークの拡大	<p>札幌独自の魅力づくり・情報発信の強化 札幌の魅力をノウハウや生活スタイルも含めて札 幌ブランドとして確立・発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌を気に入って定着してくれる外国人を大切にすることが宣伝につながるのでは (田村委員) ・ 物産展・商談会の開催などを見直し実効性の高いものとし、国際ビジネスを促進するための環境づくりを進める (田村委員) ・ 札幌から海外に進出した企業の動きなどの分析をしっかりと (高田委員) ・ 世界の中での札幌を本当にどうしていかなければならないのか、といところで考えなければならない (内田会長)等
そのほか		<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市化において農業の再生は難しいが人材育成が必要 (高田委員) ・ 食は生きる力なり、市民は良質な野菜等の供給を願っている、生産者と供給者の信頼の構築 (高田委員) ・ 都市型農業札幌市の生産、集散、消費地としての役割と責任 (高田委員) ・ 世代別 (20代 30代 40代 50代 60代)のまちづくり市民会議 (完全公募制)を常設し随時市長に提言する(田村委員)等

基本目標	望ましい街の姿（基本目標レベルで目指すべき将来像）	（仮称）戦略目標（経済・雇用分野の、より身近な将来像）
<p>元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ</p>	<p>【修正案（「安心」などに関する記述追加）】 多くの企業が、時代の変化に対応した事業展開に取り組むとともに、市民やNPOは、積極的に起業に挑戦しています。また、本市のさまざまな資源を活かした高い競争力を有する産業が育ち、新たな製品や技術が札幌ブランドとして国内外に発信されるなど、経済は活気に満ちています。 <u>働く側にとっても、男性女性ともに、多様な就労の機会が充実するなど、生きいきと安心して暮らしています。</u> また、四季を通じて、国内・海外から多くの観光客が訪れるとともに、数々のコンベンションが開催され、さまざまな国、地域の人々や産業、文化が交流しており、<u>外国人も暮らしやすいなど国際都市としての環境づくりも進み、まちは活気に満ちています。</u></p>	<p>札幌の経済を担っている多様な中小企業が、常に時代の変化に敏速に対応し、新たな事業に果敢に取り組んでおり、また、豊富な人材集積やきめ細やかな支援制度を背景に市民やNPOによる起業が活発化し、持続的な経済の活力が生まれています。 （ 中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援 ）</p>
<p>健やかに暮らせる共生の街さっぽろ</p>	<p>高齢者、障がいのある人、子育て家庭など誰もがお互いを理解し、尊重し合いながら、地域の中でふれあい、支えあって生きいきと健康に暮らしています。 地域の交流や支えあいを通じて、人と人のネットワークが核となって、様々な分野に市民活動の輪が広がり、課題の解決や目標の実現に向けて、個性豊かな地域づくりが進められています。</p>	<p>産業の円滑な構造転換や新たな産業の創出を背景に、時代にマッチした雇用が常に生み出され、高い求人倍率となっています。また、職業紹介のほか、相談やスキルアップのためのセミナーなど就労を支援する制度を活用した就職者が増加するとともに、ライフスタイルに応じた働き方が可能となり、少人数グループによる共同事業などの新たな就労のスタイルも増えてきています。 （ 安心して働ける環境づくり ）</p>
<p>世界に誇れる環境の街さっぽろ</p>	<p>多雪寒冷な気候がもたらす北国らしい明瞭な四季を通じて、ゆたかなみどりや水辺、雪など変化にとんだ自然環境を身近に楽しむことができます。 都心部や地域の中心などでは、都市機能がコンパクトに集積し、エネルギー利用効率や公共交通の利便性に優れ、誰もが大都市ならではの快適な生活を送ることができます。 都市の環境を守り、将来の世代に良好な環境を継承するため、市民一人ひとりが資源やエネルギーをできる限り使わない、ごみを発生させないといったことを基本とする生活が定着しています。</p>	<p>四季が織りなす豊かな魅力に恵まれた観光都市としての優位性を一層高め、まちが人々を引きつけ、迎える市民のおもてなしでもう一度訪ねたくなるまちになっています。さらに、国内外の人々の交流を演出する多くのコンベンションの開催で、活気があり新たな市民文化を育むまちになっています。 （ 協働による観光振興とコンベンション事業の推進 ）</p>
<p>芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ</p>	<p>誰もが気軽に参加できる文化活動が街のいたるところで行われているとともに、市民のライフスタイルや多様なスポーツ活動に応えることのできる環境づくりが進み、文化、スポーツを身近なものとして感じることができます。 札幌ならではの質の高い芸術や伝統文化に触れる機会が充実するとともに、スポーツにおける札幌ブランドが高まり、札幌の街の個性として独自の文化を育てています。 芸術・文化やスポーツの魅力あふれる札幌の都市文化を世界に向けて発信し、国内外の人たちとの交流を深めています。</p>	<p>市内に多数ある大学や研究機関、集積が進んだIT系企業群などを核に「知のネットワーク」が形成され、高い競争力を有する新たな産業が生まれるとともに、様々な分野で中小企業が意欲的に新しい事業にチャレンジし、そこで生まれた新製品や技術が、札幌の高い都市イメージと結びつき「札幌ブランド」として世界に発信されています。 （ 札幌の知恵を活かした新たな産業の創出 ）</p>
<p>ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ</p>	<p>子どもたちは、地域社会の中で温かく見守られながら、夢や目標の実現に向かって、学習やスポーツに生き生きと取り組むとともに、社会の一員として、家族や友人と一緒にボランティアや地域活動にも積極的に参加しています。 市民のだれもが、それぞれのライフステージで積極的に学び、ゆたかな人間性や創造性を培い、学んだ成果を様々な機会に発揮するとともに、自分の可能性に挑戦し海外でも活躍するなど、人生に生きがいや楽しさを感じながら暮らしています。</p>	<p>多数の市内企業が販路拡大等を目指し、グローバルな経済活動を展開しており、特にアジアとの産業のネットワークが急速に拡大し、観光客等の来客数も飛躍的に増加しています。 （ アジアの産業ネットワークの拡大 ）</p>

市の素案	委員の具体的意見	
<p style="text-align: center;">基本目標</p> <p style="text-align: center;">元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ</p>	<p>【工藤委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層が希望を持てる労働と職場 ・失業者を増やさない ・雇用創出 ・就業の機会均等 ・セーフティネットが網羅 	<p>【田村委員意見】</p> <p>「市民による元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ」</p> <p style="text-align: center;">下線は主な変更点</p> <p>【工藤委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大企業は、違法なサービス労働を一掃し、女性、高齢者、障がい者の雇用を積極的にすすめている。 ・中小・零細企業は、様々な支援を有効に活用しながら、さっぽろの、人・物を生かした産業、新たな技術の開発にチャレンジしている。 ・新卒者や若者が希望を持って働いている。 ・失業者しても長期的失業状態には陥らない、就労のためのきめ細かい支援がある。 ・市と、札幌市内の公的機関、公共施設、公共事業に従事する民間労働者の、国を上回る最低賃金、労働条件の確保が条例で定められる。 ・公契約条例が適用される範囲での、シングルマザー、若年層、障がい者の優先雇用枠がある。 ・優良企業の公表、悪質な企業への委託・発注差し止めにより、企業努力が高まり、企業間の公正な競争が生まれている。
<p style="text-align: center;">望ましい街の姿（基本目標レベルで目指す将来像）</p> <p>多くの企業が、時代の変化に対応した事業展開に取り組むとともに、市民やNPOは、積極的に起業に挑戦しています。また、本市の様々な資源を生かした高い競争力を有する産業が育ち、新たな製品や技術が札幌ブランドとして国内外に発信されるなど、経済は活力に満ちています。働く側にとっても、多様な就労の機会が充実しています。</p> <p>また、四季を通じて、国内・海外から多くの観光客が訪れるとともに、数々のコンベンションが開催され、様々な地域の人々や産業、文化が交流することにより、まちは活気に満ちています。</p>	<p>【高田委員意見】</p> <p>北方圏に位置する札幌市は、かつて冬のオリンピック開催都市として、その轟きを、世界に発信しましたが、今、再び郷土愛に燃える市民達は、時代の変化に迅速に対応し、新たな街づくりに果敢に取り組んでいます。</p> <p>これまでの豊富な人材集積、そしてきめ細やかな支援制度は、多様な中小企業をはじめ、NPO起業の活発化により、高い競争力を有する産業が育ち、経済の活発化は、雇用においても、充実、市民一人一人に活力が漲っています。また、四季を通じて、国内外からの観光客は、街に溢れ、数々のコンベンション開催と共に、その経済と文化の交流は、世界に発信する情報都市、札幌です。</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p>多くの企業が、時代の変化に対応した事業展開に取り組むとともに、市民やNPOは、<u>夢実現のため積極的に起業に挑戦しています。また、本市の機能は世界のどの都市よりも効率的で各事業ごとに市民委員が監査することにより外郭団体も含め最大限スリム化、詳細まで情報公開されることにより、民間主導で様々な資源を生かした高い競争力を有する産業が育ち、新たな製品や技術が札幌ブランドとして国内外に発信されるなど、経済は活力に満ちています。</u>働く側にとっても、多様な就労の機会が充実しています。</p> <p>また、四季を通じて、国内・海外から多くの観光客が訪れ、<u>また定住者も増えるとともに、数々のコンベンションが開催され、様々な地域の人々や産業、文化が交流することにより、まちは活気に満ちています。</u></p>
<p style="text-align: center;">重点戦略課題</p> <p>中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援</p> <p>安心して働ける環境づくり</p> <p>協働による観光振興とコンベンション事業の推進</p> <p>さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出</p> <p>アジアの産業ネットワークの拡大</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p>中小企業や創業に挑戦する市民への実効性の高い支援</p> <p>観光振興と海外からの定住者支援</p> <p>さっぽろの知恵を活かした産業の創出</p>	<p>【修正案（「安心」などに関する記述追加。36Pと同じ）】</p> <p>多くの企業が、時代の変化に対応した事業展開に取り組むとともに、市民やNPOは、積極的に起業に挑戦しています。また、本市のさまざまな資源を活かした高い競争力を有する産業が育ち、新たな製品や技術が札幌ブランドとして国内外に発信されるなど、経済は活力に満ちています。</p> <p><u>働く側にとっても、男性女性ともに、多様な就労の機会が充実するなど、生きいきと安心して暮らしています。</u></p> <p>また、四季を通じて、国内・海外から多くの観光客が訪れるとともに、数々のコンベンションが開催され、さまざまな国、地域の人々や産業、文化が交流しており、<u>外国人も暮らしやすいなど国際都市としての環境づくりも進み、まちは活気に満ちています。</u></p>

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぼろ
重点戦略課題：中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぼろ

【田村委員意見】中小企業や創業に挑戦する市民への実効性の高い支援

市の素案	委員の具体的意見															
<p>(仮称)戦略目標</p> <p>札幌の経済を担っている多様な中小企業が，常に時代の変化に敏速に対応し，新たな事業に果敢に取り組んでおり，また，豊富な人材集積やきめ細やかな支援制度を背景に市民やNPOによる起業が活発化し，持続的な経済の活力が生まれています。</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p>札幌の経済を担っている多様な中小企業が，常に時代の変化に敏速に対応し，新たな事業に果敢に取り組んでおり，また，豊富な人材集積や実効性の高い支援制度を背景に市民やNPOによる起業が活発化し，持続的な経済の活力が生まれています。</p>															
<p>現状と課題</p> <p>市内に所在する企業は，9割以上が中小企業 金融機関の貸し出し姿勢が抑制的なこと等により企業に資金が行き渡らない事例も散見 充実した人材育成や情報収集の仕組みを持つ企業は多くはない 市内の企業数は減少傾向（廃業率が開業率を上回っている） 開業率（高い順に：卸売・小売業・飲食店，運輸・通信業，金融・保険業，サービス業，・・・） 廃業率（高い順に：卸売・小売業・飲食店，金融・保険業，運輸・通信業，建設業，・・・） 起業を目指す市民が積極的に開業し，自立的企業となることが可能な環境整備 起業だけでなく，新事業，新分野へチャレンジする企業等に対する支援</p>																
<p>各主体の主な役割</p> <table border="1" data-bbox="181 1339 1130 1864"> <tr> <td data-bbox="181 1339 397 1465">市民</td> <td data-bbox="397 1339 1130 1465"> <ul style="list-style-type: none"> 新規創業へのチャレンジ ベンチャー企業への理解・投資 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 1465 397 1591">企業等</td> <td data-bbox="397 1465 1130 1591"> <ul style="list-style-type: none"> 新事業・新分野への展開 技術開発への積極的な取り組み など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 1591 397 1717">NPO等</td> <td data-bbox="397 1591 1130 1717"> <ul style="list-style-type: none"> 身近な生活サービス分野でのビジネス展開 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 1717 397 1864">行政</td> <td data-bbox="397 1717 1130 1864"> <ul style="list-style-type: none"> 企業支援制度の拡充 創業支援体制の強化 新しい産業分野に関する情報提供 など </td> </tr> </table>	市民	<ul style="list-style-type: none"> 新規創業へのチャレンジ ベンチャー企業への理解・投資 など 	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 新事業・新分野への展開 技術開発への積極的な取り組み など 	NPO等	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生活サービス分野でのビジネス展開 など 	行政	<ul style="list-style-type: none"> 企業支援制度の拡充 創業支援体制の強化 新しい産業分野に関する情報提供 など 	<p>【田村委員意見】</p> <table border="1" data-bbox="1261 1291 2763 1871"> <tr> <td data-bbox="1261 1291 1486 1451">市民</td> <td data-bbox="1486 1291 1952 1871" rowspan="4"> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 1451 1486 1610">企業等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 1610 1486 1770">NPO等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1261 1770 1486 1871">行政</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1596 1717 2718 1850"> <ul style="list-style-type: none"> 資金面での企業・起業支援制度充実に特化 民間主導の原則を尊重し、行政は組織を極限までスリム化し運営コスト引き下げる。 </td> </tr> </table>	市民		企業等	NPO等	行政	<ul style="list-style-type: none"> 資金面での企業・起業支援制度充実に特化 民間主導の原則を尊重し、行政は組織を極限までスリム化し運営コスト引き下げる。 	
市民	<ul style="list-style-type: none"> 新規創業へのチャレンジ ベンチャー企業への理解・投資 など 															
企業等	<ul style="list-style-type: none"> 新事業・新分野への展開 技術開発への積極的な取り組み など 															
NPO等	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生活サービス分野でのビジネス展開 など 															
行政	<ul style="list-style-type: none"> 企業支援制度の拡充 創業支援体制の強化 新しい産業分野に関する情報提供 など 															
市民																
企業等																
NPO等																
行政																
<ul style="list-style-type: none"> 資金面での企業・起業支援制度充実に特化 民間主導の原則を尊重し、行政は組織を極限までスリム化し運営コスト引き下げる。 																

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

【田村委員意見】中小企業や創業に挑戦する市民への実効性の高い支援

市の素案	委員の具体的意見	
<p>施策の基本方針</p> <p>「札幌元気基金」の枠組みづくりを進め，ニーズに応じた効果的な資金面での支援を強化する</p> <p>専門家によるアドバイザー制度・人材育成や情報提供の充実など，きめ細やかな支援を行う</p>	<p>【高田委員意見】 中小企業再生アラカルト</p> <p>中小企業の活性こそ，札幌市経済の活力と期待されるが，これら業種についての分類は，多種に亘り，規模，内容においても様々で，故に組織結集の難しさ等，マイナー感覚で，とらえられることが多い。</p> <p>個々における資金面等，財務関係の相談はあっても，プロデュース感覚における相談体制は限られてきたことと考える。</p> <p>しかし，今はこの問題こそ，中小零細企業の生きる力，自信を取り戻す鍵でもある。元気基金はもとより，トップマネジメントいわゆる経営者の自己啓発等，トレーニングをはじめ，業種別の組織の構築により，セミナーの開催，又異業種交流による情報発信等で，札幌ブランドの成果も期待され，勿論，中小零細企業の再生が叶えられるであろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 元気基金の活用は，中小企業センター，信用保証協会，融資銀行，三者の認識が一致しなければ，企業の活性化はない。故に，焦点を違えないことが大切である。 2 企業経営者の情報と自己啓発トレーニングの必要 3 分類別組織開発への指導と育成 4 異業種交流についての成果と札幌ブランド製品 5 分類別企業のコンペ開催の推進 <p style="text-align: center;">産業振興財団の活性化を期待して</p> <p>様々な事業分野からなる産業振興財団の今日的役割は大きく，札幌のシンクタンクに等しいと受け止める。ドライ，ウェット，ハード，ソフトと横文字を並べたが，あらゆる感性を駆使しての札幌市活性化への誘致運動，即ちプロモーションであり，又，中小零細企業への指導相談等，きびしい事業内容と考える。</p> <p>最近の他都市の状況においても，それぞれ街づくりに懸命の努力をしており，誘致についても非常に難しくなっている。</p> <p>開拓時代の歴史観ある札幌らしさを強調し，いかに事業を推進していくか斬新，緻密，信頼，決断，市民との価値観の共有，フットワーク，いろんな要素が求められるが，民間人の導入は，活性化への一つの手段でもあり，ボトムアップ気概を持って進めて欲しい。</p> <p>成熟した社会において，成果と評価は当たり前前の時代に入ってきた。それだけに，市民みんなが共有しあえる街づくりこそ，札幌の活力が漲るのである。財団組織の活性化を期待しながら。</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p>施策の基本方針</p> <p>「札幌元気基金」の枠組みづくりの実効性を高めるため市民検討委員会をつくり意見を取り入れて進め，ニーズに応じた効果的な資金面での支援を強化する</p> <p>施策</p> <p>< 資金面での支援の充実 ></p> <p>高い技術を有しながら担保不足等で融資を受けることが困難な企業や，<u>長期資金を拡充することで資金需要の対応力を高め同時に，仕入れ・決済など短期の資金が必要な企業に対する支援策をも充実させる</u></p> <p>< 人材育成，情報提供などきめ細やかな支援 ></p> <p><u>時代の変化に対応できる若くて機動力のある知識を有する人材の活用によるパートナー機能の充実</u></p> <p>経済環境の変化にも高い適応力を有する実践的な人材の確保及び育成</p> <p>タイムリーで企業経営に有益な情報の幅広い提供</p> <p>< 起業や新分野進出に関する支援 ></p> <p><u>現在の「札幌元気基金」の枠組では起業支援につながらない為，市民検討委員会（完全公募制）を創り実効性を高め起業や新分野進出関連に重点を置いた施策の実施。中小企業支援センターを財団で運営する意味がある様に市民委員（完全公募制）を定め，運営を見直し，事業の成果の検証を行い実効性の高いものとする。また，助成・補助事業の大幅な見直しを図り起業・新規事業にチャレンジする市民を社会保障面での公平な支援に切り替える。（起業支援は年金，保険の分野で公平で画一的な支援で行う。）</u></p>
<p>施策</p> <p>< 資金面での支援の充実 ></p> <p>高い技術を有しながら担保不足等で融資を受けることが困難な企業や，仕入れ・決済など短期の資金が必要な企業に対する支援策の充実</p> <p>< 人材育成，情報提供などきめ細やかな支援 ></p> <p>豊富な知識や経験を有する人材の活用によるアドバイザー制度の充実</p> <p>経済環境の変化にも高い適応力を有する実践的な人材の確保及び育成</p> <p>タイムリーで企業経営に有益な情報の幅広い提供</p> <p>< 起業や新分野進出に関する支援 ></p> <p>「札幌元気基金」の枠組における起業や新分野進出関連に重点を置いた施策の実施</p> <p>セミナーや交流会，事業計画の立案や資金計画の策定についての相談業務等の充実</p> <p>コミュニティ活動の中心として地域に密着した商店街の活動や地域密着型市民事業（コミュニティビジネス）など，地域に根ざした事業活動に対する支援の充実</p>	<p>分科会での主な議論</p> <p>札幌の中小企業の大部分を占める零細企業に着目した支援策を考えるべき</p> <p>従前と同じ制度での支援ではなく，新しい仕組みをつくる観点で考えるべき</p> <p>既存のやり方とは違う元気基金・支援施策</p> <p>中小企業支援センターなどの制度の見直し</p> <p>新たな人材の投入などによる産業振興財団組織活性化と市民に目を向けた画期的な活動の展開</p> <p>専門家ネットワークによる相談・支援機能を強化・PRするべき</p> <p>（経営の問題から家庭の問題までサポートできる相談員，相談体制）など</p>	

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：安心して働ける環境づくり

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

市の素案	委員の具体的意見																	
<p>(仮称)戦略目標</p> <p>産業の円滑な構造転換や新たな産業の創出を背景に，時代にマッチした雇用が常に生み出され，高い求人倍率となっています。また，職業紹介のほか，相談やスキルアップのためのセミナーなど就労を支援する制度を活用した就職者が増加するとともに，ライフスタイルに応じた働き方が可能となり，少人数グループによる共同事業などの新たな就労のスタイルも増えてきています。</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p>産業の円滑な構造転換や新たな産業の創出を背景に，時代にマッチした雇用が常に生み出され，高い求人倍率となっています。また，職業紹介機能の充実により就職者が増加するとともに，ライフスタイルに応じた働き方が可能となるような企業に対する新しい雇用制度をつくる支援を行い，市職員の任期制を導入することで人材の流動化がすすみ新たな就労のスタイルも増えてきています。</p>																	
<p>現状と課題</p> <p>道内完全失業率は，全国を上回る厳しい数値 札幌圏有効求人倍率は，全国より低い水準。45歳以上の倍率は全体に比べ一段と低倍率。また，事務的職業の倍率は低いのに対し保安の職業の倍率は高い状況 働く側にとっては，働き方が様々なライフスタイルや職業観に対応できていない状況。特に，意欲を持った主婦層や高齢者に対する雇用の受け皿が不足 建設業等構造不況業種の経営状況の悪化</p>																		
<p>各主体の主な役割</p> <table border="1" data-bbox="181 1213 1249 1879"> <tr> <td data-bbox="181 1213 400 1360">市民</td> <td data-bbox="400 1213 1249 1360"> <ul style="list-style-type: none"> 地域社会への積極的な参加 職業能力の向上や自己啓発，職業訓練への主体的な参加など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 1360 400 1507">企業等</td> <td data-bbox="400 1360 1249 1507"> <ul style="list-style-type: none"> 地域に密着した企業活動と雇用の場の創出 多様な就労形態や就労機会の提供 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 1507 400 1654">NPO等</td> <td data-bbox="400 1507 1249 1654"> <ul style="list-style-type: none"> 雇用によらない新たな働き方や多様な就労形態による就労機会の提供 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 1654 400 1879">行政</td> <td data-bbox="400 1654 1249 1879"> <ul style="list-style-type: none"> 雇用のマッチング機能の強化・拡大（総合的な就労支援の場の提供，求人情報や各種助成制度などの情報提供） 多様な働き方の支援（いずれも国，道，市との協働による） < 民間ノウハウの積極的な活用 > など </td> </tr> </table>	市民	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会への積極的な参加 職業能力の向上や自己啓発，職業訓練への主体的な参加など 	企業等	<ul style="list-style-type: none"> 地域に密着した企業活動と雇用の場の創出 多様な就労形態や就労機会の提供 など 	NPO等	<ul style="list-style-type: none"> 雇用によらない新たな働き方や多様な就労形態による就労機会の提供 など 	行政	<ul style="list-style-type: none"> 雇用のマッチング機能の強化・拡大（総合的な就労支援の場の提供，求人情報や各種助成制度などの情報提供） 多様な働き方の支援（いずれも国，道，市との協働による） < 民間ノウハウの積極的な活用 > など 	<p>【田村委員意見】</p> <table border="1" data-bbox="1347 1249 2656 1785"> <tr> <td data-bbox="1347 1249 1537 1333">市民</td> <td data-bbox="1537 1249 1745 1543" rowspan="4" style="text-align: center;">}</td> <td data-bbox="1745 1333 1952 1428">同左</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1347 1333 1537 1428">企業等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1347 1428 1537 1543">NPO等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1347 1543 1537 1638">行政</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1573 1564 2656 1785"> <ul style="list-style-type: none"> 民間ノウハウの積極的な活用で雇用のマッチング機能の強化・拡大を民間主導で行なえるようにする。 多様な働き方の支援 市職員の任期制の導入 </td> </tr> </table>	市民	}	同左	企業等	NPO等	行政	<ul style="list-style-type: none"> 民間ノウハウの積極的な活用で雇用のマッチング機能の強化・拡大を民間主導で行なえるようにする。 多様な働き方の支援 市職員の任期制の導入 		
市民	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会への積極的な参加 職業能力の向上や自己啓発，職業訓練への主体的な参加など 																	
企業等	<ul style="list-style-type: none"> 地域に密着した企業活動と雇用の場の創出 多様な就労形態や就労機会の提供 など 																	
NPO等	<ul style="list-style-type: none"> 雇用によらない新たな働き方や多様な就労形態による就労機会の提供 など 																	
行政	<ul style="list-style-type: none"> 雇用のマッチング機能の強化・拡大（総合的な就労支援の場の提供，求人情報や各種助成制度などの情報提供） 多様な働き方の支援（いずれも国，道，市との協働による） < 民間ノウハウの積極的な活用 > など 																	
市民	}	同左																
企業等																		
NPO等																		
行政																		
<ul style="list-style-type: none"> 民間ノウハウの積極的な活用で雇用のマッチング機能の強化・拡大を民間主導で行なえるようにする。 多様な働き方の支援 市職員の任期制の導入 																		

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：安心して働ける環境づくり

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

市の素案	委員の具体的意見
<p>施策の基本方針</p> <p>再就職を目指す女性，中高年，若年等への総合的な就労支援体制づくりを，国等と連携し進める</p> <p>新たな働き方や多様な雇用の場の創出を図るなど，雇用の安定に取り組む</p> <p>建設業等の構造不況業種について総合的な支援策を実施する</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p>再就職を目指す女性，中高年，若年等への総合的な就労支援体制づくりを，国等と連携し進める</p> <p>新たな働き方や多様な雇用の場の創出を図るために市職員の任期制の導入の検討など新たな試みを進め，雇用の安定に取り組む</p>
<p>施策</p> <p><積極的な就労支援></p> <p>再就職を目指す女性，中高年者や若年層などの方々が就労するための総合的な支援体制の整備</p> <p>若者の職業意識の形成，啓発</p> <p>地域に埋もれた求人の拡大</p> <p>SOHO^{注1}，事業協同組合^{注2}，ワーカーズ・コレクティブ^{注3}など雇用によらない働き方への支援</p> <p>注1 SOHO(small office home office)：情報通信ネットワークを活用した働き方のうち，小規模な事務所や自宅で行うもの</p> <p>注2 事業協同組合：4人以上の小規模事業者の参加により設立し，組合員の経営の近代化・合理化・経済活動機会を確保するために，組合員の事業を支援する共同事業を行う組合</p> <p>注3 ワーカーズ・コレクティブ：働く人がともに出資し，事業を行う協同組合</p> <p><多様な雇用機会の創出></p> <p>コールセンターなど雇用効果の高い人材集約型産業の積極的誘致</p> <p>環境保全に向けた取組みの推進やコミュニティビジネス等の地域密着型事業の振興</p> <p><建設業等構造不況業種対策></p> <p>高い技術力と組織力をもつ力強い建設業への転換</p> <p>企業のノウハウを活かせる他分野への進出促進</p>	<p>【高田委員意見】</p> <p>雇用問題について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの頃から生きることは学ぶこと働くことの生きる力をモットーに自己啓発教育の必要，又，自治体，学校も気運の醸成が大切 2 男女共同参画における女性の自立，特に母子家庭の就労は難しく，一層，企業との理解と支援体制が必要である。 3 人権における障がい者の自立と支援，そして高齢者の経験，能力をいかした積極的な就労支援が大切である。 4 就労支援は，働く意欲，自信をかきたて，相談者の未来像が描かれるような生活プラス職業相談の戦略がなければ，今日的な就労にはつながらない。そのような指導員の養成，支援機能の強化が必要。キャリアコンサルタントの活用も大である。 5 職業訓練費用について，雇用保険加入者は，廉価な費用で，教育訓練を受けられ，当然ではあるが，それ以外の人たちにも，普遍的に学習の機会が与えられるよう，費用の軽減が望ましい。 <p>【工藤委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用トラブルを回避し，失業者を増やさないための労使双方への支援 ・企業活動と市民生活双方の妨げとなる労使間のトラブルを長期化させないための，協働での相談窓口の充実 ・国の機関との密接な連携がはかれる体制をつくる ・中小零細企業への，企業活動への支援 ・既存の支援内容と選定の見直し ・公契約における公正な労働基準確保条例の制定 ・学校教育の中での労働関係法の学習機会，企業見学 ・新卒者や若者が労働に希望を持てるような職場環境と能力開発
<p>分科会での主な議論</p> <p>専門家ネットワークによる相談・支援機能を強化・PRするべき</p> <p>(最初の契約におけるトラブル対応 など)</p> <p>地域ビジネスの中で身近な雇用機会を創出できないか</p> <p>(ホームヘルパーのような在宅看護の分野での雇用創出 など) など</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p><積極的な就労支援></p> <p>再就職を目指す女性，中高年者や若年層などの方々が就労するための総合的な支援体制の整備</p> <p>若者の職業意識の形成，啓発の実効性を高めるため事業アイデアを公募し運営を委託，実績を評価できるようにする。</p> <p>地域に埋もれた求人の拡大を民間主導で行なえる様、市民委員会(完全公募制)を創り検討し実施する。</p> <p>SOHO，事業協同組合，ワーカーズ・コレクティブなど雇用によらない働き方への支援</p> <p><多様な雇用機会の創出></p> <p>コールセンターなど雇用効果の高い人材集約型産業の積極的誘致してきているが，成果を検証し雇用対策として有効に機能しているか市民委員会(完全公募制)を創り検討する。</p> <p>環境保全に向けた取組みの推進やコミュニティビジネス等の地域密着型事業の振興</p> <p>就労形態が多様性をもてる様に市民委員会(完全公募制)を創り検討し，実施する企業の支援を行なう。同時に市職員の任期制を導入し人材の流動化を進める。</p> <p><建設業等構造不況業種対策></p> <p>高い技術力と組織力をもつ力強い建設業への転換</p> <p>近隣市町村との連携しながら建設業、運送業等の企業のノウハウを活かせる他分野への進出促進のため元気基金のベンチャー支援事業部分の予算をあて、成功事例をつくる。(6,500万円の予算でグローバル企業を創るのは現状では厳しいので、これをあてる。)</p>

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：協働による観光振興とコンベンション事業の推進

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

【田村委員意見】観光振興と海外からの定住者支援

市の素案	委員の具体的意見														
<p>（仮称）戦略目標</p> <p>四季が織りなす豊かな魅力に恵まれた観光都市としての優位性を一層高め，まちが人々を引きつけ，迎える市民のおもてなしでもう一度訪ねたくなるまちになっています。さらに，国内外の人々の交流を演出する多くのコンベンションの開催で，活気があり新たな市民文化を育むまちになっています。</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p>四季が織りなす自然豊かな魅力に恵まれた観光都市としての優位性を一層高め，まちが人々を引きつけ，迎える市民のおもてなしでもう一度訪ねたくなるまち、<u>住みたくなるまち</u>になっています。さらに，国内外の人々の交流を演出する多くのコンベンションの開催で，活気があり新たな市民文化を育むまちになっています。</p>														
<p>現状と課題</p> <p>近年来札幌外国人数は増加しているものの，来札幌観光客数全体は横ばい。観光客の入り込み時期にばらつきがあり，年間を通じた安定した集客が必要 集客交流資源の付加価値づくり等，ハード・ソフトの資産を積極活用した新たな魅力発掘が必要 来客数を高めるにはホスピタリティの充実が必要 集客効果の高いコンベンション誘致をめぐる都市間競争 誘致宣伝活動の共同化や周遊ルート開発の促進など，札幌と道内観光地との連携が必要</p>															
<p>各主体の主な役割</p> <table border="1" data-bbox="181 1203 1329 1906"> <tr> <td data-bbox="181 1203 397 1339">市民</td> <td data-bbox="397 1203 1329 1339"> <ul style="list-style-type: none"> ・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・地域の魅力づくりへの参画 ・ボランティアの育成と自立化の支援 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 1339 397 1493">企業等</td> <td data-bbox="397 1339 1329 1493"> <ul style="list-style-type: none"> ・観光商品の開発，誘致宣伝活動 ・観光客等へのより良いサービスの提供 ・観光都市を支える人材の育成 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 1493 397 1646">関係団体</td> <td data-bbox="397 1493 1329 1646"> <ul style="list-style-type: none"> ・内外向けの誘致宣伝活動 ・観光関係者の資質の向上 ・観光資源の保護・活用の促進 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 1646 397 1799">大学等</td> <td data-bbox="397 1646 1329 1799"> <ul style="list-style-type: none"> ・観光（情報）に関する研究者などの人材育成 ・集客交流に関する研究情報の発信 ・企業，行政との共同調査・研究 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="181 1799 397 1906">行政</td> <td data-bbox="397 1799 1329 1906"> <ul style="list-style-type: none"> ・市民，NPO，企業，関係団体等との連携促進や支援 ・国・道・他市町村との連携促進による施策展開 など </td> </tr> </table>	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・地域の魅力づくりへの参画 ・ボランティアの育成と自立化の支援 など 	企業等	<ul style="list-style-type: none"> ・観光商品の開発，誘致宣伝活動 ・観光客等へのより良いサービスの提供 ・観光都市を支える人材の育成 など 	関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ・内外向けの誘致宣伝活動 ・観光関係者の資質の向上 ・観光資源の保護・活用の促進 など 	大学等	<ul style="list-style-type: none"> ・観光（情報）に関する研究者などの人材育成 ・集客交流に関する研究情報の発信 ・企業，行政との共同調査・研究 など 	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・市民，NPO，企業，関係団体等との連携促進や支援 ・国・道・他市町村との連携促進による施策展開 など 	<p>【田村委員意見】</p> <table border="1" data-bbox="1507 1203 2742 1759"> <tr> <td data-bbox="1507 1203 1736 1602">市民，NPO，企業，関係団体等</td> <td data-bbox="1736 1203 2742 1602"> <ul style="list-style-type: none"> ・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・地域の魅力づくりへの参画 ・ボランティアの育成と自立化の支援 ・観光商品の開発，誘致宣伝活動 ・観光客等へのより良いサービスの提供 ・観光都市を支える人材の育成 ・内外向けの誘致宣伝活動 ・観光関係者の資質の向上 ・観光資源の保護・活用の促進 ・観光（情報）に関する研究者などの人材育成 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1507 1671 1736 1759">行政</td> <td data-bbox="1736 1671 2742 1759">同左</td> </tr> </table>	市民，NPO，企業，関係団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・地域の魅力づくりへの参画 ・ボランティアの育成と自立化の支援 ・観光商品の開発，誘致宣伝活動 ・観光客等へのより良いサービスの提供 ・観光都市を支える人材の育成 ・内外向けの誘致宣伝活動 ・観光関係者の資質の向上 ・観光資源の保護・活用の促進 ・観光（情報）に関する研究者などの人材育成 など 	行政	同左
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・地域の魅力づくりへの参画 ・ボランティアの育成と自立化の支援 など 														
企業等	<ul style="list-style-type: none"> ・観光商品の開発，誘致宣伝活動 ・観光客等へのより良いサービスの提供 ・観光都市を支える人材の育成 など 														
関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ・内外向けの誘致宣伝活動 ・観光関係者の資質の向上 ・観光資源の保護・活用の促進 など 														
大学等	<ul style="list-style-type: none"> ・観光（情報）に関する研究者などの人材育成 ・集客交流に関する研究情報の発信 ・企業，行政との共同調査・研究 など 														
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・市民，NPO，企業，関係団体等との連携促進や支援 ・国・道・他市町村との連携促進による施策展開 など 														
市民，NPO，企業，関係団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・来客を温かく迎えるおもてなしの実践 ・地域の魅力づくりへの参画 ・ボランティアの育成と自立化の支援 ・観光商品の開発，誘致宣伝活動 ・観光客等へのより良いサービスの提供 ・観光都市を支える人材の育成 ・内外向けの誘致宣伝活動 ・観光関係者の資質の向上 ・観光資源の保護・活用の促進 ・観光（情報）に関する研究者などの人材育成 など 														
行政	同左														

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：協働による観光振興とコンベンション事業の推進

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

【田村委員意見】観光振興と海外からの定住者支援

市の素案	委員の具体的意見	
<p>施策の基本方針</p> <p>世界の集客交流都市の実現に向けて，観光やコンベンションの一層の振興に努める まち全体で誘致・PRやホスピタリティあふれるおもてなしを進め，また，芸術，文化等の資産を積極的に活用し，将来目標として来客2000万人を目指す</p>	<p>【高田委員意見】</p> <p>札幌近郊の山なみ景観づくりを考える</p> <p>国はこれまで森林については，木材の産出という生産的価値としての政策をとってきましたが，時の流れの中で，外材におされ，ままならず，森林づくりは放置されてきた傾向にありました。</p> <p>ここにきて，京都議定書の問題，二酸化炭素，水資源の川，海等，地球における循環型環境問題に注目，美しい日本の景観を守ることへの森林，里山づくり等が大きく示されました。</p> <p>このことは，私たちの住む札幌においても同じであり，郷土を愛する山なみの美しさに憧憬する市民たち，そして遠来の観光客にとっても，自然の風物詩は，心を癒す唯一のおもてなしです。この原点の機会なくして，札幌のロマンは語れなくなります。</p> <p>一方，環境の保全，生態系を守るため，手をつけられないという考え方もあり，難しい問題が多々あります。これで良いのか，荒れていくという現象も考えられます。</p> <p>様々な問題をクリアーし，科学的に生態系を守り自然破壊を守るといふ，景観づくりの理論構成，そして科学実験をすることによって，札幌の山なみ構想も現実になる。</p> <p>人づくりも時間，森林づくりも時間，タイムスリップして，新まちづくり計画市民会議が語られることありましょ。あえて，山なみ構想を提言いたします。</p> <p>赤レンガと札幌</p> <p>赤レンガ北海道庁舎は，いかに明治政府が北海道開拓に力を入れたかのバロメーターでもあり，日本の北海道の夜明けを感じさせる。歴史的建造物遺産として，外観よし，内部の各部屋も荘重にして一見に値する。それ故に当時の開拓史の権勢を知ることができる唯一，観光の名所として，宝石に等しい歴史感がある。</p> <p>また，庁舎前のプラザも観光名所として絶好であり，カフェテラスの活用等，期待したい。</p> <p>札幌市，北海道との連携は必須である。</p>	<p>高田委員意見(続き)</p> <p>札幌の街なみ構想・景観を考える</p> <p>札幌の街なみ景観については，それぞれが，目立つことでカラフルな色彩感覚が多くあったが，今日，漸く，時期を失したものの，街なみについて考えるようになってきた。</p> <p>このことは，成熟した社会の特徴とも考えられるが，都心ビル建設の場合，ビル権者の構想いかんによっては，それが無になることも多い。街なみを考える文化都市札幌へのビル権者の輩出を願い啓発すべきである。</p> <p>ちなみに西武デパートは札幌の街なみ構想を，先駆的に取り入れ，レンガ緑化等を配した。</p> <p>“札幌にすすきのあり”</p> <p>札幌にすすきのありのイメージは，日本中に知られ，観光へのポストとしての存在感は大きい。</p> <p>それだけに風俗，保安への対策は最も大切であり，犯罪のない街づくりをめざしていきたい。</p> <p>“札幌に大通公園あり”</p> <p>日本中を見ても，開拓史遺産の大通公園のような広場はない。世界に発信する経済・文化・情報のメッカ国際都市札幌として，大道芸人の集積等により，表現活動のステージになることを期待する，観光のポストになる</p>
<p>施策</p> <p><集客交流としての魅力の発信> 都市型観光と豊かな自然を融合させた魅力を集客交流資源として積極的に活用 札幌の魅力国内外に情報発信するシティPRの積極的な展開 映画等のロケーション誘致を推進するフィルムコミッション事業等による多角的なイメージアップ</p> <p><ホスピタリティ向上の推進> まちぐるみでの観光案内機能や外国語標記の充実，啓発活動や研修の充実</p> <p><コンベンション誘致・支援の推進> コンベンション施設間の連携強化，利便性とサービスの向上，アフターコンベンション注の充実 注 アフターコンベンション：コンベンションの後の観光旅行や視察・体験実習など 行政，民間を問わないオール札幌としての機動的な誘致活動，様々な支援体制の整備</p> <p><住んで快適，訪ねて楽しいまちづくりの推進> 都心，藻岩山，定山溪温泉など地域の魅力づくりを目的とした主体的な活動に対する支援</p> <p><道内と連携した魅力の発掘・アピール> 他の道内観光地域との協力の一層の推進，情報のネットワーク化などでの先導的取り組み 札幌・北海道がもつ魅力の国内外への強力なアピール</p>	<p>分科会での主な議論</p> <p>札幌独自の芸術文化を積極的に活用，発信すべき魅力的な街並みや景観づくりを戦略的に展開するべき (山が紅葉でいっぱいになるくらいの色彩ある風景をボランティアでつくる取組み，大通公園のような人が大勢集まるところの景観づくり・日常的に使う工夫，官と民とのコミュニケーションをよくとること など) 札幌の情報価値を高め，発信していくことを具体的に考えるべき(地域に目を向けた辛抱強い取組み など) など</p>	

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：協働による観光振興とコンベンション事業の推進

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

【田村委員意見】観光振興と海外からの定住者支援

市の素案	委員の具体的意見
<p>施策の基本方針</p> <p>世界の集客交流都市の実現に向けて，観光やコンベンションの一層の振興に努める まち全体で誘致・PRやホスピタリティあふれるおもてなしを進め，また，芸術，文化等の資産を積極的に活用し，将来目標として来客2000万人を目指す</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p>世界の集客交流都市の実現に向けて，観光の一層の振興に努める まち全体で誘致・PRやホスピタリティあふれるおもてなしを進め，また，芸術，文化等の資産を積極的に活用し，将来目標として来客2000万人を目指す</p>
<p>施策</p> <p><集客交流としての魅力の発信> 都市型観光と豊かな自然を融合させた魅力を集客交流資源として積極的に活用 札幌の魅力を国内外に情報発信するシティPRの積極的な展開 映画等のロケーション誘致を推進するフィルムコミッション事業等による多角的なイメージアップ</p> <p><ホスピタリティ向上の推進> まちぐるみでの観光案内機能や外国語標記の充実，啓発活動や研修の充実</p> <p><コンベンション誘致・支援の推進> コンベンション施設間の連携強化，利便性とサービスの向上，アフターコンベンション^注の充実 <small>注 アフターコンベンション：コンベンションの後の観光旅行や視察・体験実習など</small> 行政，民間を問わないオール札幌としての機動的な誘致活動，様々な支援体制の整備</p> <p><住んで快適，訪ねて楽しいまちづくりの推進> 都心，藻岩山，定山溪温泉など地域の魅力づくりを目的とした主体的な活動に対する支援</p> <p><道内と連携した魅力の発掘・アピール> 他の道内観光地域との協力の一層の推進，情報のネットワーク化などでの先導的取組み 札幌・北海道がもつ魅力の国内外への強力なアピール</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p><集客交流としての魅力の発信> 都市型観光と豊かな自然の魅力を集客交流資源として積極的に活用 札幌の魅力を国内外に情報発信するシティPRの方法を民間（在留外国人を含む。）の意見を取り入れ展開する。 映画等のロケーション誘致を推進するフィルムコミッション事業を市民と共に推進し、同時に映像資料、建物の保存をすすめ「映像ミュージアム」等をつくり芸術・文化の観光資源とする。</p> <p><ホスピタリティ向上の推進> 観光案内機能や外国語標記の充実，啓発活動や医療の充実をすすめる。</p> <p><コンベンション誘致・支援の推進> 利便性とサービスの向上，アフターコンベンションの充実の一環として商業地の活性化を図るアイデアを市民から公募し実現する。 行政，民間を問わないオール札幌としての実効性の高い誘致活動，支援体制の整備</p> <p><住んで快適，訪ねて楽しいまちづくりの推進> 都心，四季を通じて美しい藻岩山，定山溪温泉など地域の自然の魅力を高め，訪れたひとが住みたくくなるようなまちづくり活動に対する支援の強化</p> <p><道内と連携した魅力の発掘・アピール> 他の道内観光地域との協力の一層の推進をはかるため札幌市、石狩支庁及び市民で組織される市民会議で取り組む。 札幌・北海道がもつ魅力の国内外への効率的なアピール</p>

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
 【田村委員意見】さっぽろの知恵を活かした産業の創出

市の素案	委員の具体的意見								
<p>(仮称)戦略目標</p> <p>市内に多数ある大学や研究機関，集積が進んだIT系企業群などを核に「知のネットワーク」が形成され，高い競争力を有する新たな産業が生まれるとともに，様々な分野で中小企業が意欲的に新しい事業にチャレンジし，そこで生まれた新製品や技術が，札幌の高い都市イメージと結びつき「札幌ブランド」として世界に発信されています。</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p>市内に多数ある大学や研究機関，集積が進んだIT系企業群などを核に「知のネットワーク」が形成され，高い競争力を有する新たな産業が生まれるとともに，様々な分野で中小企業が意欲的に新しい事業にチャレンジし，<u>そこで生まれた新製品や技術が，札幌発のブランドとして世界に発信されています。</u></p>								
<p>現状と課題</p> <p>大学等研究機関が集積。蓄積された研究シーズの活用により，多くの産業分野で発展が期待されるため，産学官連携の積極的推進が必要</p> <p>IT関連産業が集積。今後は，IT産業自体の競争力強化，ITを活用した新たな産業分野の創出・育成及び既存産業の高度化などが課題</p> <p>市内産業全体の活性化を図っていくうえで，地場製品について，デザイン面など高い付加価値とブランドイメージの構築など新たな戦略が必要</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p>新たな産業分野の創出・育成及び既存産業の高度化などが課題</p> <p>市内産業全体の活性化を図っていくうえで，地場製品について，デザイン面など高い付加価値とブランドイメージの構築など新たな戦略が必要</p>								
<p>各主体の主な役割</p> <table border="1" data-bbox="172 1310 1181 1911"> <tr> <td data-bbox="172 1310 397 1428">市民</td> <td data-bbox="409 1310 1181 1428">環境に配慮した適切な交通手段の選択と行動 まちづくり活動への参加 など</td> </tr> <tr> <td data-bbox="172 1436 397 1575">企業等</td> <td data-bbox="409 1436 1181 1575">企業活動における公共交通利用 公共交通の利便性向上(交通事業者) まちづくり指針に即した事業展開 など</td> </tr> <tr> <td data-bbox="172 1583 397 1722">NPO等</td> <td data-bbox="409 1583 1181 1722">交通に関する提言や実験などの活動 まちづくりについての提言 まちづくり活動の企画・運営 など</td> </tr> <tr> <td data-bbox="172 1730 397 1911">行政</td> <td data-bbox="409 1730 1181 1911">公共交通が利用しやすい環境の整備 交通事業者への支援 都心再生を先導する基幹的な都市基盤整備 など</td> </tr> </table>	市民	環境に配慮した適切な交通手段の選択と行動 まちづくり活動への参加 など	企業等	企業活動における公共交通利用 公共交通の利便性向上(交通事業者) まちづくり指針に即した事業展開 など	NPO等	交通に関する提言や実験などの活動 まちづくりについての提言 まちづくり活動の企画・運営 など	行政	公共交通が利用しやすい環境の整備 交通事業者への支援 都心再生を先導する基幹的な都市基盤整備 など	
市民	環境に配慮した適切な交通手段の選択と行動 まちづくり活動への参加 など								
企業等	企業活動における公共交通利用 公共交通の利便性向上(交通事業者) まちづくり指針に即した事業展開 など								
NPO等	交通に関する提言や実験などの活動 まちづくりについての提言 まちづくり活動の企画・運営 など								
行政	公共交通が利用しやすい環境の整備 交通事業者への支援 都心再生を先導する基幹的な都市基盤整備 など								

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

【田村委員意見】さっぽろの知恵を活かした産業の創出

市の素案	委員の具体的意見
<p>施策の基本方針</p> <p>大学などの研究機関がもつ知の資産と産業とを結び，新たな産業をつくる デザイン産業を振興し，札幌ブランドを発信する</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p>民間企業、研究機関がもつ知の資産と産業とを結び，新たな産業をつくる デザイン産業を振興し，札幌発のブランドを発信する</p>
<p>施策</p> <p><大学の知恵とITを活用した新産業の創出と既存産業の高度化></p> <p>本市で培ってきた産業資源の有効活用による，IT関連産業と他の産業分野の連携促進，市場の拡大が見込まれるデジタルコンテンツ分野の振興</p> <p>大学等の地域研究機関の研究成果と地域産業が持っている技術などの連携・融合による，ライフサイエンス^注，環境，福祉などの分野における技術力向上，新産業の創造</p> <p>注 ライフサイエンス：生命科学。生命現象について，生物学を中心に化学・物理学などの基礎的な面と，医学・心理学・人文社会科学・農学・工学などの応用面とから総合的に研究しようとする学問</p> <p>ITを活用した既存産業分野の経営改善，競争力強化による，産業全体の高度化、新たな事業分野への進出促進</p> <p><デザインを重視した製品開発とさっぽろブランドの発信></p> <p>使いやすさ，見た目の美しさ等，デザインを重視したものづくりの推進</p> <p>札幌の高い都市イメージ等の優位性を活用し，食品産業，農業の連携による新たな特産品づくり，製造業，サービス業等の各産業分野を結びつけた機能的・デザイン的に優れた新製品づくりを推進。「さっぽろブランド」として認知されるべく地域内外に発信</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p><隣接地域と連携し食品分野の新産業の創出と既存産業の高度化></p> <p>今後の食料問題を積極的に捉え隣接地域と連携し食品分野の新産業の創出をはかる。</p> <p>本市で培ってきた産業資源の有効活用による，IT関連産業と他の産業分野の連携促進，市場の拡大が見込まれるデジタルコンテンツ分野の振興</p> <p>大学等の地域研究機関の研究成果と地域産業が持っている技術などの連携・融合による，ライフサイエンス，<u>農業</u>，環境，福祉などの分野における技術力向上，新産業の創造</p> <p>既存産業分野の経営改善，競争力強化による，産業全体の高度化、新たな事業分野への進出促進</p> <p><デザインを重視した製品開発とさっぽろブランドの発信></p> <p>使いやすさ，見た目の美しさ等，デザインを重視したものづくりの推進</p> <p>札幌の高い都市イメージ等の優位性を活用し，食品産業，農業の連携による新たな特産品づくり，製造業，サービス業等の各産業分野を結びつけた機能的・デザイン的に優れた新製品づくりを推進。<u>札幌発</u>ブランドとして多数認知されるべく地域内外に発信</p>

分科会での主な議論

地域に根ざした健康・医療・福祉ビジネスを育成すべき
 福祉医療サービスとITの連携等，行政ニーズからの産業振興も検討すべき
 地域に目を向けた取組みを辛抱強く進め，札幌ブランドを熟成していくべき
 札幌の経済雇用や新たなまちづくりに関する取組みを積極的に発信すべき（(仮称)札幌ブランド） など

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

重点戦略課題：アジアの産業ネットワークの拡大

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

市の素案	委員の具体的意見								
<p>(仮称)戦略目標</p> <p>多数の市内企業が販路拡大等を目指し，グローバルな経済活動を展開しており，特にアジアとの産業のネットワークが急速に拡大し，観光客等の来客数も飛躍的に増加しています。</p>	<p>【田村委員意見】</p> <p>多数の市内企業が販路拡大等を目指し，グローバルな経済活動を展開しており，観光客等の来客数も飛躍的に増加すると同時に，<u>居住者も増加し人的ネットワークをもとにアジアとの産業のネットワークも拡大し続けます。</u></p>								
<p>現状と課題</p> <p>経済のグローバル化が進展。市内企業のビジネスチャンス拡大を図るため，海外市場を視野に入れた経済交流の促進が必要</p> <p>市内全体の海外進出企業数は近年横ばい</p> <p>中小企業が国際ビジネスに取り組む場合，資金力やノウハウが課題</p> <p>中国を中心に成長が著しいアジア地域は，販路拡大，貿易振興の最も有望な市場</p> <p>来札外国人の8割を占めるアジアからの来客は，今後も増加の見込み</p>									
<p>各主体の主な役割</p> <table border="1" data-bbox="184 1192 1181 1906"> <tr> <td data-bbox="184 1201 397 1327">市民</td> <td data-bbox="409 1192 1181 1327"> <ul style="list-style-type: none"> ・産業・地域・行政の情報化の推進 ・観光ボランティア等の市民参加の推進 ・国際コンベンションへの市民意識の醸成 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="184 1360 397 1486">企業等</td> <td data-bbox="409 1352 1181 1528"> <ul style="list-style-type: none"> ・国際ビジネスへの業務サポート機能の充実 ・企業の国際化を担う人材育成の推進 ・インセンティブツアーの積極的受入れ，アフターコンベンションの企画や実施 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="184 1558 397 1675">NPO等</td> <td data-bbox="409 1549 1181 1696"> <ul style="list-style-type: none"> ・異業種，産学官の協働による事業取組への参加 ・技術研修生の受入れ，専門家の派遣 ・旅行商品の開発，誘致宣伝活動の拡充 など </td> </tr> <tr> <td data-bbox="184 1747 397 1864">行政</td> <td data-bbox="409 1717 1181 1906"> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア経済圏との経済交流の促進 ・IT 産業における産学官協働によるアジアとの経済交流の促進 ・海外における来札誘致宣伝活動の拡充 など </td> </tr> </table>	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・産業・地域・行政の情報化の推進 ・観光ボランティア等の市民参加の推進 ・国際コンベンションへの市民意識の醸成 	企業等	<ul style="list-style-type: none"> ・国際ビジネスへの業務サポート機能の充実 ・企業の国際化を担う人材育成の推進 ・インセンティブツアーの積極的受入れ，アフターコンベンションの企画や実施 など 	NPO等	<ul style="list-style-type: none"> ・異業種，産学官の協働による事業取組への参加 ・技術研修生の受入れ，専門家の派遣 ・旅行商品の開発，誘致宣伝活動の拡充 など 	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア経済圏との経済交流の促進 ・IT 産業における産学官協働によるアジアとの経済交流の促進 ・海外における来札誘致宣伝活動の拡充 など 	
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・産業・地域・行政の情報化の推進 ・観光ボランティア等の市民参加の推進 ・国際コンベンションへの市民意識の醸成 								
企業等	<ul style="list-style-type: none"> ・国際ビジネスへの業務サポート機能の充実 ・企業の国際化を担う人材育成の推進 ・インセンティブツアーの積極的受入れ，アフターコンベンションの企画や実施 など 								
NPO等	<ul style="list-style-type: none"> ・異業種，産学官の協働による事業取組への参加 ・技術研修生の受入れ，専門家の派遣 ・旅行商品の開発，誘致宣伝活動の拡充 など 								
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア経済圏との経済交流の促進 ・IT 産業における産学官協働によるアジアとの経済交流の促進 ・海外における来札誘致宣伝活動の拡充 など 								

基本目標：元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ
重点戦略課題：アジアの産業ネットワークの拡大

【田村委員意見】市民による元気な経済が生まれ，安心して働ける街さっぽろ

市の素案	委員の具体的意見
<p>施策の基本方針</p> <p>経済交流を促進し，市内企業のビジネスチャンスの拡大や技術の高度化を図る 観光客等の誘致活動を積極的に進める</p>	
<p>施策</p> <p><アジア地域との経済交流の促進> 物産展・商談会の開催など国際ビジネスを促進するための環境づくり ITビジネスネットワークの形成による，技術・資本・人材等の新たなビジネス連携の促進 北京駐在員事務所機能を活用した市内企業の対中国ビジネスの促進</p> <p><アジア地域からの集客交流> 台湾，香港，韓国について，経済的波及効果が高いインセンティブツアー^{注1}を中心とした誘致・PRを強化</p> <p>注1 インセンティブツアー：企業や団体が内部の活性化や長期的な観点からの販売戦力として，社員や関係者の販売意欲の向上を図るために招待する団体旅行のこと</p> <p>高い経済成長が見込まれる中国について，企業視察のニーズの高まりに対応し，旅行業界，本市のIT産業，食品製造業等と連携し，テクニカルツアー^{注2}の誘致・PRを強化</p> <p>注2 テクニカルツアー：工場や店舗などのビジネスの現場や関連する博物館等の施設の視察や関係者による説明・紹介など含む旅行のこと</p>	<p>高田委員意見</p> <p>アジアとのネットワークについて 中国経済は今や，めざましい発展ぶりに驚嘆するばかりであるが，視点をかえて，例えば，西洋医学を中心とする日本の医学会において，漢方医学は，今日，日本の医学界に少なからず影響を与えているようであるが。 このことは，学会をはじめ様々な人的交流も予想される。情報のキャッチこそ大切であり，人材の養成が急務と考える。</p> <p>分科会での主な議論</p> <p>札幌の情報価値を高め，発信していくことを具体的に考えるべき（札幌在住の外国人を大切にして，来訪者を増やすべき） など</p> <p>【田村委員意見】</p> <p><アジア地域との経済交流の促進> 物産展・商談会の開催などを見直し実効性の高いものとし、<u>国際ビジネスを促進するための環境づくりをすすめる。</u> <u>技術・資本・人材等の新たなビジネス連携の促進</u> 北京駐在員事務所機能を活用した市内企業の対中国ビジネスの促進</p> <p><アジア地域からの集客交流> 台湾，香港，韓国について，経済的波及効果が高いインセンティブツアーを中心とした誘致・PRを強化 高い経済成長が見込まれる中国について，企業視察のニーズの高まりに対応し，旅行業界，本市のIT産業，食品製造業等と連携し，テクニカルツアーの誘致・PRを強化</p>

委員の具体的意見(経済雇用5課題全体に関連する意見, 他の分科会にも関連する意見) など

新まちづくり計画全体の大きなキャッチコピーのようなものが必要では。(ノウハウとか, 生活スタイルを含めて「札幌らしさ」を「さっぽろブランド」という形で具体的にだすなど)

さっぽろ市民のニーズにあった, または, 札幌市の魅力を高めるようなアクティビティで経済活動を。(基本的には, 環境, デザイン, 医療, 福祉, 介護, 観光, 芸術・文化の分野)

それらの活動を支援する仕組みという意味で情報などのネットワークにより, 色々なことを効率よく動かす。

「IT」をIT産業に限定するのではなく, ITを活用するという形で見ることがある。

他分科会との関連として, 芸術・文化の情報発信, 魅力的な街なみや景観づくり, 医療福祉サービスとIT産業の結びつき, 外国人にとっても暮らしやすい環境など。

北海道と札幌市の連携は, 市の行政にとっても, 道の行政にとっても必要なことではないか。

4つの分科会に共通するキーワードで全体を押さえておかねばならない(例)安全、男女共同、国際性など。分野をまとめるもっと大きなまちの像みたいなものがあるほうが集約されるかもしれない。など

【高田委員意見】 都市化における農業の再生

日本の農業において, 大きく食糧の需給率が問われているが, 水田, 畑作, 果樹, 園芸, 畜産等, 広い分野に亘り, 輸出入問題も含めて, 様々な規制, 補助金問題がある。

しかし, 札幌における農業は, 園芸, 果樹等, 都市化による小規模農業が多く, 都市周辺の今日的現象と捉えるが, 札幌市民の台所をうるおす新鮮な野菜は, 生産者と消費者のより深い関係にあり, 食は生きる力なりと解する。

故に生産者への信頼において, 又, あらたな先端産業と結びついた札幌ブランド製品の開発等, 都市近郊農業ならではのメリットも考えられる。農業指導センターの役割に期待をいたしたい。

記

- 1 都市化における農業の再生は難しいが人材育成が必要
- 2 情報発信, 科学する農業についての学習と実践。農業, 遺伝子問題, 札幌ブランド(付加価値) 農芸科学, 薬学など産学官共同を密にする。

【田村委員意見】

他の分科会での提言

文化・芸術に携わる市民の社会的地位の向上と支援

(経済効率で図れない文化・芸術の分野で最低限の育成体制の確立とこの分野での雇用の創出)

子育てサロン・高齢者向けの施設を市で提供する。運営は最低の人件費の補助で地域で運営。

バリアフリー公園、コミュニティーハウスの設置。連絡所では機能しない。

デイケア等地域で若年層の雇用の創出

上記について市営住宅の開放、職員住宅(官舎)の開放

成果指標について

数値はこのままでよいと思う。ただこれを評価するのは新まちづくり計画市民会議でおこなうこと。

事業ごとの検証と評価を第三者機関(市民会議委員と公募委員のみ)で行う。

【田村委員意見(続き)】

分科会に属しない提言

世代別まちづくり市民会議(完全公募制)を常設し随時市長に提言する。

雇用創出と市のあり方について

責任の所在の明確化を図るための市役所の人事制度の見直し。(過去の責任追及を目的としない。)

課、部、局の統合、簡略化。壁を払ってからスリム化を図る。

市の専門会議、審議会の完全公募制(利害関係の排除)

市営住宅の開放、職員住宅(官舎)の開放

外郭団体の見直し委員会の設置。明確な期限付き(長野県をならって)

市役所管理職の公募制

職員の任期制の導入(真の雇用の流動化 役所で雇用のミスマッチがある?)

公務員(教員含む)の年功序列と終身雇用の廃止

目的のあわせた横断的組織作りに取り組む(時限組織)

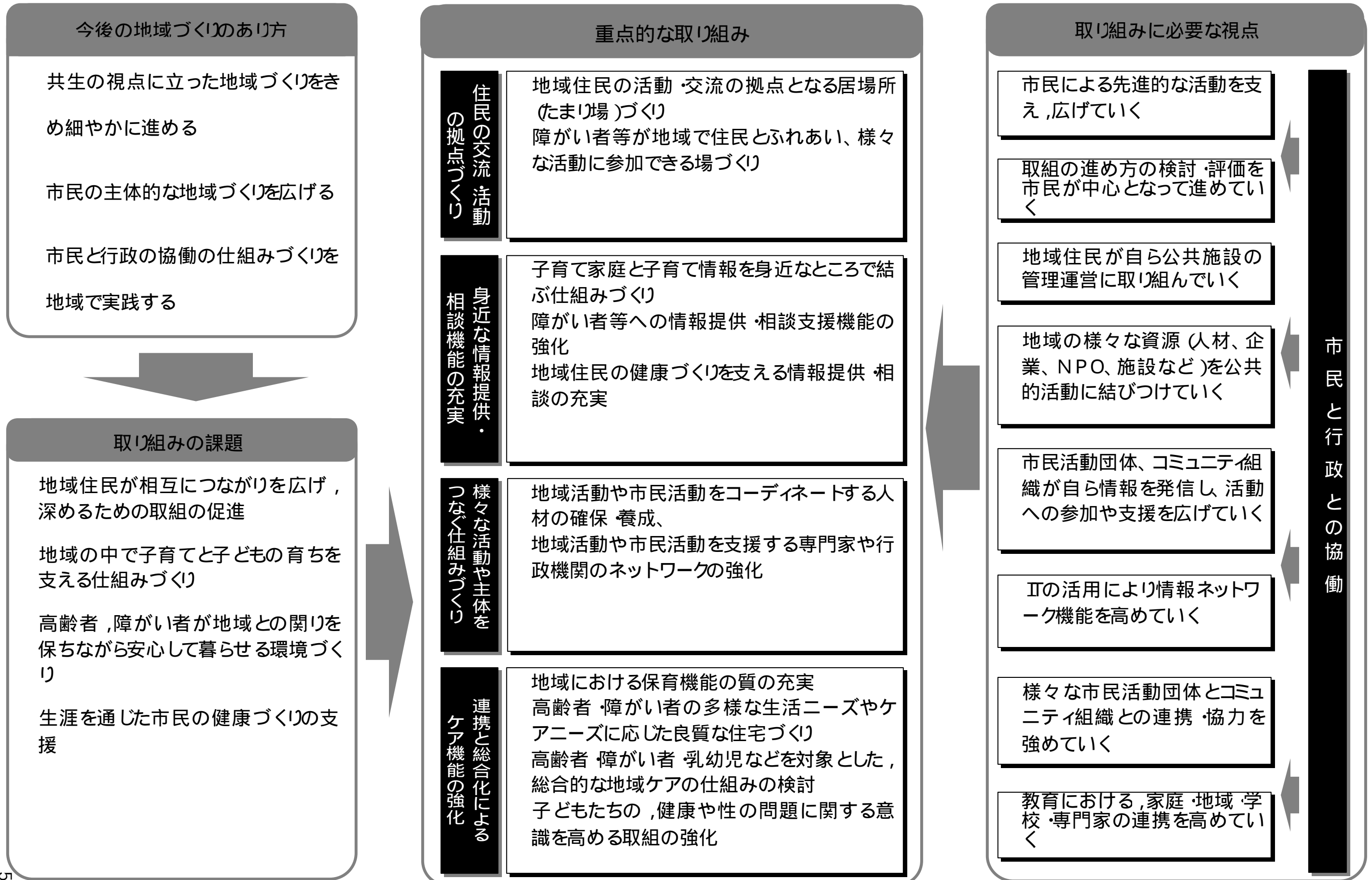
公務員を5時間労働にして雇用を拡大。オランダをモデルにする。

提言書の策定について

新まちづくり計画の提言書の起草委員を設定し提言書をつくる。

共生・地域づくり分科会

共生・地域づくり分科会の議論のまとめ



共生・地域づくり分科会の議論のまとめ (根拠資料)

	現状・課題	重点的な取り組み	取り組みに向けての具体的な意見
魅力あふれる地域づくりの推進	<p>地域の住民の交流を広げたり、ふれあいを深めるための場や機会が不足している</p> <p>行政に頼るのではなく、自分たちの地域は自分たちで守り育てるという意識や行動が不足している</p> <p>地域でさまざまな活動を行っている市民団体やグループの横のつながりが十分ではない</p> <p>地域活動を活発化するには、活動をサポート、コーディネートする人材が必要である</p>	<p>地域住民の活動・交流の拠点となる居場所(たまり場)づくり</p> <p>地域活動や市民活動を支援する専門家や行政機関のネットワークの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 空家などを活用した地域活動の拠点づくりを進める(黒田委員) バリアフリー公園とふれあいの拠点づくりは年齢や障がいに関係なく、共生の地域づくりを導く。その仕組みづくりを、現在取り組まれている事例を活かして市民と行政との協働で進める必要がある(柴川委員) 市民活動を支援するコーディネーターの育成や、ITを活用して専門家、行政機関などを結ぶネットワークづくりを行う(杉岡会長) 既存の公共施設をNPOや市民団体などの活動スペース、交流スペース、広報スペースとして有効に活用(伊藤副会長)(燕委員) 様々な活動を実践しているNPOや市民団体と町内会などの地域団体との連携・協力体制づくりを進める(黒田委員) 先進的な取組を市民が中心となって評価するとともに、活動を検証し、広めるしくみが必要(伊藤副会長) 市民自身が自らの活動などの情報を発信すべき(黒田委員)
少子化対策の推進	<p>孤立している母親や子どもたちを地域で支えていく工夫や仕組みづくりが必要である</p> <p>保護者の様々なニーズに即した放課後児童対策の実施が必要である</p> <p>働く親にとって、子どもが病気のときのサポートが十分ではない</p>	<p>子育て家庭と子育て情報を身近なところで結ぶ仕組みづくり</p> <p>地域における保育機能の質の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 孤立しがちな子育て家庭が、札幌市にある社会資源に確実につながっていく工夫が必要(多様な主体による子育て支援の拠点づくり)(岩田委員) 医療機関との連携・協力により「こどもデイサービスセンター」をより使いやすくする工夫が必要(伊藤副会長) 市が設置する児童クラブの保育の質の充実(岩田委員) 民間の学童保育所の先進的な取組を生かすため、官民格差を是正するための補助制度の充実や公設民営化などを検討すべき(燕委員) 障がい児の学童保育の充実(燕委員)

共生・地域づくり分科会の議論のまとめ (根拠資料)

	現状・課題	重点的な取り組み	取り組みに向けての具体的な意見
地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進	<p>障がい者が札幌市内で地域生活できるような環境づくりが必要である</p> <p>障がい者への情報提供や相談がきめ細かに行われておらず、ニーズが十分把握されていない</p> <p>高齢者が増加していく状況のもと、地域で暮らしつづけていくための住宅やケアサービスなどが十分ではない</p>	<p>障がい者等が地域で住民とふれあい、様々な活動に参加できる場づくり</p> <p>障がい者等への情報提供・相談支援機能の強化</p> <p>高齢者・障がい者の多様な生活ニーズやケアニーズに応じた良質な住宅づくり</p> <p>高齢者、障がい者、乳幼児などを対象とした、総合的な地域ケアの仕組みの検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民による障がいのある子どもを支援する先駆的实践を広げていくことが必要 (伊藤副会長) ・ 視覚障がい者や知的障がい者をはじめ、障がい者への情報伝達や相談のための媒体、手段を工夫すべき (燕委員) ・ NPOによる知的障がい者グループホームの設置運営を支援することが必要 (燕委員) ・ グループホームに入居している知的障がい者が、必要な在宅福祉サービスを十分に利用できるようにすべき (燕委員) ・ 重度の知的障がい者も受け入れ可能な手厚いケアのグループホームの設置を促進すべき (伊藤副会長) ・ 高齢者共同住宅のあり方や質を維持するための第三者評価などの仕組みや独自の支援策を検討すべき (伊藤副会長) ・ 障がい者・高齢者・乳幼児などが同じデイケア施設でサービスを受けられるようにすると良い (燕委員) ・ 「札幌市障害者保健福祉計画」のよりきめ細かな実施計画を障がい者自らがつくる取組 (伊藤副会長)
地域での健康づくりの推進	<p>元気な人たちの健康維持だけでなく、慢性疾患や成人病などを抱える人たちの健康回復をサポートすることも課題である</p> <p>食生活の乱れ、高い喫煙率、性感染症の増加、人工妊娠中絶率の上昇など若年層の健康問題は深刻化している</p>	<p>地域住民の健康づくりを支える情報提供・相談の充実</p> <p>子どもたちの、健康や性の問題に対する意識を高める取組の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の健康づくりを促進するための情報提供、相談機能、活動の場、人材などの充実 (杉岡会長) ・ 専門家と学校の協力による、小学生の段階からの健康教育や性教育などのプログラムの充実 (杉岡会長) ・ 人工妊娠中絶率の改善に向けた計画を、高校生など若年層からの提言を受けて策定してはどうか (伊藤副会長)
その他	<p>国民健康保険料が未払いのために医療を受けられないということが全国的に問題になっている</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的所得の少ない単身者の保険料率が高くなっている現在の国民健康保険賦課方式について見直しが必要 (伊藤副会長)

市の素案に対する分科会意見 (共生・地域づくり分科会)

共生・地域づくり分科会 資料C -

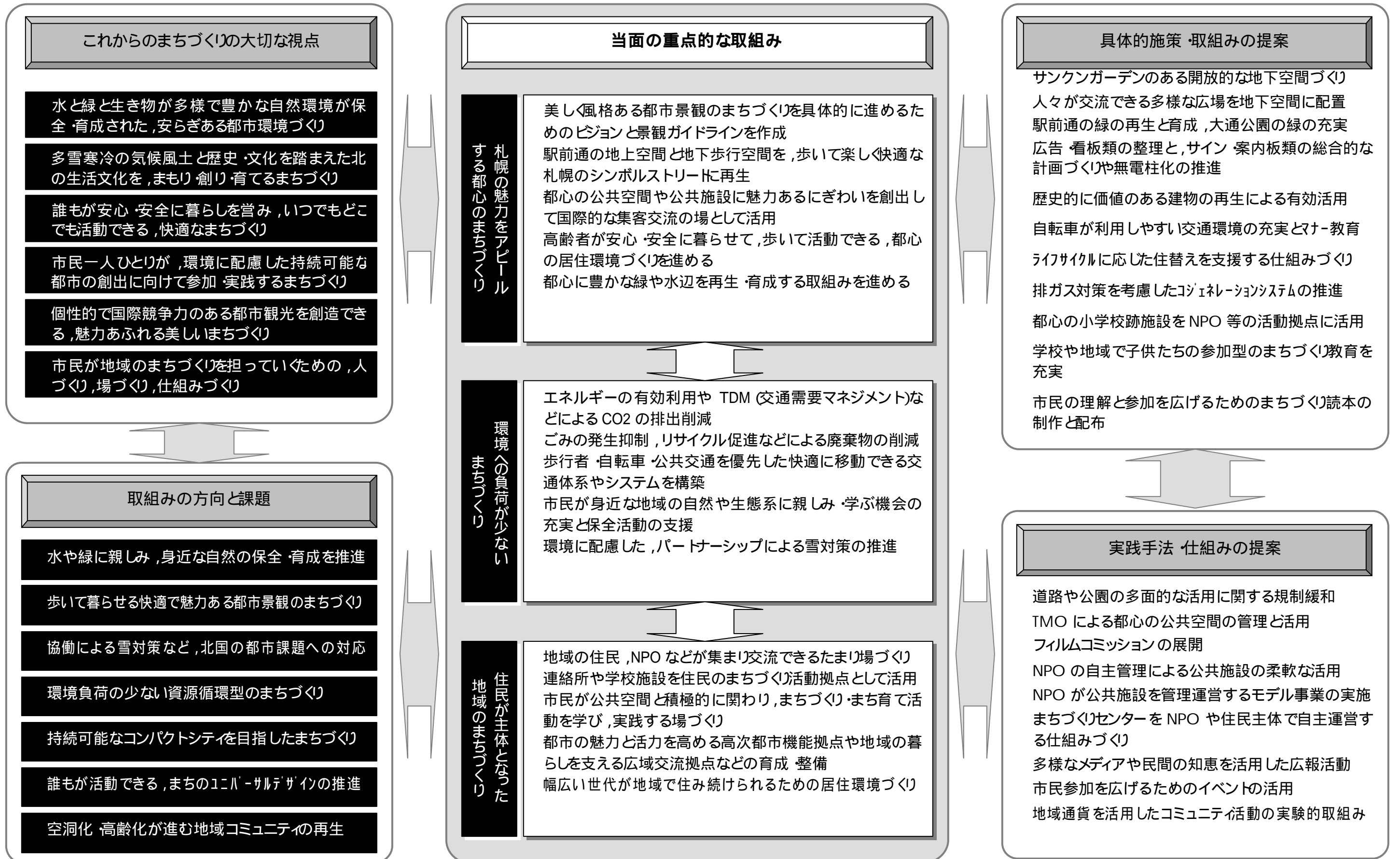
項目		意見内容
素案全体について		素案の各所に「共生」の視点をよりきめ細かに取り入れるべき
		市民の主体的なまちづくり活動を、個別施策ごとに支援するのではなく各分野にわたって総合的に支援するという視点が必要である
各重点戦略課題について	魅力あふれる地域づくりの推進	地域づくりの担い手としては大学も重要な存在であり、各主体の主な役割の中に「大学」を入れるべき
	少子化対策の推進	調査結果などでは、子どもを産まない理由として「経済的負担が重い」ということが大きなウエートを占めており、「現状と課題」の中にそうした視点を加えた方がよい
		子育て支援が必要な家庭は、共働きの家庭、障がいのある子どもを持つ家庭、母子家庭、父子家庭など多様である。あらゆる家庭を支援していくというメッセージが伝わるよう表現を工夫すべき
		子育てに役立つ情報が出来るだけ多くの子育て家庭に届くように、「子育て関連情報の広報・周知」を盛り込むべき
		現状と課題に「若い世代（特に思春期）の健全な母性・父性の育成」とあるが、男女共同参画の観点から、「母性・父性」という性別による固定的な役割分担の意識につながる表現については再考すべき
		障がいのある子どもを持つ親の就労支援の観点から、「障がいのある子どもの保育所への受入、学童保育の充実」を施策に盛り込むべき
	地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進	施策の基本方針に「心のバリアフリーが広がるように努める」とあるが、それにつながる具体的な施策が見えるような形にすべき
地域での健康づくりの推進		
成果指標について		「子育てをしやすいまちだ」と思う人の割合」は、障がいのある子どもがいる家庭とそうでない家庭ではかなり違いがあるため、きめ細かく見る必要がある
		障がい者の自立支援の促進という観点から、「障がいのある人が地域で暮らせると感じられる割合」を指標項目とすることはできないか

市の素案に対する分科会意見 (共生・地域づくり分科会)

	札幌市の現状	課題	施策の基本方針	施策
地域づくり	現在の札幌には、すぐれた先進的な活動を行っている非営利民間組織がたくさんあります。しかしこれらの組織には十分な支援がされていません。また、その貴重な経験を生かすしくみづくりは、今後の課題となっています。	すぐれた活動を支援し、より速く普遍化されるしくみづくりが必要です。	活動の質を評価し、さらに質を高めるための支援を行います。 活動の経験からえられた方法を検証し、その伝達を支援します。	市民が主体となる先進的な活動の評価制度をつくります。すぐれた先進的な活動を支援できる、柔軟な補助制度をつくります。
少子化	札幌市の女性の合計特殊出生率は、政令都市の中で最下位です。 子育て家庭、とわけ子育てをしている女性は、大きな経済的・精神的・身体的負担を抱えています。	個人の意志・価値観を尊重しながら、子どもが健やかに生まれ、育つ環境を、総合的に整えていく必要があります。	障がいのあるなしにかかわらず、出生時から学童期、中高校生期に至る、子育て支援制度の充実をはかります。 子育て家庭を孤立させないよう、地域の各組織がネットワークをつくり、家庭に情報を送ります。	必要な規制緩和を検討します。例として民間保育所、NPO法人などが地域子育て支援センターを運営できるようにします。 ・保育所の整備はもとより、児童クラブの生活の質の充実、学童保育所の施設整備などの、支援のあり方を検討します。また、これらの子育て支援の施設は、障がいのあるなしに関わらず、すべての子どもたちを受け入れることを、原則とします。
高齢	札幌市の交通バリアフリーは、かなりすすみました。しかし、小・中学校、高等学校や子供が遊ぶ公園などの生活バリアフリーは十分ではありません。	子どもが育つ場所のバリアフリー化が必要です。	交通バリアフリーをさらに充実させると共に生活バリアフリーもすすめます。	学校、公園の新設・改築時に、あわせてバリアフリー化を行います。
障がい者との共生	札幌市民は、障がい者と共生しているとはいえません。知的障害者を例にとると、札幌市の知的障がい者の3分の1は、施設に入所しています。その3分の2が市外の施設です。 また、地域共同生活をしている率は全体の8%弱ですが、その3分の1は市外で暮らしています。	これからは、札幌市で生まれ育った障がい者は、札幌市で地域生活ができるようにするという共生の基本を目指します。	・札幌市障がい者福祉計画(施設から地域へ)のよりきめ細かい実施計画を、障がい者自身でつくります。障がい者が委託した人々が、その作業を手伝います。	必要な規制緩和を検討します。例として、国の基準のとおりNPO法人でもグループホームを設置運営できるようにします。また、グループホームに入居している障がい者が、在宅福祉サービスを利用できるように、配慮します。 必要な市の事業を検討します。例として、よりきめの細かいケアを要する人々を対象としたホームを支援できる、札幌市独自の補助事業を検討します。
健康づくり	札幌市は、要介護高齢者の社会的入院が多いといわれています。一方で、痴呆性高齢者のグループホーム数は、政令都市の中で一番多く、高齢者共同住宅もたくさんできています。しかし、グループホームの質はまちまちであり、高齢者共同住宅の実態も十分に把握されていません。	高齢者のニーズにしたがい、質の高い多様な共同住宅の形態を開発します。	市内および全国の先行事例をもとに、高齢者共同住宅のあり方および質を維持するための第三者評価を含めたしくみを検討します。	必要な規制緩和を検討します。例として様々な年代、障がい種別を越えたケア施設を認めます。 必要な市の事業を検討します。例として、一定の質を満たしている共同住宅を支援できる、札幌独自の補助事業の充実をはかります。
	札幌市国民健康保険に加入している市民の一部の保険料負担が、過重になっています。	負担は、公平に分かち合います。	公平な分かち合いが実現できる方法を、積極的に検討します。	国民健康保険運営協議会において、公平性を実現する賦課方式の改正を検討します。
	現在の札幌では、全国と比較して、特に若年層の人工妊娠中絶率が高くなっています。	比率をひきさげる努力をします。	高校生が、改善に向けての計画をつくります。高校生が委託した人々が、その作業を手伝います。	高校生の提言をくみとり、実施するしくみを検討します。

環境・都市機能分科会

環境・都市機能分科会の議論のまとめ



分科会での議論整理表（環境・都市機能分科会）

重点戦略課題	現状・課題	重点的な取組みなど	具体的な委員意見
水とみどりの うるおいと安 らぎのある街 の実現	駅前通地下歩行空間整備において現況の緑を減らした場合、駅前通は看板の山でしかない。どのように緑を再生させ、保全していくかが重要 特に都心部の緑は、量だけではなく質や効果的な配置についても検討することが必要 都市の自然としては、水辺と緑と動植物に身近に触れられることが大事 小学校や地域などで、自然との接し方、自然の発見の仕方を学ぶ機会を設けることが必要	都心に豊かな緑や水辺を再生・育成する取組みを進める 美しく風格ある都市景観のまちづくりを具体的に進めるためのビジョンと景観ガイドラインを作成	大通公園をみどり30%増の重点地区、シンボルにし、市民の記念植樹コーナーをつくる(1丁分をあてる)、小学校跡地利用の校庭も、記念植樹コーナーとする(中島委員) 大通公園の多面的活用に関する規制緩和をする(大坂委員・中島委員) 環境首都コンテストに参加する(大坂委員) みどりを楽しめる散策路・自転車道の整備(大坂委員) 市民・企業・NPOの植樹活動の状況把握(大坂委員) 自然に関してNPOが行う情報収集・調査研究の支援や、市民が自然環境に親しむ際のマナーを学ぶ機会や学習の充実が必要(中井副会長)
		市民が身近な地域の自然や生態系に親しみ・学ぶ機会の充実と保全活動の支援	
地球環境問題 への対応と循環 型社会の構築	CO2排出の割合が高い民生部門について、市民がどうすれば削減できるか考えることが必要 家庭で、コジェネレーションシステムや融雪槽・融雪機が無計画に普及することは、地球温暖化を考えると問題 市民も企業も一体感を持ってごみ問題を進めるべき。啓発事業やイベントを個々に行うだけでなく、それらを合わせて取り組むなど仕掛けが必要	エネルギーの有効利用やTDM(交通需要マネジメント)などによるCO2の排出削減	持続可能なコンパクトシティへ転換していくうえで、除雪に要するエネルギーを削減したり、CO2排出を削減することを推進すべき(太田委員) 排ガス対策を考慮したコジェネレーションシステムの導入を推進(大坂委員・太田委員) さわやかノーカーデーを増やす(大坂委員)
		ごみの発生抑制、リサイクル促進などによる廃棄物の削減	市が主催するイベントにおける使い捨て食器の使用禁止(大坂委員) YOSAKOIソーラン祭りや雪まつりのような大規模イベントにおいて、(A SEED JAPANが実施しているような)ごみゼロナビゲーション活動を推進し、分別の啓発を行う(大坂委員) 効果的なゴミ分別啓発活動「ワケル君」キャンペーンの実施(大坂委員) 街路樹の枯葉やプラスチック系ごみを燃やしエネルギーを回収することを考えるべき(太田委員) 現行のゴミ分別の徹底を図るとともに、有料化も議論する(中島委員)
ゆたかな冬の 暮らしの実現	冬期間の歩行者環境や除雪については市民要望が高い 冬は夏と同じような水準は維持できない。生活環境を守るために、市民や行政は協力し合いながら、何をしなければならぬか改めて確認することが重要 「冬」や「雪」だけではなく、1年を通して快適で楽しめる北の暮らしが、文化として定着するような視点が必要 日本の政策、経済システム、生活の基準など、今まで全て東京を中心に組み立てられてきた。北の視点から暮らしや文化を考えることも大事 過去に「北方圏」の取組みが定着しなかった理由を検討しておくことが大事	環境に配慮した、パートナーシップによる雪対策の推進	積雪歩道の安全な歩行対策(太田委員) 除雪に要するエネルギーを削減する(太田委員) 除雪をしなくてもよい建物(地下空間、スカイウェイ、雁木やカバード化された歩行者道路など)のあり方の再検討(中井副会長) 除雪のための、駐車違反の徹底化のため、警察と具体的な計画を策定する(中島委員) 「雪対策基本計画」を市民と共有の行動規範にする(小林会長)
			(以下2項目中井副会長) 北方型のまちづくり (雪や寒さに強い都市環境づくり・冬期間の安全で快適な歩行者空間の確保と交通機能・緑にも雪にも映える、一年を通して魅力ある都市景観の形成・北国の気候・風土に馴染むライフスタイルの育成と暮らしの文化の創出) 北国からの技術・文化の発信 (雪や寒さに親しみ、楽しみ、活用する北の生活の技術や製品の開発とデザイン文化の促進で、地域の総合的活性化を図る・省エネルギー型の都市の雪対策の研究開発・エネルギー負荷の少ない北国のライフスタイルの研究と情報発信) 雪を積極的に楽しみ、市民が参加できる象徴的なイベントを実現する(大通公園を横断する歩くスキー大会(2007年のルディック大会に向けての宣伝、観光客も参加できるように))(中島委員)

重点的な取組みなど欄の記号については、資料「環境・都市機能分科会の議論のまとめ」との対応関係を示している
 当面の重点的な取組み、実践手法・仕組みの提案、これからのまちづくりの大切な視点、取組みの方向と課題

重点戦略課題	現状・課題	重点的な取組みなど	具体的な委員意見
<p>歩いて暮らせるゆたかで快適な街の創造</p>	<p>駅前通と大通の街並景観は、貴重な札幌の観光資源である。都市観光的な面から考えることも必要 駅前通地下歩行空間整備において現況の緑を減らした場合、駅前通は看板の山でしかない。どのように緑を再生させ、保全していくかが重要 歩いて楽しめる魅力的な美しい都市景観の形成に関する視点が必要 市場原理に任せていると、古いものの居場所がなくなっていく 既存の公共的なスペースは、憩える感じではない。誰でも使えるような公共的な空間を増やすことが必要 都心部は車が渋滞するのであまり入らないようにすべき 自転車を勧めるならば、自転車に乗りやすい環境にすべき オリンピック開催前後に札幌に住みついた人たちが住むゾーンでは、社会基盤はしっかりしているが、人もコミュニティも少なくなっている。どのように再生するかが重要 環境負荷の低減と財政の問題から、コンパクトシティを目指した取組みを推進すべき どのようにエネルギー循環、物質循環を含めて環境負荷が少なく、安全に生活ができ、コミュニティが形成されていくようにまちに作り直していくのかということが重要</p>	<p>駅前通の地上空間と地下歩行空間を、歩いて楽しく快適な札幌のシンボルストリートに再生 美しく風格ある都市景観のまちづくりを具体的に進めるためのビジョンと景観ガイドラインを作成(再掲) フィルムコミッションの展開</p>	<p>札幌市の顔としての、駅前通の都心部再生をプランする。駅前通を最初のモデルケースとして、歩行者・自転車・公共交通優先の交通体系システムを導入するための議論を始めることに加え、広告、看板類の規制を含めて考える(中島委員) 新しく建つ建物は地下空間をオープンにして地上との関係をうまくつくっていくことが大事。サンクンガーデン的なつくり方もあり得る(中井副会長) 良好な景観形成推進のための都市景観奨励賞の実施、無電柱化の推進(大坂委員) 古い建物・街並み・文化の保存と活用、広告・看板類の整備、まちの総合的サイン計画、魅力ある街路樹や緑の育成、建築ファサードのあり方など、都市の総合的な街並景観形成を考え、歩いて楽しい快適な街並景観を形成する(中井副会長) 魅力ある北国のすばらしい都市景観そのものが貴重な観光資源であり、我々の共有財産だ」という認識を、小学校くらいからきちんと教育してことが重要(中井副会長) 全分野を通しFC(フィルム・コミッション)の積極的な活用(中島委員) まちをコンバージョンしていくには規制緩和や助成などが必要(小林会長) 古い建物を積極的に活用するビジネスを含む利用に、補助政策をうち出す(中島委員) 資料館の使い方に関しては、市民にオープンにする。歴史的建造物で、古い建物をどのようにこれから使っていくかという、市民参加型のモデルケースになる(中島委員)</p>
	<p>環境負荷の低減と財政の問題から、コンパクトシティを目指した取組みを推進すべき</p>	<p>都心の公共空間や公共施設に魅力あるにぎわいを創出して国際的な集客交流の場として活用 道路や公園の多面的な活用に関する規制緩和 TMOによる都心の公共空間の管理と活用</p>	<p>地下通路でのカフェなどの利用。その前段階として、パブリックアートなどの文化的スペースとして活用(大坂委員・中島委員) 路上ライブ、路上大道芸等の実施への規制緩和、調整、体制づくり(大坂委員) 札幌プロムナード(歩行者天国)の通年実施(大坂委員) 廃校となる都心の小学校をNPOなどのまちづくり拠点のモデルに使う(中島委員) 札幌の地下通路の管理をTMOが引き受け、屋台やワゴンが出るような場合、全部そのTMOがコントロールする(小林会長)</p>
	<p>どのようにエネルギー循環、物質循環を含めて環境負荷が少なく、安全に生活ができ、コミュニティが形成されていくようにまちに作り直していくのかということが重要</p>	<p>歩行者・自転車・公共交通を優先した快適に移動できる交通体系やシステムを構築 エネルギーの有効利用やTDM(交通需要マネジメント)などによるCO2の排出削減(再掲)</p>	<p>歩行者・自転車・公共交通優先の交通体系システムを導入するため議論を始める。駅前通を最初のモデルケースにする(中島委員) 公共交通推進を考える市民参加会議の設置(交通局赤字問題も含む)(中島委員) 中心部で自家用車の乗り入れを禁止し、無料あるいは低料金の循環型バスを走らせる(太田委員) 長期的には、LRTの導入によって歩けるまちにする(大坂委員・太田委員・中島委員) 違法駐車防止やさわやかノーカーデーを増やす(大坂委員) 社会実験として世界カーフリーデーへの公式参加、パークアンドライドの通勤以外の利用者拡大、レンタサイクルの実施体制の整備(大坂委員) 自転車ロードの計画を検討(太田委員) まちなかの自転車利用のあり方を考える。駐輪場も含めて、住民が自転車をいかに使いこなすかというマナー教育をする。(中井副会長)</p>
	<p>持続可能なコンパクトシティを目指したまちづくり【取組みの方向】</p>	<p>都市の魅力と活力を高める高次都市機能拠点や地域の暮らしを支える広域交流拠点などの育成・整備</p>	<p>オリンピック開催前後に整備した地区についての質を上げていくために広域交流拠点、地域中心核などとしてクサせていくという戦略をとらなければならない(小林会長) 住区整備基本計画の環状内バージョンのようなことをやる必要があるのではないかと。内側の原理をきちんとつくっていかないとコンパクトシティもすさんだものになってしまう(小林会長)</p>

重点的な取組みなど欄の記号については、資料「環境・都市機能分科会の議論のまとめ」との対応関係を示している
当面の重点的な取組み、実践手法・仕組みの提案、これからのまちづくりの大切な視点、取組みの方向と課題

重点戦略課題	現状・課題	重点的な取組みなど	具体的な委員意見
その他 (居住)	<p>住み替えについて、今は民間に全て任せている。原理原則もなく、土地を買ったものだけが自由に使っていくとすると問題</p> <p>札幌市ではオフィス需要の変動で中規模のオフィスビルが余り始めている</p> <p>高齢化社会では、都心に戻ってくるという兆候がある。まちなかは、高齢者がゆっくり歩いて楽しめる構造であることが必要</p> <p>マンションだけではなく、地域が一体となって高齢者を受け入れられるような再生をしていくことが必要</p>	幅広い世代が地域で住み続けられるための居住環境づくり	<p>地域の気候・地形、歴史・文化、景観等の地域資源を読み取った地域にふさわしい居住環境を計画することが必要(中井副会長)</p> <p>バリアフリー化に係るリフォームなどマンションに付随させ、地域において高齢者だけでなくいろいろな人がすめる住まいづくりをしていくことが必要。(中井副会長)</p>
		高齢者が安心・安全に暮らせて、歩いて活動できる、都心の居住環境づくりを進める	<p>不動産のバンキングとか、安心して誰かに貸して違うところに住み替えできるといような仕組みをつくる。長期的には住み替えを社会的なシステムに置き直す(小林会長)</p>
その他 (安全・安心)	<p>防犯も含めた安全・安心な住環境については、今後の大きな課題</p> <p>高齢者、障がい者、妊産婦、子どもの視点で考えることが重要</p> <p>郊外の観光施設への交通アクセシビリティが低い</p>	誰もが活動できる、まちのユニバーサルデザインの推進【取組みの方向】	<p>高齢者や外国から来た人が、交通アクセスなどの物理的な環境や、人間が手伝うことも含めて、今まで整備してきた施設の恩恵を享受しやすい環境をつくっていく(郊外の観光施設等(札幌芸術の森、モエリ沼公園等)への交通アクセスの改善(小林会長)</p> <p>冬、高齢、安心・安全というのは非常に大事。札幌全体の観点から、市民の気持ちや物理的な環境を含めた広い意味でのユニバーサルデザインというものを考えなくてはならない(小林会長)</p> <p>安全・安心で自由な活動ができるバリアフリー化、誰もが認識できるまちのサイン・情報システムの整備が必要(中井副会長)</p>
その他 (コミュニティ)	<p>既存の公共的なスペースは、憩える感じではない。いつでも、誰でも自由に使えるような公共的な空間を増やすことが必要</p> <p>市民、企業が何をやる必要があるのか、自分たちでスタンダードを決めて構わないというようにすることが重要</p> <p>計画等を市民に浸透させるためには、個人としてできることがあるということを示してあげることが必要</p>	<p>地域の住民、NPOなどが集まり交流できるたまり場づくり</p> <p>連絡所や学校施設を住民のまちづくり拠点として活用</p> <p>NPOの自主管理による公共施設の柔軟な活用</p> <p>NPOが公共施設を管理運営するモデル事業の実施</p> <p>まちづくりセンターをNPOや住民主体で自主運営する仕組みづくり</p>	<p>【まちづくりセンター】</p> <p>まちづくりセンターを地域の交流拠点にする(市職員だけでなく、NPOや地域ボランティアが活用でき、市民が自由にたまる場にする。そのスペースをセンター内に確保する)(中島委員)</p> <p>市民が何か問題意識をもって行動したいと思ったときの手助けができるような拠点にする(情報の収集と発信のしやすいしくみづくり職員のコーディネーター機能の強化(市の事業部局との調整)など)(大坂委員)</p> <p>職員がいない時間でも使用できるようにする。管理は、NPOが直接運営に参加するという方向(大坂委員・中島委員)</p> <p>【その他の施設】</p> <p>区民センターの図書室をボランティアの活用により開館時間を延長する(大坂委員)</p> <p>公園の管理運営をもっと市民が関わられるようにする(大坂委員)</p> <p>学校等の教育施設を時間でシェアリングしながら使えるようにする(小林会長)</p>
		<p>市民が公共空間と積極的に関わり、まちづくり・まち育て活動を学び、実践する場づくり</p> <p>地域通貨を活用したコミュニティ活動の実験的な取組み</p>	<p>まちづくりをサポートする人材の育成とまちとの関わり方を示していくまちづくり手引き書(まちづくり読本)が必要(中井副会長)</p> <p>地域通貨を活用したコミュニティ活動の運営に関する実験的な取組み(中島委員)</p> <p>バス待合室でのコミュニティビジネス支援(大坂委員)</p> <p>民設のまちづくり拠点とまちづくりハウスの連携(大坂委員)</p>
その他 (広報戦略)	<p>計画等を市民に浸透させるためには、個人としてできることがあるということを示してあげることが必要</p> <p>多くの情報が発信されているが、市民に伝わっていないことが多い</p> <p>市民が自ら考えていくには刺激が必要</p>	<p>多様なメディアや民間の知恵を活用した広報活動</p> <p>市民参加を広げるためのイベントの活用</p>	<p>広報番組の再活用による情報発信(市の施設での貸出、市役所のロビーでの再放送、市が企画するイベントの開場から開会までの待ち時間などでの再放送)(大坂委員)</p> <p>コミュニティFMと公共施設の連携(ex.まちづくりに関するイベントを公共施設で開催する場合、会場申込みをするとコミュニティFMでイベントを紹介してもらえるような連携体制を設ける)(大坂委員)</p> <p>情報発信については、行政だけではなく民間の知恵や人材を活かし、多様な媒体を使いながら戦略的に行う(小林会長・中島委員)</p> <p>雪まつりやYOSAKOIソーラン祭りなど大きなイベント等を活用したごみ分別等の普及啓発の推進(大坂委員)</p>

重点的な取組みなど欄の記号については、資料「環境・都市機能分科会の議論のまとめ」との対応関係を示している
 当面の重点的な取組み、実践手法・仕組みの提案、これからのまちづくりの大切な視点、取組みの方向と課題

市の素案に対する意見（環境・都市機能分科会）

素案に対する修正案（下線部は主要な修正部分及びキーワード）、素案に対する分科会での主な意見

項目	意見内容	委員の具体的意見	
素案全体	<p>計画全体に通じる「望ましい街の姿」がイメージできるようなストーリー性を充実すべき</p> <p>各主体の主な役割については、より記述の具体性を増すなど、各主体が役割を実感できるような工夫がすべき</p>	<p>4分科会全体を通じた「望ましい街の姿」がイメージできる内容（景観、安全・安心、観光等）を記述すべき（中井副会長）</p> <p>これからの取り組みは協働で進めていくことから、施策ごとに各主体の協働の役割を整理したほうがよい（別紙1参照、大坂委員）</p> <p>市民が、自分たちが参加できていると思えるかどうかは、具体性が重要。いろんなパートで可能性があると思えたときに自発性がでてくる（中井副会長）</p>	
望ましいまちの姿	<p>誰でも安心・安全に暮らせるという視点を盛り込むべき</p> <p>地球環境問題については、市民一人ひとりが自発的に取り組み、生活文化まで浸透するように記述を充実すべき</p>	<p>北国らしい明瞭な四季があり、美しくゆとりある景観にあふれた街です。ゆたかな自然環境と共生し、健康で安心・安全に暮らすことができます。エネルギーを有効に利用し、公共交通の利便性に優れた、持続可能でコンパクトな街で、誰もが大都市ならではの快適な生活を送ることができます。市民一人一人が、ごみの発生抑制や地球温暖化防止、環境汚染防止などの環境保全活動に積極的・自発的に取り組み、実践し、環境に恵まれたゆたかな札幌をとともに築きあげ、将来の世代に継承してこうという意欲にあふれています。（以上3項目 太田委員）</p> <p>多雪寒冷な気候風土と北国らしい明瞭な四季を通じて、緑や水辺の変化にとんだ豊かな自然環境を身近に楽しむことができる、美しい都市景観の街で暮らしています。</p> <p>都市機能がコンパクトに集積し、エネルギー負荷の少ない市街地には、快適で便利な公共交通機関の利用が望まれ、魅力ある街並景観の中心市街地では、楽しく歩ける歩行者空間と人と車が共存する交通関係が保たれています。</p> <p>将来にわたり持続可能な都市環境を継承するために、市民ひとりひとりが環境負荷の少ないエネルギー利用と省エネ化を図り、ゴミの減量化と資源リサイクルに努めながら、快適に暮らして行ける生活文化が定着しています。（以上3項目 中井副会長）</p>	
重点戦略課題	<p>水とみどりを生かした美しい都市景観にしていく視点を盛り込むべき</p> <p>自然環境には生き物も含まれていることが判るように記述を充実すべき</p> <p>豊かな自然環境と美しいまちに市民が愛着心をもって住み続けられるような視点で記述を充実すべき</p> <p>市民が、自然と親しみ学習したり、自然と接するマナーを学んでいくことが重要</p>	重点戦略課題の名称	<p>水とみどりにあふれた<u>うるおいと安らぎのある街の実現</u>（太田委員）</p> <p><u>水と緑と生き物に安らぎのある豊かな自然環境の育成</u>（中井副会長）</p>
		(仮称)戦略目標	<p><u>美しくゆとりある景観にあふれた街</u>で、ゆたかな森林環境や<u>健全な水環境</u>と共生した、<u>うるおいとやすらぎのある生活</u>をおくることができます。（太田委員）</p> <p>緑や水辺が<u>守り育てられ</u>、動植物と身近にふれあうことのできる豊かな自然環境の街さっぽろは、<u>安らぎとうるおい</u>を人々にもたらし、<u>いつもまでも住み続けたい安心して暮らせる都市</u>です。（中井副会長）</p>
		各主体の主な役割	<p>以下の主な役割（中井副会長）</p> <p>〔市民〕 ・庭や宅地まわり、居住環境など身近な場所の草花による緑化 ・水や緑などを、<u>守り育てる地域活動</u>への参加</p> <p>〔企業等〕 ・企業の所有地や敷地まわりの花や緑の保全と緑化 ・水や緑に関する地域活動への積極的参加</p> <p>〔NPO等〕 ・水や緑、生き物の保全・育成・創出の活動 ・札幌の水と緑、自然生態系に関する情報収集と調査研究および提言など ・水や緑、生き物の保全・育成・創出に関する活動と情報のネットワークを形成</p> <p>〔行政〕 ・公共施設における水と緑の保全・育成・創出 ・札幌の水と緑、自然生態系等に関する情報収集と調査研究等に対する支援体制 ・札幌の自然環境に関する情報収集とわかりやすい情報発信 ・水と緑など自然環境に親しむ学習やマナーを学ぶ<u>機会の充実</u></p>
		施策の基本方針	<p>札幌の良好な緑や水環境の維持・回復をはかる</p> <p>水辺の緑や生き物などの自然を保全・復元し、せせらぎの回復をはかる</p> <p><u>水や緑、生き物など身近な自然と人間がふれあい親しむ関係のあり方を市民が学ぶ</u>（以上3項目 中井副会長）</p>
		施策	<p><u>美しくゆとりある景観の実現</u>（太田委員 1項目追加）</p>

項 目		意見内容	委員の具体的意見	
重点戦略課題	地球環境問題への対応と循環型社会の構築	地球環境問題については、市民一人ひとりが自発的に取り組み、生活文化まで浸透するように記述を充実すべき（再）	重点戦略課題の名称	持続可能な都市環境の構築と資源循環型社会の実現（中井副会長）
			(仮称)戦略目標	<u>市民一人ひとりが地球環境問題を正しく理解して、ごみの発生抑制や地球温暖化防止、環境汚染防止などの環境保全活動に積極的・自発的に取り組み、実践し、環境に恵まれたゆたかな札幌を共に築き上げ、将来世代に継承して</u> にうという意欲にあふれています。（太田委員）
		冬でも安心・安全に暮らす視点を盛り込むべき 「冬」や「雪」だけではなく、1年を通じて快適で楽しめる北の暮らしが、文化として定着するような視点が必要 多雪・寒冷な気候特性においても、省エネルギーに配慮することが重要	重点戦略課題の名称	<u>安心・安全な冬の暮らし活動の実現</u> （大坂委員） <u>ゆたかで安心・快適な冬の暮らしの実現</u> （太田委員） <u>ゆたかな北のライフスタイルと暮らしの文化の創出</u> （中井副会長）
			(仮称)戦略目標	<u>多雪寒冷の厳しい気候に対応した、省エネルギー型の安全で快適な街です。厳しい冬でも遊びやスポーツ、雪まつりなどのイベントを気軽に楽しむことができる、個性的で魅力あふれる北方の拠点都市です。</u> （太田委員） <u>さわやかで快適な夏がある一方で、多雪寒冷の厳しい冬期間の生活がある札幌の街では、雪や寒さに強い都市づくりを進めながらも、北国ならではの冬の魅力を楽しむ暮らしの文化やまちづくりなど、北方の拠点都市として形成が望まれています。</u> （中井副会長）
			現状と課題	<u>四季が明瞭で、自然や生活文化が一年を通して多様に展開する</u> <u>緑の季節と雪の季節の快適な都市環境のあり方を検討する必要がある</u> （中井副会長 2項目追加）
			各主体の主な役割	以下の主な役割（中井副会長） 市民） <u>冬期間の雪対策のルールを理解し、遵守する</u> <u>北国ならではのライフスタイルや生活文化の育成</u> 冬の遊びやスポーツ、イベントなど冬を楽しむ機会と実践 協働による雪対策への参加と支援 企業等） <u>雪と寒さへ配慮した北国ならではの技術や製品の開発</u> <u>北国にふさわしいデザイン文化の発信</u> 地域の協働による雪対策への参加と推進 地域による冬の遊びやスポーツ、イベント等の企画と実践 町内会・NPO等） <u>四季を通して楽しみ活動できる暮らしの文化の育成</u> 効果的・効率的な雪対策の開発と推進 <u>多雪寒冷の気候を活かした自然エネルギーの活用</u> <u>明瞭な自然の変化と季節感のある北国の札幌の街は、魅力ある都市景観の形成が貴重な観光資源となる</u> 行政） <u>冬の遊びやスポーツ、イベント活動の創出と支援</u>
			施策の基本方針	雪に親しみ楽しむ機会を大切に、 <u>一年を通して市民が快適に生活できる、北国の暮らしの文化を創出する。</u> （中井副会長 1項目修正）
			施策	<北国らしい暮らしの創造> <u>緑の季節と雪の季節のいずれも快適に生活できる北の暮らしの文化の創造</u> 北方圏の都市との国際交流を通じて、 <u>北国の暮らしの文化に係わる技術や情報の交流と共有</u> 冬期間の公園利用や冬の遊びを促進する市民活動の支援と、指導者の活用や育成（以上3項目 中井副会長）

項 目		意 見 内 容	委員の具体的意見	
重点戦略課題	歩いて暮らせるゆたかで快適な街の創造	歩いて楽しめる魅力的な美しい都市景観の形成に関する視点を盛り込むべき 誰でも安心・安全に暮らせるという視点を盛り込むべき(再) 自転車の走行環境や自転車利用のマナー教育の充実が重要	重点戦略化題の名称	歩いて暮らせる快適で魅力ある美しい都市景観の形成(中井副会長) 歩いて暮らせる快適な街の創造(大坂委員) 歩いて暮らせる快適でゆとりのある美しい街の創造(太田委員)
			(仮称)戦略課題	エネルギーを有効に利用し、公共交通の利便性に優れた、持続可能なコンパクトな街です。都心や地域中心部では、徒歩や自転車で安心・安全・快適に生活することができる、美しくゆとりのある景観にあふれた街です。(太田委員)
			現状と課題	歩いて楽しい魅力ある街並景観の形成 街なかの放置自転車や違法駐輪などへの対策(中井副会長 以上2項目追加)
			各主体の主な役割	以下の主な役割(中井副会長) 市民) 2項目追加) 市民参加による花や緑の街並み景観の魅力づくり 自転車走行や駐輪場利用のマナーを守る 企業等) (変更なし) NPO等) (1項目追加) 歩いて楽しい街路空間づくりへの参加・実践 行政) 交通事業者への支援(素案から変更なし) 都市再生を先導する基幹的な都市基盤整備(素案から変更なし) 公共交通機関や道路空間のバリアフリー化を促進する 歩いて楽しい魅力ある街並景観の整備 安心して走行できるサイクリングロードの整備 自転車走行や駐輪場利用のマナー教育
			施策の基本方針	歩いて楽しい魅力ある街並景観の形成(中井副会長 1項目追加)
成果指標	成果指標の選定にあたっては、協働で取り組む市民にわかりやすく、かつ、達成することによってまちが良くなるという視点が必要 現在、改定作業が進められている環境基本計画で検討している指標との整合性にも配慮すべき。特に地球温暖化対策、環境低負荷型の交通対策や、環境保全に寄与する企業活動などの分野において指標の充実を図るべき その他、自然環境や雪対策、都市景観に関する指標についても充実を図るべき	成果指標案(大坂委員・太田委員・中井副会長)(別紙2参照) 去年より今年、今年より来年とらように、成果が上がっているかどうかを市民にわかりやすいかたちでチェックすべき(小林会長) 成果指標の項目は、将来に向けてのまちづくりの課題を実現していくときに、プラスに働く項目でないといけない(中井副会長) 市民一人ひとりがまちを良くするために貢献できるようなリアリティを持てる目標がいい(大坂委員) 環境基本計画改定において環境審議会で検討している「環境指標」のうち、適切な指標があればいくつか取り入れるべき(太田委員) 市民から見ても指標になるような除排雪に関する項目が一つあればいい(太田委員)		

【大坂委員意見 施策 各主体の主な役割】

	施策	各主体の主な役割			
		市民	企業	NPO	行政
水とみどりのつながりや安心感のある街の実現	水やみどりを大切にする心の醸成	身近な自然体験活動への参加 せせらぎに触れる 自然を散策する フィルムコミッション活動へ参加	水とみどりに関する社会活動への参加	自然と親しむ機会の提供 水、みどりや生物の生息状況に関する情報の収集・発信 大学や研究機関等からの情報収集 学校ピオトープづくり 散策路等のマップ作成 公園のこれまで認められてこなかったような多様な活用による市民の呼び込み 悪質な景観抑制・改善のための都市不景観賞の実施 スロースペースづくり 在来種の調査・保護	みどりに親しむための活動拠点の充実 活動の情報収集 わかりやすい情報提供 円山動物園動物病院建設 子供動物園整備 公園や道路などの多面的活用に関する規制緩和 通路上でのオープンカフェの規制緩和 路上ライブ、路上大道芸等の実施への規制緩和、調整、体制づくり 環境首都コンテストに参加する
	水辺やみどりの保全・創出	水とみどりを守り育てる活動への参加 庭など身近な場所の緑化 公園緑地の保全・育成活動への参加 やすらぎの水辺に関する提案 アダプトプログラムへの参加 合成洗剤の使用を減らす	企業の所有地や屋上の緑化 事業活動にあたって水やみどりの保全等への配慮 苗木等の提供	水とみどりの保全・創出活動 花いっぱい運動などの推進 水辺やみどりを保全する多様な制度の活用 水質に関する情報の収集 アダプトプログラムによる植樹活動 シーニックバイウェイ活動	屋上緑化等の支援 公共施設等の緑化推進 公害排出企業の監視 自然と人がふれあえる水辺の保全・創出 多様な制度の周知 公園や道路などの多面的活用に関する規制緩和 公共施設をツタが覆うようにする 良好な景観形成推進のための都市景観奨励賞の実施
	みどりのボリュームアップとネットワーク化	植樹情報の発信 オープンガーデンの実施	植樹スペースの提供	水とみどりの保全・創出に関する活動のネットワークを形成 水とみどりに親しむ機会や場の創出 公共施設や民有施設のみどりを増やすしくみの提案	水とみどりに親しむ機会や場の充実 都心部、特にみどりの少ない地区、環状グリーンベルトなどにおける重点的な緑化 公共施設や民有施設のみどりを増やすしくみづくり 市民・企業・NPOの植樹活動の状況把握 みどりを楽しめる散策路、自転車道の整備
地球環境問題への対応と循環型社会の構築	環境意識の醸成と行動の喚起	環境保全活動の模範的実践、拡充 環境に配慮した移動手段の選択 天然素材の利用促進（ヘンプ、オーガニックコットン、天然顔料等）	環境マネジメントシステム等の導入 環境に配慮した商品開発 省エネ設備導入・利用 低公害車等の導入・利用 新エネルギーの開発・導入 さわやかノーカーデー等公共交通利用者へのサービス優遇 街路樹の落ち葉やプラスチックなどの廃棄物からのエネルギー回収	環境保全活動への積極的な参加呼びかけ 環境問題に関する普及啓発 新エネルギーの開発・普及 キャンドルナイトの呼びかけ マイバック・マイ箸等、使い捨てしない暮らし方の啓発 環境プラザの管理運営	環境教育や情報提供の推進 環境行動を加速させる活動支援 活動指標の提供、実態把握 環境保全についての率先実行 環境マネジメントシステムの運用管理の徹底 公共施設等における省エネルギーの計画的な推進 取り組み成果の情報発信 さわやかノーカーデーを増やす コジェネレーションシステムの推進
	ごみの発生抑制のしくみづくり	モノを大切に使う 環境に配慮した消費行動 (ごみの出ない商品、リサイクルしやすい商品、リサイクル品)	ごみにならない商品開発 再利用法の開発 デポジット容器などの使用ルール作り	ごみに関する知識の普及 ごみ発生抑制のしくみづくりへの提言 リサイクルの知恵提供 ごみに関する問題意識の啓発	ごみの発生抑制のしくみづくりと適正な処理 普及啓発拠点機能の充実 実践活動の支援 多様なリサイクルルールの確保 経済的手法を含めた効果的なごみ発生抑制のしくみづくりの検討 市が主催するイベントにおける使い捨て食器の使用禁止 よさこいソーランまつりや雪祭りのような大規模イベントにおけるごみナビゲーション活動の推進による分別啓発 効果的なゴミ分別啓発活動「ワケル君」キャンペーン実施
	環境に配慮したごみ処理体制の確率	ごみの排出ルールの遵守 ごみの減量化	拡大生産者責任の取り組み実施 ごみの減量化 事業系ゴミにおける分別	資源回収などごみの減量化	ごみ処理施設への搬入指導の徹底やリサイクルの推進 事業系ごみの排出事業者処理責任の徹底 ゴミ処理体制に関する情報提供の徹底

は主な役割と行政施策、は分科会の議論、具体的な提案

	施策	各主体の主な役割			
		市民	企業	NPO	行政
安全 安心な冬の暮らし活動の実現	北国らしい暮らしの創造	冬期間の生活ルール理解と遵守	北国・雪国にふさわしい技術や製品の開発 雪や寒さに強いまちづくり	雪や寒さに親しみ、楽しみ、活用する、生活文化や都市環境づくりを提案する	冬場の公園利用の拡充に向けた取り組みの支援 冬の遊びを促進する市民活動や指導者の発掘・活用 北方圏の都市などとの国際交流を通じた快適な冬の暮らしに係る知識や技術の共有
	ウィンタースポーツの推進	冬の遊びやスポーツ、イベントの実践		冬の遊びやスポーツ活動の推進や普及啓発 かんじきウォーク	冬の遊びやスポーツ活動、イベントに対する支援 ウィンタースポーツの調査研究の推進 ウィンタースポーツへの関心の喚起
	多雪・寒冷な気候特性の活用		協働による雪対策への参加 冬期間の歩行者空間の安全性を確保できるような商品等の開発		効率的・効果的な雪対策の推進 雪など自然エネルギーの活用 雪を貴重な資源として見直す取り組みの推進 市民が楽しむ冬を国内外に発信して集客交流を促進
	地域特性に応じた効率的・効果的な雪対策の推進			協働による雪対策への参加 地域通貨を使った除雪等ボランティア活動の推進	地域の特性に応じた除排雪の推進と歩行環境の改善 パートナーシップ排雪や市民・企業の雪対策活動に対する支援の充実 福祉除雪の推進
歩いて暮らせるゆたかで快適な街の創造	環境に負荷をかけない交通手段の利用促進	環境に配慮した適切な交通手段の選択と行動 心のバリアフリー ライフサイクルに応じた住替えの実施	企業活動における公共交通利用 まちなかでの自動車利用の制限 カーシェアリング事業の実施	交通に関する提言や実験などの活動 歩いて楽しい駅前通の再整備のための提案 都心レンタサイクルのネットワーク化(複数乗り捨て場所を設ける)	公共交通が利用しやすい環境の整備 駅のバリアフリー化の推進や利用しやすい料金制度の検討など 公共交通の利便性向上に向けた取り組み 社会実験として世界カーフリーデーへ公式参加 パークアンドライドの通勤以外の利用者拡大 レンタサイクルの実施体制の整備 違法駐車防止
	交通の要所のまちづくり	まちづくり活動やボランティア活動の情報発信・収集	公共交通の利便性向上 コミュニティバスの運行	まちづくりについての提言 バス待合室での活動アピール 地下鉄掲示板の活用	交通事業者への支援 歩道のバリアフリー化や自転車の走行環境整備に向けた取り組み 公共交通機関の乗り継ぎを向上させる施設の整備 札幌プロムナード(歩行者天国)の通年実施 バス待合室でのコミュニティビジネス支援 広報番組の駅や待合室等での再活用による情報発信
	都心の再生		まちづくり指針に即した事業展開	まちづくり活動の企画・運営 みなとNPO ハウスのような使用による廃校の再生 空いた資料館の活用 連絡所の運営体制一新による機能回復 図書館・コーナー、学校図書館の運営による利用者拡大	都心再生を先導する基幹的な都市基盤整備 都心における魅力的な歩行空間や親水空間の創出のための道路空間再配分 民間の都市開発やまちづくり活動への支援 都心の通過交通低減の実現 LRTの導入検討 無電柱化の推進 民設のまちづくり拠点とまちづくりハウスの連携

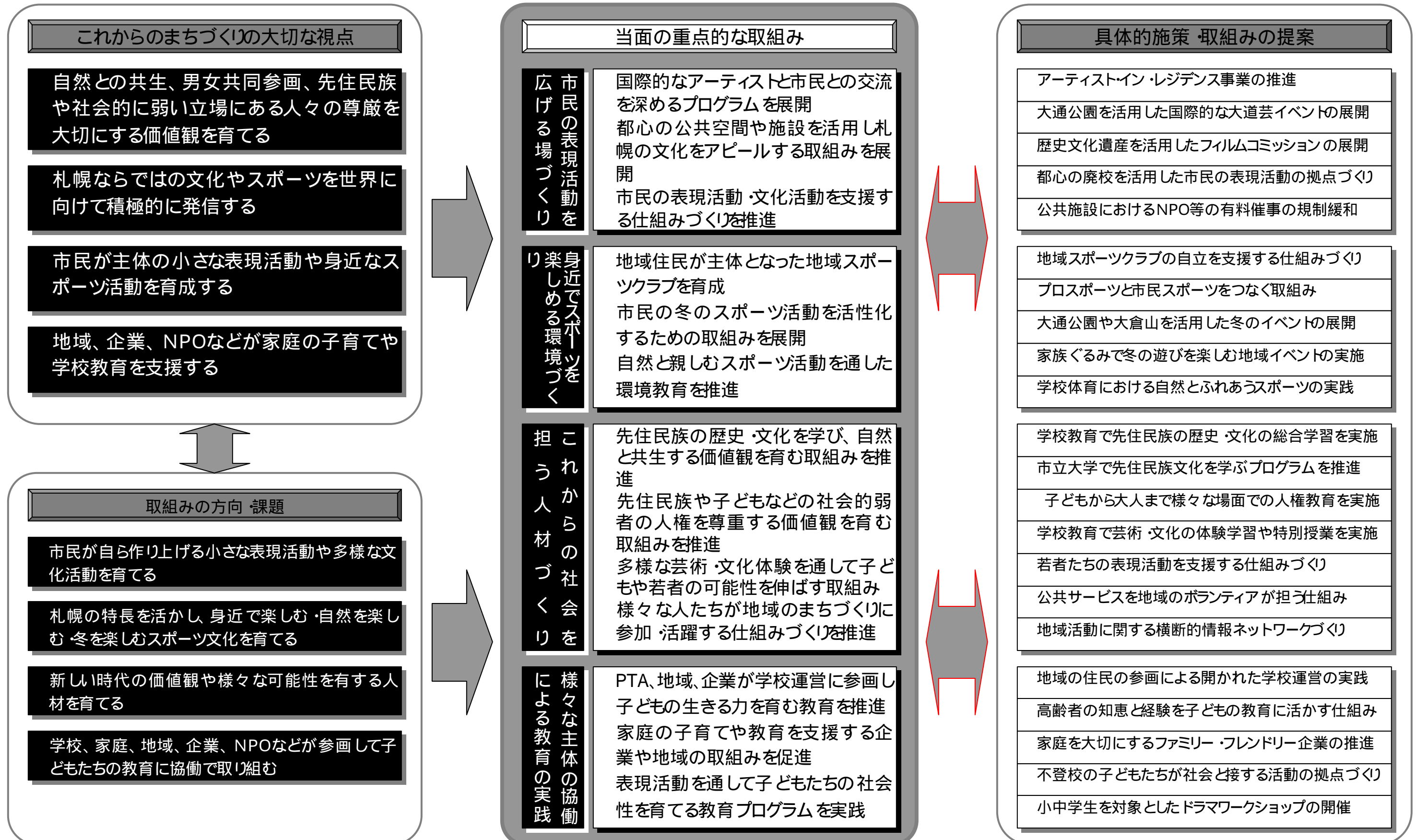
は主な役割と行政施策、は分科会の議論、具体的な提案

成 果 指 標 案

<p>【大坂委員意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立生活する障がい者の数 ・自然エネルギーの発電率 ・太陽光発電導入世帯数 <p>【太田委員意見】</p> <p>環境基本計画」であげた「環境指標」から抜粋</p> <p>地球温暖化の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素吸収・固定化量 ・エネルギー使用量(電灯・電力使用量,都市ガス需要量,ガソリン使用量,軽油使用量) <p>森林資源の保全と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林面積 ・森林蓄積量 ・森林造林・保育面積 ・廃木材使用量 <p>酸性雨(雪)の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場・事業所からのNO_x、SO_x排出量 ・運輸部門からのNO_x排出量 <p>雨,雪のpH</p> <p>オゾン層の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気中フロン濃度 ・フロン回収・破壊量 <p>エネルギー有効利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気・ガス使用量 ・家庭用エネルギー使用量 ・運輸部門エネルギー使用量 ・自然エネルギー・未利用エネルギー使用量 ・雪処理施設の雪処理量 ・市民省エネルギー行動実施率 <p>環境低負荷型の交通対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運輸部門エネルギー使用量 ・市内各輸送機関別乗車人員(地下鉄,市電,バス,JR,タクシー,ハイヤー) ・12時間平均交通量 ・混雑度1.0以上の地点割合(主要36地点) ・1世帯あたりの乗用自動車保有台数 <p>廃棄物の少ない都市づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル率 ・ビン、カン、ペットボトル等の収集量 ・埋め立て処分量 ・不法投棄件数 	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルプラザにおける補修品展示件数(家具、自転車など) ・移動食器洗浄車(アラエール号)利用実施イベント数 ・良好な水環境の保全 ・不透水面積率 ・地下水利用量 ・生活排水処理率 ・雨水浸透施設設置状況 ・豊かな自然環境の育成と保全 ・森林面積率 ・森林蓄積量 ・市民の森整備面積 ・都市環境緑地面積 ・野生生物生息状況(サケ遡上確認数,定例探鳥記録確認種数) ・うるおいとやすらぎのある都市づくり ・緑化関連指定面積(緑地保全地区指定面積,風致地区指定面積,緑地推進地区指定面積) ・多自然型河川づくり整備延長 ・道路植栽状況(植栽道路延長,街路樹本数) ・指定文化財数 ・市民農園面積 ・都市景観形成地区指定面積 ・健康で安心して生活できる都市づくり ・工場・事業所の大気汚染物質排出量 ・苦情件数 ・地下水位(中島公園観測局(扇状地),北発寒観測局A(低地西部),下野幌観測局) ・運輸部門NO_x排出量 ・地盤沈下量 ・環境教育・学習活動の推進 ・こどもエコクラブ加入者数 ・環境関連事業実施数(市民参加型環境関連事業実施数,事業者参加型環境関連事業実施数) ・ホームページへのアクセス件数 ・環境関連施設利用者数(環境プラザ,リサイクルプラザ,豊平川さけ科学館,円山動物園) ・市民や企業の環境保全・創造活動の推進 ・環境関連活動団体数 ・環境保全アドバイザー利用者数 ・環境マネジメントシステム等導入事業所数 ・環境保全・創造活動に寄与する産業や技術の振興 ・環境マネジメント関連事業数 ・地球環境保全に向けた国際的連携・協調関係の形成 ・国際協力事業実施状況 	<p>【中井副会長意見】</p> <p>成果指標として期待したい項目</p> <p>水と緑の関連項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心部の街路樹の本数の推移 ・都心部の緑視率の変化 ・札幌の野生生物の種類と個体数の変化 ・札幌の街の緑の量や水辺に関する市民の印象の変化 (EX. - 札幌は緑(自然)が多い街だと思いますか? - 札幌は市民が親しめる水辺の多い街だと思いますか? ...etc. <p>札幌の河川の魚類,水辺の生物の種類,個体数の変化</p> <p>資源・環境関係の項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌の街の電力やガス,水道等の一人当たりの消費量の変化 ・札幌市民の車保有台数の変化と低公害車の普及率 ・ゴミの減量化の推移,燃えるゴミ,大型ゴミ,資源回収ゴミなど ・冬期間の室温を家庭・職場で1度低く抑えた場合の,消費エネルギーの減少効果 ・省エネや資源リサイクル,CO₂問題などへの市民意識調査結果の変化 <p>北の暮らしに関する項目</p> <p>各家庭の雪対策のあり方</p> <p>(EX. - 手動による除排雪</p> <ul style="list-style-type: none"> - 機械による除排雪 - ロードヒーティング,融雪機など熱エネルギーによるもの - 地域のボランティアによるもの - 除排雪の業者を頼んで行う...etc. <p>冬の生活を楽しむ工夫をしている</p> <p>(EX. - 雪だるまや雪像づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> - イルミネーションでかざる - 雪山や雪で遊ぶ - スキー,ボード,ソリ,スケートなどの遊びとスポーツ...etc. <p>歩いて暮らせるまちづくりの項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の都心部への外出の回数と交通手段の選択 ・冬道を歩いていて一番困難なこと ・歩行者空間のバリアフリー化の整備状況の推移 (EX. - 交差点のバリアフリー化の推移 - 地下鉄駅のバリアフリー化の推移 - 歩道の点字ブロックの整備状況と推移 - バス停のバリアフリー化の整備状況と推移...etc. <p>歩行者道路の整備距離</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用レーンとサイクリングロードの整備距離 ・都心部の歩行者空間の屋外広告・看板の数の変化 ・都心部の歩行者空間の魅力と快適度の市民意識調査
--	---	--

文化・人づくり分科会

文化・人づくり分科会の議論のまとめ



注：右欄の「具体的施策・取組みの提案」は、当面の重点的な取組みを具体化する施策として分科会が重点提案するもの

文化・人づくり分科会の議論の整理表

重点の柱	現状・課題	当面の重点的な取組み	委員の具体的な意見
市民の表現活動を広げる場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 北海道なり札幌がパワフルに発展していくには、世界のいろいろなものや人と直接触れあうことが大事。観光面のホスピタリティを高めることにもつながる。 国内外の芸術家を札幌に招き直接触れあうことが、異文化交流や札幌のシティーセールスにつながり地域にも活気が生まれる 質の高い芸術の振興と小さな芸術・表現活動をつなげていくことが大事 	国際的なアーティストと市民との交流を深めるプログラムを展開	<ul style="list-style-type: none"> アーティスト・イン・レジデンス事業を各ジャンルさまざまな機会で開催する（既成の事業・助成の活用も検討）[飯塚・中島] 札幌芸術の森、キタラ（PMF）、札幌コンベンションセンター等を通じた学術、芸術家との交流促進、若手の育成と市民の鑑賞機会の増加[高田] 国際的な教育音楽祭であるPMFをはじめ、札幌を訪れる各ジャンルのアーティストと市民、青少年が直接交流する機会を設ける[飯塚]
	<ul style="list-style-type: none"> 札幌には歴史的建造物が少ないので、ソフト的な観光スポットをどんどんつくっていくことが重要【経済・雇用分科会共通】 芸術・文化が集客や世界への発信につながるようなことを考えるべき【経済・雇用分科会共通】 札幌の中心部で、健康・文化・スポーツといったものを融合したイベントで札幌の魅力をアピールすべき【経済・雇用/環境・都市機能分科会共通】 フィルムコミッションは札幌のPRとともに、地域の人たちが自分たちの地域の価値を再発見することにつながるということが最大の効果と言える【経済・雇用/共生・地域づくり分科会共通】 	都心の公共空間や施設を活用し札幌の文化をアピールする取組みを展開	<ul style="list-style-type: none"> 大通公園を民族の交流などの場（大道芸人の登龍門）として活用[高田] 文化発信のための大きなスペース、ステージとして大通公園を利用できないか[中島] 大通公園を市民が広く使える場として規制緩和を進めてほしい[高田・中島] 札幌の文化や文化遺産をフィルムコミッションに積極的に活用しシティーセールスにつなげる[中島] 歴史的遺産建造物の活用、保存、発掘等、文化的価値、観光資源としても考えたい[高田]
	<ul style="list-style-type: none"> 小さな表現の場を広げていくことが、文化の成熟につながる 子どもたちや市民が芸術・文化、スポーツ活動に気軽に参加できるしくみが少ない NPOなどの市民団体が健全かつ継続的に運営されるためには、適切な受益者負担が不可欠【共生・地域づくり分科会共通】 	市民の表現活動・文化活動を支援する仕組みづくりを推進	<ul style="list-style-type: none"> 都心の廃校を活用してNPOや文化活動の拠点を整備する（モデル事業）[臼井・杉森・中島] NPOによる活動の場づくりへの支援や助成システムが必要[杉森・中島] 長期的課題として、公共的文化活動を担う民間施設の運営・営業について、「興行場法」「建築基準法」における位置づけを研究・検討する[飯塚] NPOなどの非営利団体が公共的文化活動を行う場合の公共施設、公共サービスの「有料」規制見直しの調査・研究を進める[飯塚] NPOがファンドレーシング（資金調達）できるようリストを市に整備してほしい[大沼] 札幌の文化（施設）を市民が財政的にサポートしていくようなしくみも考える必要がある[臼井]
身近でスポーツを楽しめる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> どのようなクラブづくりが札幌にふさわしいのか実験・検証していくべき これまでの行政「サービス」を積極的にあるものを「支援」するという角度からとらえ直すことが必要【全分科会共通】 札幌に本拠地を持つプロスポーツクラブを地域に根ざしたものに育てていく必要がある 	地域住民が主体となった地域スポーツクラブを育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民で組織されたスポーツクラブをつくり、自立の見通しを持って支援する（クラブ支援チームをつくる）[大沼] パイロット事業として、市街地にいつでも遊べるような思い切ったスポーツクラブをつくることも考えるべき[大沼] 競技会・記録会、イベント等を実施し日頃の成果を確かめる場をつくる[大沼] 学校の部活を見る先生が地域にいるような、地域連携の部活支援をやってみてはどうか[大沼] トップスポーツと地域のスポーツをつなぐしくみづくりが必要[大沼] 「コンサドレの日」や「ファイターズの日」を設け、練習会、指導者研修会などを実施してはどうか[大沼]
	<ul style="list-style-type: none"> 全国的にスキー離れが進み、冬の観光も減ってきている（札幌はスキー観光の減少が顕著）【経済・雇用分科会共通】 札幌の中心部で、健康・文化・スポーツといったものを融合したイベントで札幌の魅力をアピールすべき【経済・雇用/環境・都市機能分科会共通】【再掲】 子どもたちが外に出る機会が大幅に減ってきている（特に冬季） 冬のスポーツ活動が停滞している 	市民の冬のスポーツ活動を活性化するための取組みを展開	<ul style="list-style-type: none"> 大通公園やできるだけ公衆の目につくところで、冬のスポーツイベント（市民の歩くスキー大会など）を行う[大沼・中島] ジャンプ場や公園など既存の施設を活用した遊びのイベントを実施（支援）[事務局との意見交換] スキーのリサイクルやスキー情報などのNPOづくりに取り組む[大沼] オリンピック開催都市としての集積（スキージャンプ台等）を活用し大会を誘致する[高田] 冬のイベントを区や小学校単位で行うなど、家族ぐるみで外に出る機会を増やす[阿部] たとえば大通公園に無料のスケートリンクを造るなど、街中に仕掛けをつくってはどうか[臼井・大沼・杉森] 大通公園で日常的な歩くスキーの市民教室を開催[中島]
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが冬の歩くスキーの授業を楽しく感じていないのでは 自然とのかかわり方を知らない人が多くなっている 	自然と親しむスポーツ活動を通じた環境教育を推進	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな体の動かし方、自然とのかかわり方など、教育の中でスポーツに工夫を考えるべき[臼井] 自然に親しむスポーツ（登山、釣り、ボート、カヌーなど）での環境教育を推進・支援する[大沼] スキーのリサイクルやスキー情報などのNPOづくりに取り組む[大沼]【再掲】

重点の柱	現状・課題	当面の重点的な取組み	委員の具体的な意見
これからの社会を担う人材づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・住民とその子孫のためのまちの将来像を考えるべき ・アイヌ民族や世界の先住民族には自然との共生、循環の思想があり、こういうことが日本の文化に必要なではないか ・自然との共生、古い価値あるものの保存・継承を通じて郷土愛、自治意識が目覚め、それが経済、快適な都市機能、芸術・文化、ゆたかな人づくりにつながっていく【以上すべて全分科会共通】 	先住民族の歴史・文化を学び、自然と共生する価値観を育む取組みを推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の総合的な学習の時間でアイヌ民族の伝統・生活文化を学ぶ〔阿部〕 ・アイヌ文化（デザイン）を市立大学の授業に取り入れる〔高田〕 ・札幌にアイヌ文化条例を制定すべき〔阿部〕 ・アイヌ文化の伝承について、北海道と協力して全道規模の祭典を開催してみてもは〔高田〕 ・市立大学に、将来的に札幌ならではの先住民族学科を設けるための検討を始める〔中島〕 ・日本語地名とアイヌ語地名との並列標記を普及する〔阿部〕
	<ul style="list-style-type: none"> ・人の尊厳（人権）が尊重され、男女の差別がなく平等な社会をつくらなければならない ・大人社会の急速な社会構造の変化に対応し、生き方考える必要がある ・エイズや尊厳死の問題など見えない部分の問題も、学校教育、家庭教育、社会教育という生涯教育の一環で丁寧に考える必要がある ・子どもをめぐる人的環境、大人社会の精神的な風土が荒廃している 	先住民族や社会的弱者の人権を尊重する価値観を育む取組みを推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育は、一生涯を通じて行われることが重要であり、学校教育だけでなく、家庭、地域、職場など総合的に行うべき（人権集会の開催）〔阿部〕 ・男女共同参画社会や高齢者、障がい者、子どもの人権について、みんなで考え実践する〔高田〕 ・子どもを育てる大人に、倫理観、尊厳死などの問題を含めた生きる哲学を学ぶ環境をつくる〔高田〕 ・家族、家庭のあり方、大切さを考え、みんなで生涯設計の再構築を考える〔高田〕 ・郷土としての札幌や地域をみんなで知ることが、地域の精神的な支えになる「生きる哲学」という言葉をビジョンに盛り込みたい〔飯塚〕
	<ul style="list-style-type: none"> ・週休二日制導入などで、子どもたちが授業で芸術・文化鑑賞、スポーツを行う時間が減っているのではないか ・子どもを美術館・博物館などに連れて行くことが、文化・芸術教育だけでなく社会教育につながり、ゆたかな人間性をはぐくむ 	多様な芸術・文化体験を通して子どもや若者の可能性を伸ばす取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを美術館・博物館や伝統文化に触れる場所などに連れて行く体験学習や特別講師による授業を実施することが必要 引き受ける企業・NPOを登録制（人材バンクなど）とし助成システムをつくる〔臼井・中島〕 ・授業で子どもたちを美術館・博物館などに送迎するカルチャースクールバスを運行する〔木路〕 ・小さな表現活動（若者の創作・表現活動）に対する助成システムをつくる〔中島〕
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の知恵と経験をもっと地域のまちづくりに活かすべき【共生・地域づくり分科会共通】 ・公共サービスの拡充を地域（受益者側）が担っていくことを考えなければならない ・ボランティア活動を主体的にとらえられるしくみが必要 ・NPOという専門家集団が活躍できる場をつくらなければならない【共生・地域づくり分科会共通】 ・教育、福祉などにかかわる地域の文化活動、人づくり活動の情報を有効に行きわたらせるしくみの研究が必要【共生・地域づくり分科会共通】 ・市立大学ならではの地域との連携を考えるべき 	様々な人たちが地域のまちづくりに参加・活躍する仕組みづくりを推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に一つずつ、公設民営型で地域の運営委員会というNPO的な運営ができる地域の核になるようなものをつくれぬか（既存の施設を活用して連携するしくみづくり）〔中島〕 ・高齢者の知恵・経験や学習成果を地域のまちづくりに還元・貢献〔阿部・高田〕 ・図書館サービスの拡充を地域のボランティアが担うしくみづくりが必要〔臼井〕 ・自分自身が成長するきっかけとしてボランティアを位置づけるしくみづくりができないか〔飯塚〕 ・「さっぽろNPOファンド」のような場や機会を新しく立ち上げて、発信していけるしくみができないか〔大沼〕 ・地域レベル（区単位）のさまざまな活動組織の情報を横断的に広報するネットワークづくりに向けて、媒体、広報活動や地域との協力体制などを研究・検討する〔飯塚〕 ・市立大学と地域の大学や市の持つ諸施設・機関との連携のしくみづくりが必要〔臼井〕
	様々な主体の協働による教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育、学校運営についてPTAや地域がかかわってくることによって、子どもの成長や親の認識・責任が見えてきて、お互いの理解、問題解決につながる ・家庭のきずなを強め、子どもの倫理観を育てる必要がある ・子どもをめぐる問題解決のためにも、生きる力というものを大切にしていかなければならない ・老人を疎外するのではなく、子どもの教育などいろいろな面で活躍してもらおうという視点での見直しが必要である（高齢者の生きがいにもつながる） 	PTA、地域、企業が学校運営に参画し子どもの生きる力を育む教育を推進
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の教育力が相当落ちていると感じる ・家庭での子育て・教育に企業が積極的にかかわるべき（家庭の努力だけでは限界がある）【共生・地域づくり分科会共通】 ・不登校の子供たちは、社会やいろいろな人に触れることが重要 		家庭の子育てや教育を支援する企業や地域の取組みを促進	<ul style="list-style-type: none"> ・「ファミリー・フレンドリー企業」の推進が、最も大切な人間回復につながる〔高田〕 ・不登校の子どもたちが社会や人と触れあう機会づくり〔杉森〕 ・廃校を活用してNPOや文化活動の拠点を整備する（フリースクールの子供たちが触れあう場づくりに活用）〔杉森〕【再掲】 ・地域の中で子どもたちと高齢者が交流できる場を政策的につくる必要がある〔中島〕
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力向上、想像力の訓練、問題解決能力の訓練を中心とする表現教育が大切 ・フリースクールは、勉強だけでなく文化教育面で特色を出し成果を上げているところがある 		表現活動を通して子どもたちの社会性を育てる教育プログラムを実践	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の町内会、民生・児童委員、小中学校、公聴会、区PTA連合会、地域民間団体などが共同参画する形で、小中学生を対象とするドラマワークショップを定例で開催する〔飯塚〕 ・総合学習の場や不登校児が来られる場所としてフリースクールと学校が交流する〔杉森〕

札幌市の素案に対する意見のまとめ (文化・人づくり分科会)

項 目		意 見 内 容	委 員 の 具 体 的 意 見
素 案 全 体		【望ましい街の姿に相当する部分】 「生きる哲学」という言葉を盛り込む。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然との共生の中で夢を語り、描き、奏で、個性溢れる文化活動、スポーツを育み、世界に発信する街、札幌を表現していこう」(高田委員) ・「今こそ私たちの時代の責任において、未来思考を重ね合わせて老若男女みんなで人づくり&自分づくり、生きる力の自己実現にむかって努力をしよう」(高田委員)
各重点戦略課題について	芸術・文化の薫る街の実現	<p>芸術・文化には質の高いものと市民レベルの小さな表現活動があり、それをはっきり分かるよう区別して表現する。</p> <p>芸術・文化には「多様性」が大切だということを強調する。</p> <p>鑑賞することと表現(活動)することを区別して表現する。</p> <p>伝統文化とは区別して、「先住民族文化」あるいは「アイヌ(民族)文化」と表記する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)戦略課題に相当する部分で、「お互いの異文化について認めあい、広く人間としての誇りを失わず、高めていくことに大きな意義がある」(高田委員) ・芸術・文化の多様性を分かりやすく説明するために「大きいものから小さいものまで多様な(に)」という言葉盛り込みたい。(中島委員) ・アートやクラシック音楽分野以外の映画、演劇、コンサートなどの芸術・文化や市民レベルの表現活動などについても、きちんと触れてほしい。(中島委員) <p>【各主体の主な役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人たちにできるだけ場をつくっていくという意味で「表現活動」や「多様な場づくり」を盛り込みたい。(中島委員)
	スポーツの魅力あふれる街の実現	【現状と課題】 「競技中心から身近で気軽に楽しめるものへ」とあるが、もう少し具体的な言葉で表現する。	【各主体の主な役割】 ・市民の役割として、見る楽しみだけでなく「やる楽しみ」ということを強調したい。(中島委員)
		【施策の基本方針】 スポーツにおける札幌ブランドとして冬のスポーツを考える。	
	自立した市民に育てる教育の推進	「企業」や「職場」が、家庭の子育てや子どもの教育に大きなかわりを持つため、ビジョンの中に文言で盛り込む。 子どもと地域の高齢者との交流の有益性・必要性について盛り込む。	・フリースクールが、不登校などに対する取り組みを担っていることに触れるべきではないか。(杉森委員)
		【各主体の主な役割】 主体としての「学校」を「行政」から分離する。 子どもは「社会全体」ではなく「地域」で育てるとする。	
		【施策の基本方針】 ・現状と課題から、この基本方針が導き出される論理構成が分からない。表現を検討すべき。(大沼委員)	
さっぽろを支え、発信する人づくり	【施策】 不登校などに対する取り組みの推進主体が、学校、家庭、地域の3つであることに触れる。	・「思考力、判断力、表現力などの確かな学力」とあるが、「学力」は「能力」とすべきではないか。(飯塚委員)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・「国際都市札幌」にふさわしい市立大学を設置するという位置づけを明確にすべき。(中島委員) <p>【施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立大学に「将来的に世界から留学生が集う、札幌ならではの先住民族学科の設置も検討を始める」という施策を追加したい。(中島委員) 	
成果指標について			<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツをする」という判断は主観的で個人差が大きいので、客観的に判断できる施設利用者数など具体的に実数をとれる指標を設定したほうがいい。(大沼委員) ・不登校とは年に30日以上欠席をいうが、子供の実態、欠席の原因は様々で、一律に目標値を何%減ととらえることは難しいため、新たな指標を設定することも検討してはどうか。(臼井委員) ・指標項目の中には、何を基本にして出したのか疑問なものもある。(杉森委員) ・指標をとれない文化とかスポーツもあるので、アカウンタビリティ(市民に情報を開示し、納得できるように十分説明する義務と責任)のとり方も今後検討していかなければならない。(大沼委員) ・長期的な取り組みについても、その成果が見られるような指標や評価のシステムを考えなければならない。(臼井委員)

注:「意見内容」欄は分科会として合意した意見、「委員の具体的意見」欄は分科会の合意には至らないが委員の個別意見として示されたもの

3 札幌新まちづくり市民会議設置要綱（平成15年8月29日 企画調整局長決裁）

（設置）

第1条 札幌新まちづくり計画の策定に当たり、幅広い市民議論のもと、重点的に取り組むべき施策など、まちづくりの共通認識を形成していくことを目的として、札幌新まちづくり計画市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。

（組織）

第2条 市民会議は、委員24人以内をもって組織する。

- 2 委員は、学識経験のある者、市の公募に応じた市民その他市長が適当と認める者のうちから市長が委嘱する。
- 3 委員は、札幌新まちづくり計画の策定に係る協議、検討が終了したときは、委嘱を解かれたものとみなす。

（座長及び副座長）

第3条 市民会議に座長1人、副座長2人を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 座長は、市民会議を代表し、会務を総括する。
- 3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第4条 市民会議の会議は、必要の都度座長が招集する。

- 2 座長は、会議の議長となる。
- 3 市民会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

（分科会）

第5条 市民会議は、その定めるところにより、分科会を置くことができる。

- 2 分科会に属すべき委員は、座長が指名する。

（庶務）

第6条 市民会議の庶務は、企画調整局企画部において行う。

（委任）

第7条 この要綱に定めるもののほか、市民会議の運営に関し必要な事項は、座長が市民会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成15年9月1日から施行する。

4 審議経過

第1回全体会議【平成15年11月6日(木)】

- ・委員自己紹介
- ・座長，副座長選出
- ・今後の会議の進め方について

第2回全体会議【平成15年11月19日(水)】

- ・市政概要について
- ・分科会設置

第1回文化・人づくり分科会【平成15年12月4日(木)】

- ・重点戦略課題ごとの「現状と課題」について
- ・委員提言について

第1回共生・地域づくり分科会【平成15年12月8日(月)】

- ・副会長選任
- ・重点戦略課題ごとの「現状と課題」について

第1回経済・雇用分科会【平成15年12月8日(月)】

- ・重点戦略課題ごとの「現状と課題」について意見交換
- ・副会長選任

第1回環境・都市機能分科会【平成15年12月10日(水)】

- ・重点戦略課題ごとの「現状と課題」について
- ・副会長選任

第2回環境・都市機能分科会【平成15年12月22日(月)】

- ・重点戦略課題ごとの「施策の基本方針」等について
- ・第3回全体会議への中間報告内容について

第2回経済・雇用分科会【平成15年12月22日(月)】

- ・重点戦略課題ごとの「施策の基本方針」等について
- ・第3回全体会議への中間報告内容について

第2回文化・人づくり分科会【平成15年12月25日(木)】

- ・副会長選任
- ・重点戦略課題ごとの「現状と課題」について

第2回共生・地域づくり分科会【平成16年1月6日(火)】

- ・重点戦略課題ごとの「施策の基本方針」等について
- ・第3回全体会議への中間報告内容について

第3回文化・人づくり分科会【平成16年1月8日(木)】

- ・重点戦略課題ごとの「施策の基本方針」について
- ・第3回全体会議への中間報告内容について

第3回全体会議【平成16年1月29日(木)】

- ・分科会中間報告について
- ・提言書の枠組みについて

第3回共生・地域づくり分科会【平成16年2月3日(火)】

- ・市の素案(ビジョン編)について
- ・分科会としての提言内容について

第3回経済・雇用分科会【平成16年2月4日(水)】

- ・市の素案(ビジョン編)について
- ・分科会としての提言内容について

第4回文化・人づくり分科会【平成16年2月5日(木)】

- ・市の素案(ビジョン編)について

第3回環境・都市機能分科会【平成16年2月7日(土)】

- ・市の素案(ビジョン編)について

第4回環境・都市機能分科会【平成16年2月23日(月)】

- ・議論のまとめについて
- ・第4回全体会議への分科会報告の内容について

第5回文化・人づくり分科会【平成16年2月23日(月)】

- ・議論のまとめについて
- ・第4回全体会議への分科会報告の内容について

第4回共生・地域づくり分科会【平成16年2月24日(火)】

- ・議論のまとめについて
- ・第4回全体会議への分科会報告の内容について

第4回経済・雇用分科会【平成16年3月1日(月)】

- ・議論のまとめについて
- ・第4回全体会議への分科会報告の内容について

第4回全体会議【平成16年3月16日(火)】

- ・分科会報告について
- ・提言書の構成について

第5回全体会議【平成16年4月6日(火)】

- ・提言書について

5 委員名簿

(五十音順, 敬称略)

氏名		所属等	所属分科会 (会長, 副会長)
座長	内田 和男 うちだ かずお	北海道大学大学院経済学研究科長 経済学部長	経済・雇用
副座長	杉岡 直人 すぎおか なおと	北星学園大学社会福祉学部 教授	共生・地域づくり
副座長	高田 悦子 たかだ えつこ	公募委員	経済・雇用
委員	阿部 一司 あべ かずし	(社)北海道ウタリ協会国際部部長	文化・人づくり
委員	荒 紀男 あら のりお	札幌商工会議所中小企業委員会 副委員長 (株式会社タカノ 代表取締役副社長)	経済・雇用
委員	飯塚 優子 いづか ゆうこ	アートコーディネーター (赤い実企画 代表)	文化・人づくり
委員	伊藤 淑子 いとう よしこ	北海学園大学経済学部 教授	共生・地域づくり
委員	岩田 美香 いわた みか	北海道医療大学看護福祉学部 助教授	共生・地域づくり
委員	臼井 博 うすい ひろし	北海道教育大学 教授	文化・人づくり
委員	大坂 紫 おおさか ゆかり	公募委員	環境・都市機能
委員	太田 幸雄 おた さちお	北海道大学大学院工学研究科 教授	環境・都市機能
委員	大沼 義彦 おおぬま よしひこ	北海道大学大学院教育学研究科 助教授	文化・人づくり
委員	木路 毛五郎 きぢ けごろう	公募委員	文化・人づくり
委員	工藤 仁美 くどう ひとみ	札幌地区ユニオン副代表	経済・雇用
委員	黒田 澄雄 くろだ すみお	公募委員	共生・地域づくり
委員	小林 英嗣 こばやし ひでつぐ	北海道大学大学院工学研究科 教授	環境・都市機能
委員	柴川 明子 しばかわ あきこ	公募委員	共生・地域づくり
委員	杉森 洋子 すぎもり ようこ	公募委員	文化・人づくり
委員	田村 文生 たむら たけお	公募委員	経済・雇用
委員	燕 信子 つばめ のぶこ	公募委員	共生・地域づくり
委員	中井 和子 なかい かずこ	中井仁実建築研究所 代表取締役	環境・都市機能
委員	中島 洋 なかしま よう	公募委員	環境・都市機能
委員	林 雅之 はやし まさゆき	公募委員	環境・都市機能
委員	平本 健太 ひらもと けんた	北海道大学大学院経済学研究科 助教授	経済・雇用